



DTX
drums

ドラムトリガーモジュール

DTX502

取扱説明書



目次

はじめに	6
取扱説明書の読み方	6

準備編

最初にやっていただくこと	7
クイックガイド	8
好きな音色を選んで叩きたい	8
曲に合わせて叩きたい	8
クリックに合わせて練習したい	8
トレーニングモードで練習したい	9
自分の演奏を記録したい	9
各部の名称と機能	10
フロントパネル	10
リアパネル	11
音を出すまでの準備	12
電源を準備する	12
ヘッドフォンやスピーカーをつなぐ	12
携帯用音楽プレーヤーなどをつなぐ	12
電源を入れる	13
初期設定(セットアップウィザード)	13
オートパワーオフの簡単解除	13
電源を切る	14
本体の設定を初期の状態に戻す(ファクトリーセット)	14

基本編

DTX502の基本操作	15
ドラムパッドの叩き方	16
スネア	16
ハイハット	17
シンバル	18
キットを選んで演奏する	19
キットを選ぶ	19
叩いたときの感度を調節する	19
楽器(インスト)間の音量バランスを調節する	19
自分だけのキットを作る	20
インストに割り当てる音色を選ぶ	21
チューニングやシンバルのサイズを変更する	22
インストの音色を編集する	23
インストの音量を変更する	24
インストのパン(ステレオ定位)を変更する	24
編集したキットを保存する	25
ソングに合わせて演奏する	26
ソングを選ぶ	26
ソングの音量を調節する	26
ソングのテンポを調節する	27
ソングのドラムパートをミュート(消音)する	27
ソングの繰り返し再生を設定する	28
カウントを設定する	28
パッドソングを鳴らす	29
クリック(メトロノーム)を使う	31
クリックを鳴らす	31
クリックのテンポを変える	31
クリックの全体音量を設定する	31

クリックの設定をする	32
クリックセット番号を選ぶ	32
クリックのテンポを設定する	33
クリックの拍子を設定する	33
クリックのタイマーを設定する	33
クリックの細かい音量を設定する	34
クリックの音色をまとめて変更する	34
クリックの各音色を設定する	35
クリック音のチューニングを設定する	36
パッドを叩いてテンポを決める(タップテンポ)	36
設定したクリックを保存する	37
トレーニングモードで練習する	38
1. Groove Check (グループチェック)	38
2. Rhythm Gate (リズムゲート)	40
3. Measure Break (メジャーブレイク)	41
4. Tempo Up/Down (テンポアップ/ダウン)	42
5. Change Up (チェンジアップ)	44
6. Pad Gate (パッドゲート)	46
7. Part Mute (パートミュート)	47
8. Fast Blast (ファストブラスト)	49
自分の演奏を記録する	51
演奏を記録する準備	51
演奏を記録する	52
記録した演奏を再生する	52
ユーザーソングに名前をつける	53
記録した演奏を消去する	54

応用編

メニューモードで詳細な設定をする	55
設定手順	56
セーブ操作	56
別売品を取り付ける	76
シンバルパッドPCY90AT(別売品)を増設する	76
キックユニットKU100(別売品)を キックペダルとして使う	76
アコースティックドラムに電子ドラムを組み込む	77
アコースティックドラムセットに電子ドラムパッド (XP80/XP70/TP70など)を組み込む	77
アコースティックドラムを叩いてDTX502を鳴らす	77
ハイハットスタンドにDTX502を取り付ける	78
コンピューターに接続する	79
コンピューターとの接続	79
リファレンスマニュアルについて	79

資料

エラーメッセージ一覧	80
困ったときは	81
データリスト	83
仕様	88
索引	89
保証とアフターサービス	90

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。



警告

電源/電源アダプター



電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。

電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



電源は必ず交流 100V を使用する。

エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

必ず実行



電源アダプターは、必ず指定のもの（88 ページ）を使用する。

異なった電源アダプターを使用すると、故障、発熱、火災などの原因になります。

必ず実行



電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

必ず実行

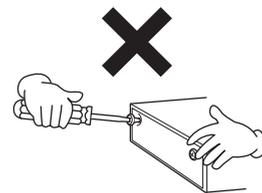
分解禁止



この製品の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。

禁止



水に注意



本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

禁止



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

禁止

火に注意



本体の上にもろうそくなど火気のあるものを置かない。

ろうそくなどが倒れたりして、火災の原因になります。

禁止

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源/電源アダプター



たこ足配線をしない。

音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して火災の原因になることがあります。

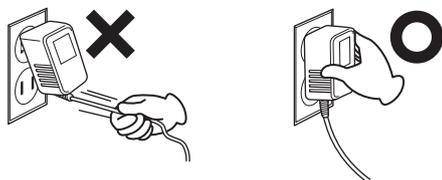
禁止



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

この製品を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



必ず実行

指定のスタンド/ラックを使用する。また、付属のネジがある場合は必ずそれを使用する。

本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

接続



必ず実行

すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷の原因になります。

設置



禁止

不安定な場所に置かない。

本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々がかがをしたりする原因になります。



必ず実行

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

コードをいためたり、お客様やほかの方々か転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

演奏を始める前に機器のボリュームを最小にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。

聴力障害または機器の損傷の原因になります。

取り扱い



本体のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。

禁止



パネルのすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災、故障や動作不良の原因になることがあります。

禁止



本体の上ののったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

禁止

本体が破損したり、お客様やほかの方々がかげがをしたりする原因になります。



大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。

禁止

聴覚障害の原因になります。



- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

[⏻](スタンバイ/オン)スイッチを切った状態(画面表示が消えている)でも微電流が流れています。[⏻](スタンバイ/オン)スイッチが切れているときの消費電力は、最小限の値で設計されています。この製品を長時間使用しないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注記（ご使用上の注意）

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■製品の取り扱い/お手入れに関する注意

- ・テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。楽器本体またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- ・直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多い場所で使用しないでください。本体のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- ・本体上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。本体のパネルや鍵盤が変色 / 変質する原因になります。
- ・手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。

お知らせ

■データの著作権に関するお願い

- ・ヤマハ(株)および第三者から販売もしくは提供されている音楽/サウンドデータは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・この製品は、ヤマハ(株)が著作権を有する著作物やヤマハ(株)が第三者から使用許諾を受けている著作物を内蔵または同梱しています。その著作物とは、すべてのコンピュータープログラムや、伴奏スタイルデータ、MIDI データ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどのコンテンツを含みます。ヤマハ(株)の許諾を受けることなく、個人的な使用の範囲を超えて上記プログラムやコンテンツを使用することについては、著作権法等に基づき、許されていません。

■取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・MIDIは社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。
- ・その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

■パッドについて

この取扱説明書では、本体に接続できるパッドの品番を掲載していますが、これらは本書制作時点での最新品番です。その後発売された最新品番については、下記のウェブサイトでご確認いただけますよう、お願いいたします。

<http://jp.yamaha.com/dtx/>

※ウェブサイトの URL は予告無く変更することがあります。

機種名(品番)、製造番号(シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

製造番号

(bottom_ja_02)

はじめに

このたびは、ヤマハ電子ドラム音源モジュールDTX502をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。DTX502の優れた機能を十分にご活用いただくために、この取扱説明書をよくお読みくださいますようにご案内申し上げます。また、ご一読いただいたあとも、不明な点が生じた場合に備えて、保証書とともに大切に保管いただきますようお願いいたします。

取扱説明書の読み方

■ 本書(準備編 / 基本編 / 応用編 / 資料)

準備編：音を出すまでの準備方法と初期設定について説明しています。

基本編：DTX502の基本的な使い方について説明しています。

応用編：DTX502をより詳細に使いこなす方法について説明しています。

資料：困ったときの解決方法をはじめ、各種資料を掲載しています。

■ リファレンスマニュアル(PDF)

※ 本製品には付属していません。詳しくは79ページをご覧ください。

リファレンスマニュアルでは以下の資料を掲載しています。

- ・ コンピューターを使って本体にキットデータ/ソングデータ/波形データを転送する方法
- ・ コンピューターを使って音楽制作をするときに参照する資料
- ・ MIDIに関する資料

● PDFマニュアルの活用方法

リファレンスマニュアルは、電子ファイル(PDF形式)になっています。この電子ファイルは、コンピューターを使ってご覧いただくことができます。コンピューターでご覧いただくソフトウェアとして「Adobe® Reader®」を使うと、用語をすばやく検索したり、必要な部分のみ印刷したり、リンクをクリックして該当する項目を開いたりできます。特に用語検索とリンク機能は、電子ファイルならではの便利な機能です。ぜひご利用ください。

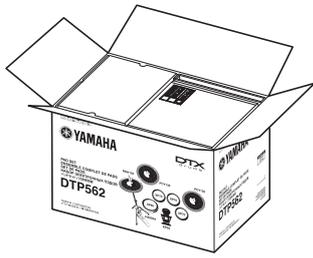
最新のAdobe Readerは下記のURLよりダウンロードできます。

<http://www.adobe.com/jp/products/reader/>

付属品 (お確かめください)

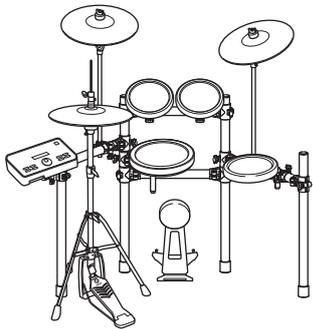
- ・ 電源アダプター
- ・ モジュールホルダー
- ・ モジュールホルダー止めネジ×2本
- ・ 取扱説明書(本書)
- ・ 保証書

最初にやっていただくこと



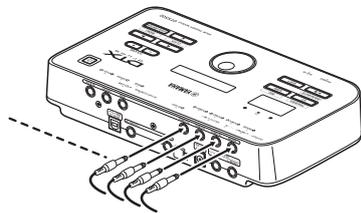
1. 箱を開けて中身を確認する

- ドラムトリガーマジュール DTX502(本製品)
- ラック(RS502など)
- パッドセット(DTP522/DTP532/DTP542/DTP562など)



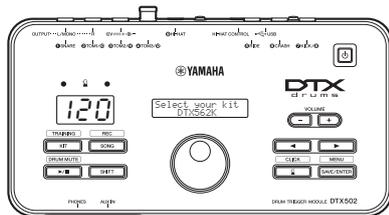
2. 組み立てる

- ラックを組み立てる。
→ ラック(RS502など)の取扱説明書を参照。
- パッド類、およびDTX502(本製品)をラックに取り付ける。
→ パッドセット梱包箱の中にある組立説明書を参照。



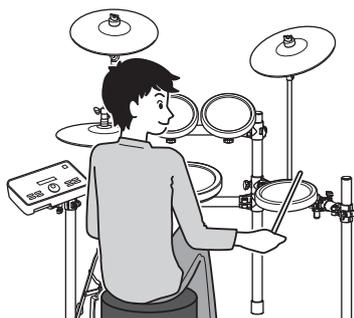
3. 接続する

- パッド類とDTX502(本製品)をケーブルでつなぐ。
→ パッドセット梱包箱の中にある組立説明書を参照。
- 電源アダプターを本製品(DTX502)につないで、電源を入れる。
→ 本書12ページを参照。



4. 初期設定をする

- 13ページを参照し、初期設定(セットアップウィザード)を行なう。

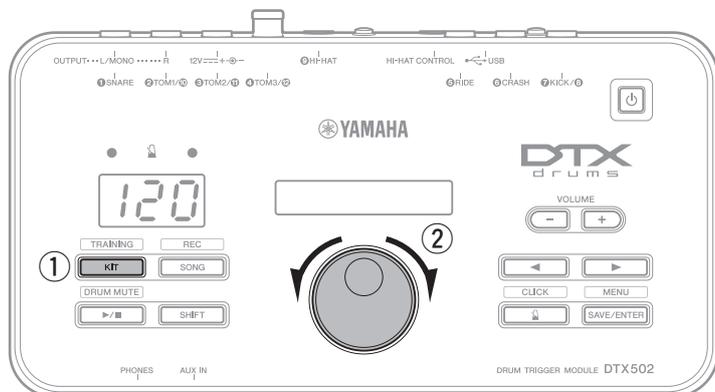


5. 演奏する

- 基本的な使い方は、基本編(15ページ～54ページ)を参照。
- さらに詳しい使い方は、応用編(55ページ～79ページ)を参照。

クイックガイド

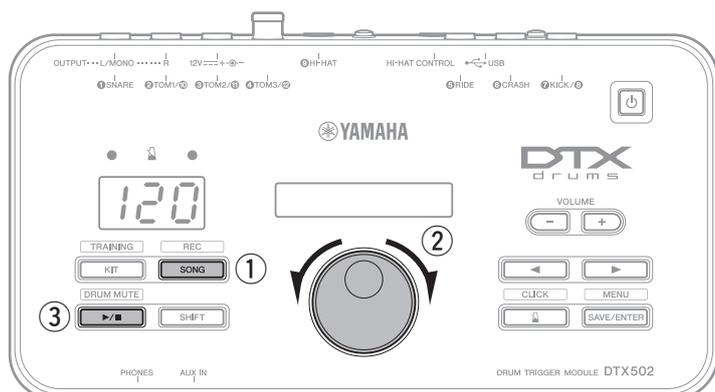
好きな音色を選んで叩きたい (19ページ)



- ① [KIT] を押します。
- ② データダイヤルを回して好きな音色を選びます。

パッドに好きな音を割り当てることもできます。
(20ページ)

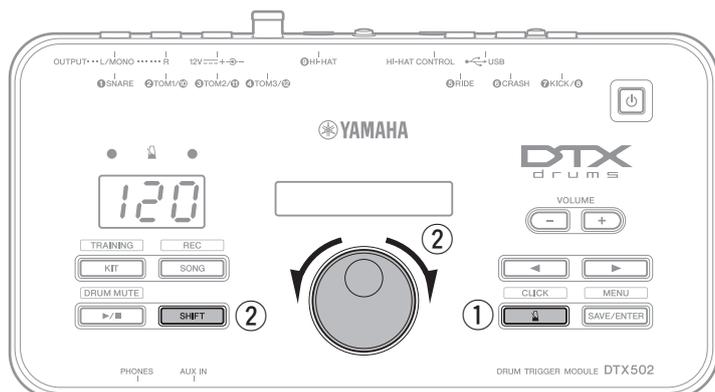
曲に合わせて叩きたい (26ページ)



- ① [SONG] を押します。
- ② データダイヤルを回して好きな曲を選びます。
- ③ [▶/■] を押して曲を再生します。

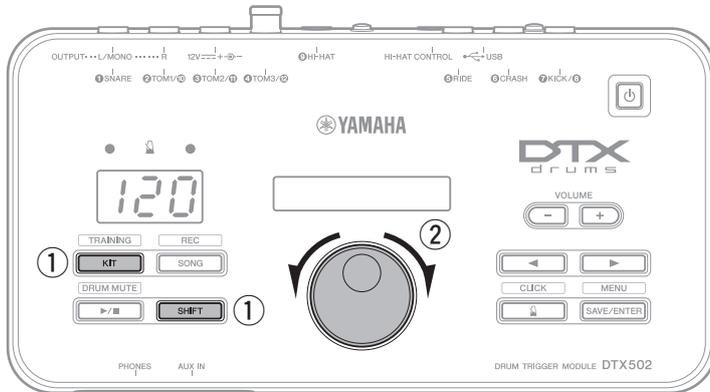
ソングのドラムパートをミュート(消音)するには、[SHIFT]を押しながら[▶/■]を押します。

クリックに合わせて練習したい (31ページ)



- ① [CLICK] を押します。
- ② [SHIFT] を押しながらデータダイヤルを回してテンポを調節します。

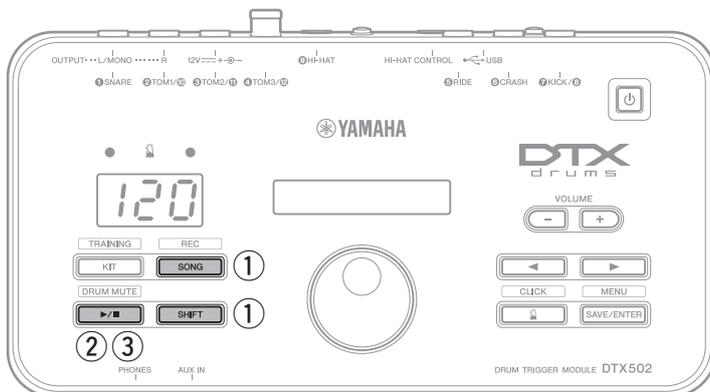
トレーニングモードで練習したい (38ページ)



- ① [SHIFT] を押しながら [KIT] を押します。
- ② データダイヤルを回してトレーニングの種類を選びます。
- ③ 点滅しているボタンを押して、トレーニングを開始します。

DTX502には8種類のトレーニングがあります。各トレーニングの詳細は38ページをご覧ください。

自分の演奏を記録したい (51ページ)

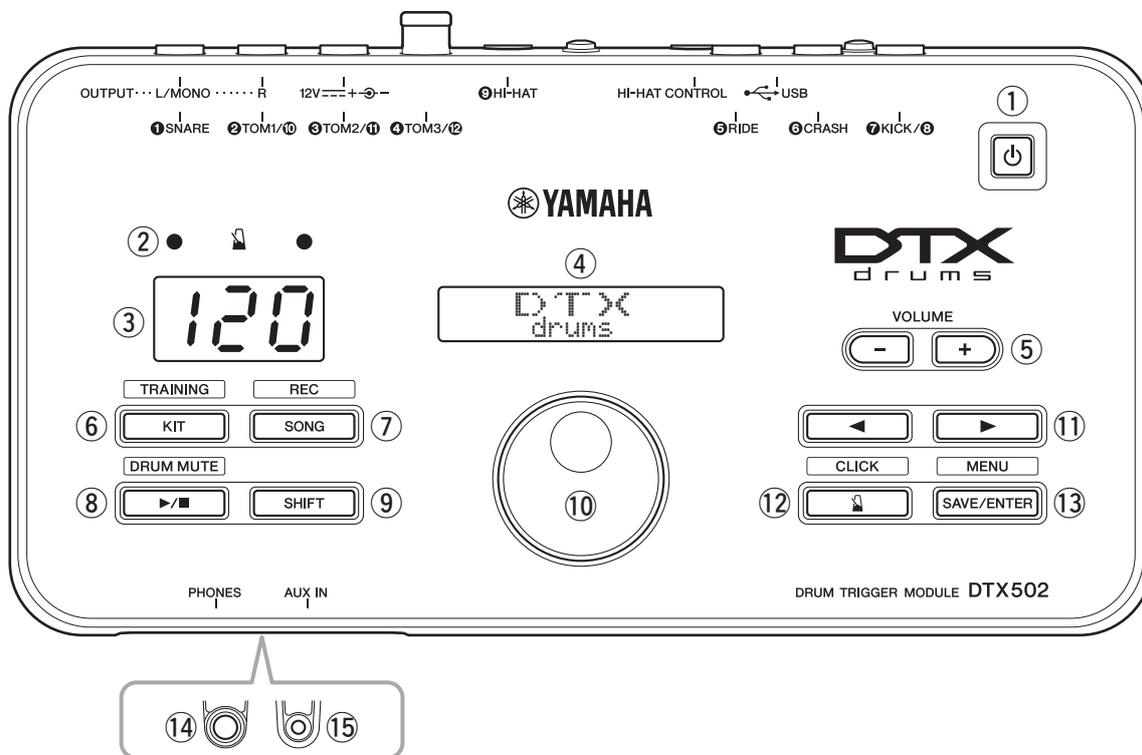


- ① [SHIFT] を押しながら [SONG] を押します。
- ② [▶/■] を押して記録をスタートします。
- ③ 演奏が終わったら、[▶/■] を押して記録を終了します。

記録した演奏の再生/停止をするときは[▶/■]を押します。(52ページ)

各部の名称と機能

フロントパネル



① [] (スタンバイ/オン) スイッチ (13ページ)

電源のオン/スタンバイスイッチです。

② クリックランプ

クリック(メトロノーム)を鳴らしているとき、小節先頭のタイミングで赤のランプが点灯し、それ以外のタイミングで緑のランプが点灯します。

③ LEDディスプレイ

設定に応じて、テンポ、モードに応じた番号、クリック他タイマーを表示します。(74ページ)

④ LCDディスプレイ(画面)

DTX502を操作していく上で必要な情報やデータが表示されます。

⑤ [VOLUME] ボタン (15ページ)

DTX502全体の音量(OUTPUT端子とPHONES端子との出力)を調節します。

⑥ [KIT](キット) ボタン (19ページ)

- キットの選択画面に入ります。
- [SHIFT]を押しながら[KIT]を押すと、トレーニングモードに入ります。
- 現在発音中の音を強制的に止めます。

⑦ [SONG](ソング) ボタン (26ページ)

- ソングの選択画面に入ります。
- [SHIFT]を押しながら[SONG]を押すと、ソング録音のスタンバイ状態になります。

⑧ [▶/■] ボタン (26ページ)

- ソングを再生/停止するときに使います。
- トレーニングを開始/終了するときに使います。
- [SHIFT]を押▶しながら[▶/■]を押すと、ソングのドラムパートをミュート/ミュート解除できます。

⑨ [SHIFT] ボタン

このボタンを押しながら各ボタンを押すことにより、各ボタンの上側に印刷された機能を使うことができます。

⑩ データダイヤル

- 画面上で点滅している項目のデータを変更するときに使います。右に回す(時計回り)と値が増加し、左に回す(反時計周り)と値が減少します。
- [SHIFT]を押しながらデータダイヤルを回すと、テンポの値を変更できます。

⑪ [◀/▶] ボタン

- このボタンを押して設定する項目を選択(点滅表示)します。表示ページの前後にも項目がある場合は、ページを移動して表示します。
- [SHIFT]を押しながら[◀/▶]を押すと、設定の対象となるパッドを指定できます。

⑫ [] ボタン (31 ページ)

- クリック(メトロノーム)のスタート/ストップを行ないます。
- トレーニングモードで練習のスタート/ストップを行ないます。
- [SHIFT]を押しながら[]を押すと、クリックの細かい設定ができます。

⑬ [SAVE/ENTER] ボタン

- データの保存を行ないます。
- [SHIFT]を押しながら[SAVE/ENTER]を押すと、メニューモードに入り、DTX502の詳細な設定ができます。

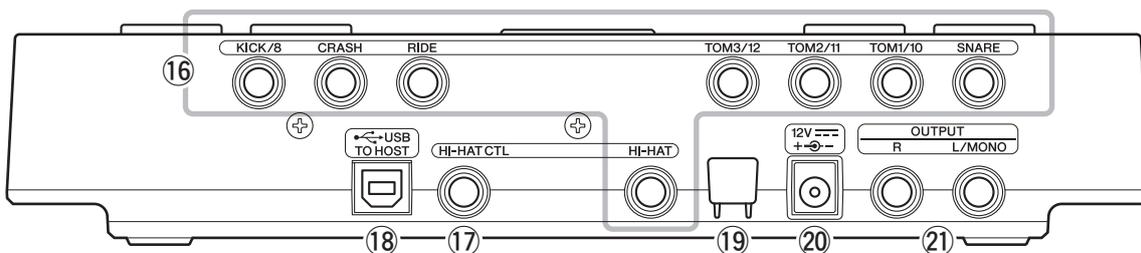
⑭ [PHONES] 端子

ヘッドフォンを接続します。ステレオ標準ジャックです。

⑮ [AUX IN] 端子 (12 ページ)

DTX502へ外部オーディオ機器からの音声を入力する端子(ステレオミニジャック)です。携帯用音楽プレーヤーやCDプレーヤーを接続すれば、プレーヤーの音楽に合わせて演奏できます。

リアパネル

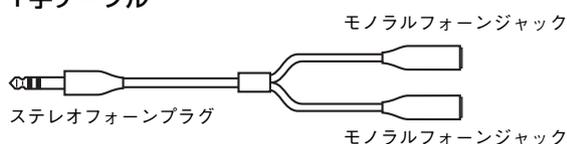


⑯ トリガー入力端子 (①SNARE~⑨HI-HAT)

パッドやドラムトリガー(ヤマハDT10/DT20など)を接続するための端子で、トリガー信号を受信します。

- ①SNARE
3ゾーンパッド、パッドコントローラーに対応。
- ②TOM1/⑩、③TOM2/⑪、④TOM3/⑫、⑦KICK/⑧
 - モノラル×2インプット仕様。別売のY字ケーブル(ステレオフォンプラグ→モノラルフォンジャック×2:下図参照)を使用することで、⑧、⑩、⑪、⑫のトリガー入力(モノラルパッド)が使用できます。KP65を接続した場合は、KP65背面のインプット端子にモノラルパッドを増設できます。
 - 2ピエゾパッドにも対応しています。
- ⑤RIDE、⑥CRASH
3ゾーンパッドに対応。
- ⑨HI-HAT
3ゾーンパッド、ステレオパッドに対応。

● Y字ケーブル



⑰ HI-HAT CONTROL(ハイハットコントロール) 端子

ハイハットコントローラーHH65やリアルハイハットパッドRHH135のHI-HAT CONTROLを接続する端子です。

⑱ [USB TO HOST] 端子 (79 ページ)

DTX502とコンピューターのUSB端子とをUSBケーブルで接続する端子です。

⑲ コードフック (12 ページ)

電源アダプターのコードが抜けないように、このフックでプラグ付近のコードを引っ掛けて固定します。

⑳ [12V + -] 端子 (12 ページ)

付属の電源アダプターを接続します。

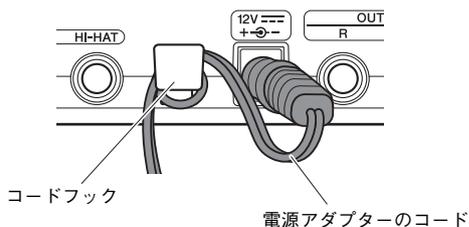
㉑ [OUTPUT L/MONO]、[R] 端子 (12 ページ)

DTX502のオーディオ信号を出力する端子(標準ジャック)です。モノラルで出力したい場合は、[L/MONO]端子だけに接続します。

音を出すまでの準備

電源を準備する

1. 本体の電源が切れている (LCD の画面表示が消えている) ことを確認してください。
2. 電源アダプターの DC プラグをリアパネルの [12V \equiv + \ominus -] 端子にさし込みます。
3. 電源アダプターのコードをコードフックに巻きつけて固定します。



⚠ 注意

コードフックに巻きつけるとき、電源アダプターのコードを極端に折り曲げないでください。コードの断線や発火の原因となります。

4. 電源アダプターの AC プラグを家庭用 (AC100V) コンセントにさし込みます。

⚠ 警告

- 電源アダプターは、必ず付属のものをお使いください。他の電源アダプターを使用すると、発熱や感電の原因になります。
- 付属の電源アダプターは100V用です。電源は必ずAC100Vを使用してください。

⚠ 注意

[⏻] (スタンバイ/オン) スイッチがスタンバイの状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源アダプターを電源コンセントから抜いてください。

ヘッドフォンやスピーカーをつなぐ

DTX502にはスピーカーが内蔵されていません。音を出すためには、ヘッドフォンやDTXシリーズ用モニターシステム (MS40DRなど) を接続してください。音量はフロントパネルの [VOLUME -] / [VOLUME +] ボタンで調節します。

● ヘッドフォンを接続する

[PHONES] 端子 (標準ステレオフォンジャック) にヘッドフォンを接続します。

● スピーカーを接続する

[OUTPUT L/MONO]、[R] 端子 (標準モノラルフォンジャック) にスピーカーを接続します。

⚠ 注意

ヘッドフォンをご使用の場合は、大きな音量で長時間使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

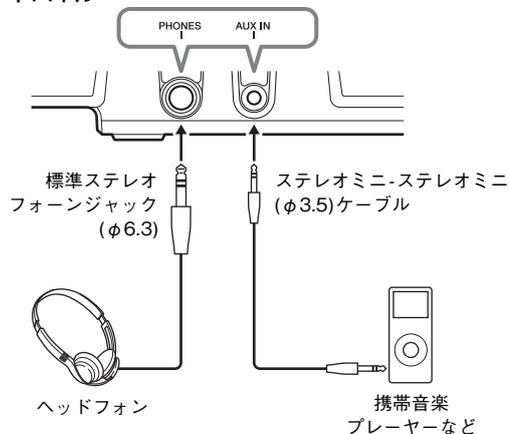
携帯用音楽プレーヤーなどをつなぐ

本体の [AUX IN] (外部入力) 端子 (ステレオミニジャック) に携帯用音楽プレーヤーなどを接続できます。好きな曲に合わせて演奏するときに便利です。

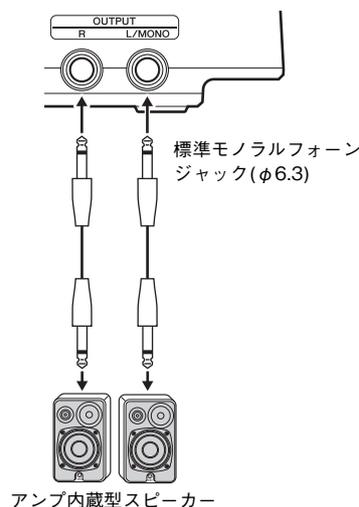
注記

- 接続にはそれぞれの機器の端子形状に適合したプラグを持つケーブルをお使いください。
- 接続の前に、機器のボリュームが最小になっていることを確認してください。
- 本体との音量バランスは、接続した機器側の音量調節で行なってください。

● フロントパネル



● リアパネル



電源を入れる

1. アンプ内蔵スピーカーなどの外部オーディオ機器を接続している場合は、外部オーディオ機器の音量がゼロになっていることを確認します。
2. [⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押します。



初期設定(セットアップウィザード)

DTX502は、お買い上げ後に初めて電源を入れたときだけ初期設定(セットアップウィザード)の画面が表示されます。初期設定では、以下の設定を行ないます。

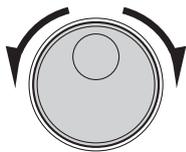
●お買い上げのドラムセットの選択

お買い上げのドラムセットを選ぶことにより、すべてのパッドのトリガー出力レベルが最適な状態になるように自動的に設定されます。

●オートパワーオフ(自動電源オフの設定)

オートパワーオフとは、DTX502が一定時間操作されないと自動的に電源が切れる機能です。本体の切り忘れによる無駄な電力消費を防ぐことができます。

1. お買い上げのドラムセットをデータダイアルで選び、[SAVE/ENTER]ボタンを押します。



Select your kit
DTX562K

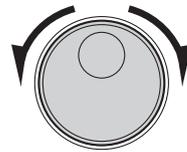


設定値	DTX522K、DTX532K、DTX542K、DTX562K、DTX500K、DTX520K、DTX530K、DTX540K、DTX550K、DTX560K、DTXP4STD (DTXPRESS IV STD SET)、DTXP4SP (DTXPRESS IV SP SET)、DTXP4 (DTXPRESS IV SP SET)、DTXP4 (DTXPRESS IV SP SET)、DTXP4 (DTXPRESS IV SP SET)、DrumTrig、UserTrig
-----	--

NOTE

- お買い上げのドラムセットがわからないときは、梱包箱をご覧ください。
- 初期設定を行なった後でも設定値を変えられます。詳しくはメニューモードの「トリガーセットアップ」(66ページ)をご覧ください。

2. オートパワーオフするまでの時間をデータダイアルで選び、[SAVE/ENTER]ボタンを押します。



Auto Power Off
Timer= 30min



[SAVE/ENTER]

設定値	off(オートパワーオフしない)、5min、10min、15min、30min、60min、120min
-----	--

注記

- オートパワーオフで電源が切れた場合、セーブしていないデータは消去されます。電源が切れる前に必ずセーブを実行してください。
- 本体の状態によっては、一定時間操作せずにオートパワーオフの設定時間が経過しても電源が切れない場合があります。使用後は、手で本体の電源を切ってください。
- 外部オーディオ機器を本体に接続した状態で、一定時間本体を操作しない場合は、外部オーディオ機器の音量をゼロにしておくことをお勧めします。本体の電源が自動的に切れないようにするには、オートパワーオフを解除してください。

NOTE

- オートパワーオフの設定時間はおよその目安です。
- 初期の状態では、オートパワーオフは30分に設定されています。
- 初期設定を行なった後でも設定値を変えられます。詳しくはメニューモードの「オートパワーオフ」(75ページ)をご覧ください。

オートパワーオフの簡単解除

[▶/■]ボタンを押しながら電源を入れると、オートパワーオフ機能が解除されます。



押しながら

Auto Power off
disabled.

電源を切る

1. 外部オーディオ機器を接続している場合は、外部オーディオ機器の音量がゼロになっていることを確認します。
2. [⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押します。



LCDにシャットダウンの画面が表示され、電源が切れます。

```
>>> Shutdown <<<
Please wait.
```

注記

電源オフ時に本体の設定は自動的に保存されます。LCDが完全に消えるまで電源アダプターを抜かないでください。セーブしていないキット、トリガーなどのデータは消去されるため、電源オフ前に必ずセーブを実行してください。

本体の設定を初期の状態に戻す (ファクトリーセット)

DTX502には、本体の設定を初期の状態に戻すファクトリーセットという機能があります。ファクトリーセットを実行すれば、本体の設定を誤って書き換えてしまった場合でも初期の状態に戻せます。

注記

ファクトリーセットを実行すると、設定したすべての内容は消去されます。よく確認してから実行してください。

1. [⏻](スタンバイ/オン)スイッチを押して、電源を切ります。



2. [◀]ボタンと[▶]ボタンを押しながら電源を入れます。

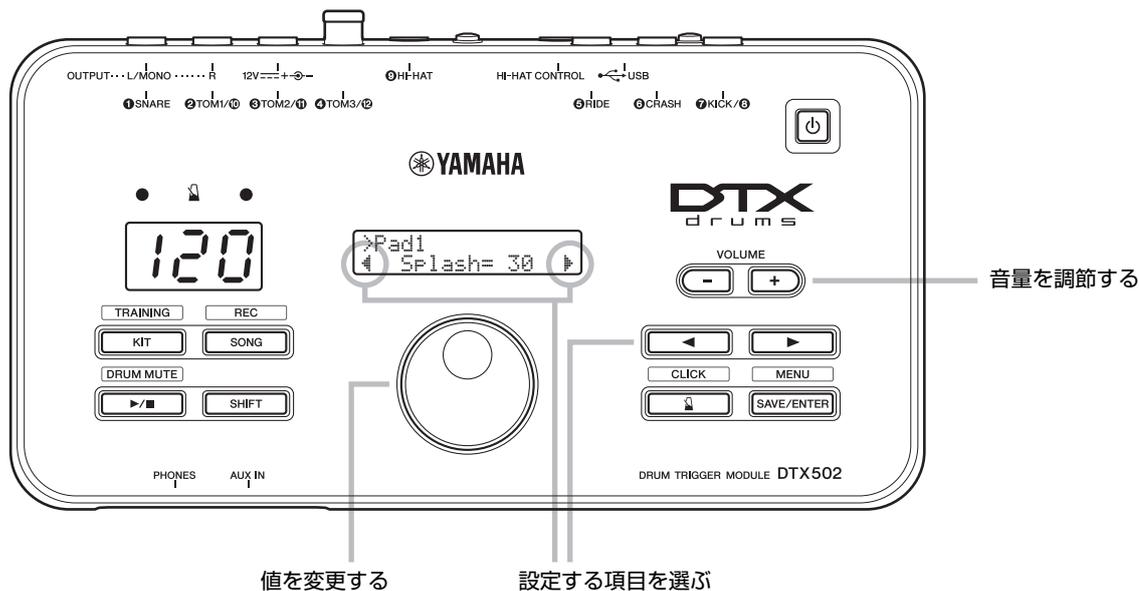


LCDにファクトリーセットの画面が表示され、初期化されます。

```
Factory Set
initialized.
```

セットアップウィザード(13ページ)が表示されます。

DTX502の基本操作



■ 音量を調節する

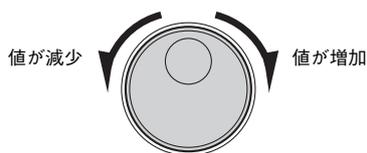
[VOLUME +]を押すと、音量は大きくなります。
[VOLUME -]を押すと、音量は小さくなります。

■ 設定する項目を選ぶ

[◀]/[▶]を使って、点滅表示を移動します。
画面下段の右端の“▶”マークは、次ページがあることを表わします。同様に、
下段左端の“◀”マークは、前ページがあることを表わします。

■ 値を変更する

変更したい項目を点滅させ、データダイヤルを回して値を変更します。データダイヤルを右方向(時計回り)に回すと値が増加し、左方向(反時計方向回り)に回すと値が減少します。



NOTE

- [SONG]を押しながら[VOLUME +]/[VOLUME -]を押すと、ソングの音量を変えることができます(26ページ)。
- [CLICK]を押しながら[VOLUME +]/[VOLUME -]を押すと、クリックの音量を変えることができます(31ページ)。

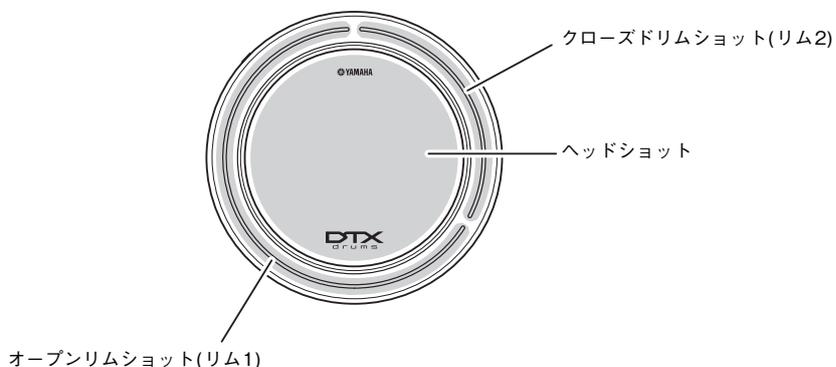
NOTE

[SHIFT]を押しながらデータダイヤルを回すと、テンポを変更できます(31ページ)。

ドラムパッドの叩き方

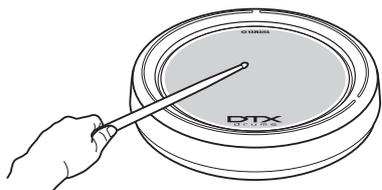
スネア

XP80のような3ゾーンパッドを使えば、アコースティックのスネアドラムと同じように3種類(ヘッド、オープンリム、クローズドリム)の叩き方ができます。



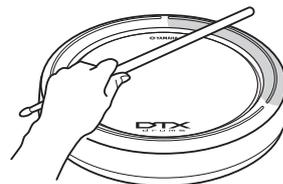
■ヘッドショット

ヘッドを叩きます。



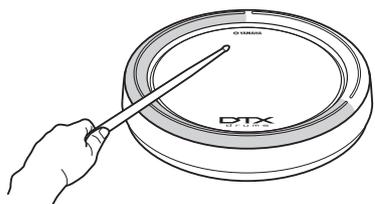
■クローズドリムショット(クロススティック)

クローズド側のリムを叩きます。



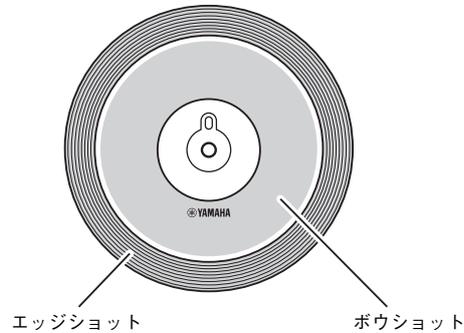
■オープンリムショット

オープン側のリムを叩きます。



ハイハット

RHH135のような2ゾーンパッドを使えば、アコースティックのハイハットシンバルと同じようにゾーンを使い分けて演奏できます。



■ オープン/クローズ

- ・ハイハットコントローラーのペダルを踏まない状態でハイハットパッドを叩くと、ハイハットオープン音が出ます。
- ・ハイハットコントローラーのペダルを踏んだ状態でハイハットパッドを叩くと、ハイハットクローズ音が出ます。
- ・ハイハットペダルの踏み具合によってオープンからクローズまで音色が変化します。

■ フットクローズ

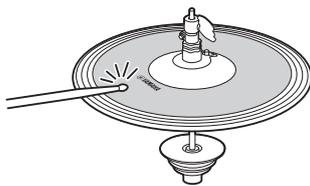
ハイハットパッドを叩かずにハイハットコントローラーを踏み込むと、フットクローズ音が出ます。

■ ハイハットスプラッシュ

ハイハットコントローラーのペダルを瞬間的に踏んですぐ離すと、ハイハットスプラッシュ音が出ます。

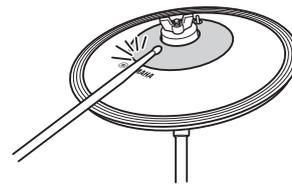
■ ボウショット

ハイハットカップとエッジの中間地点を叩きます。



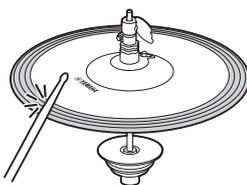
■ カップショット (PCY100のみ)

ハイハットのカップ部分を叩きます。

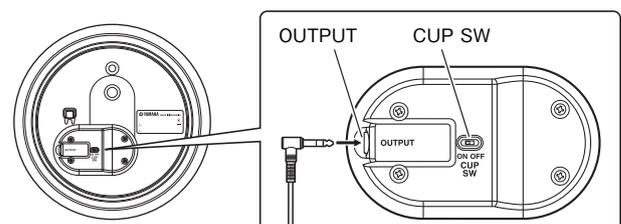


■ エッジショット

ハイハットの外周(端)を叩きます。

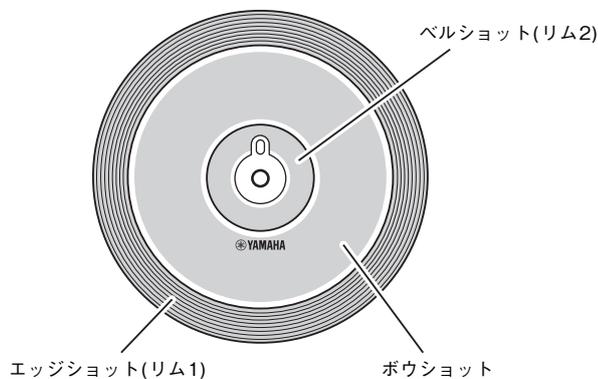


PCY100をハイハットとして使うときは、PCY100の裏側にあるカップスイッチ (CUP SW) をオンにしてください。



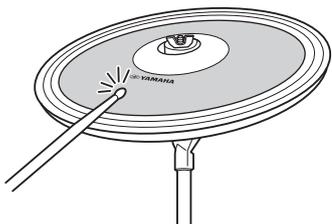
シンバル

PCY135のような3ゾーンパッドを使えば、アコースティックシンバルのライドシンバルと同じようにゾーンを使い分けて演奏できます。



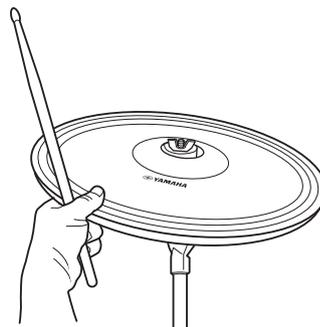
■ ボウショット

シンバルのカップとエッジの間地点を叩きます。



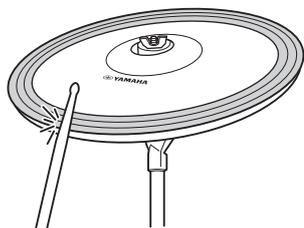
■ チョーク奏法

叩いたシンバルのエッジ付近を手でつかむと音が止まります。



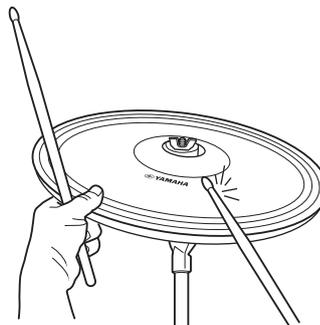
■ エッジショット

シンバルの外周(端)を叩きます。



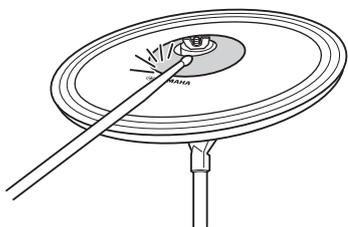
■ ミュート奏法

シンバルのエッジをつかんだ状態で叩きます。音色が変化します。



■ ベルショット

カップの部分を叩きます。



キットを選んで演奏する

各パッドにさまざまな打楽器の音色が配置されたものをひとまとめにして「キット」と呼びます。DTX502には50種類のドラムやパーカッションのキットが内蔵されています。

KIT1

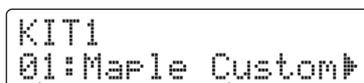
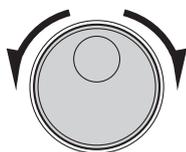
キットを選ぶ

1. [KIT]を押して、キットモードに入ります。

画面の左上にKIT1と表示されます。



2. データダイヤルを回して、お好みのキットを選びます。



キット番号

キット名

3. パッドを叩いて演奏してみましょう。

NOTE

どのキット番号を選んだかは、電源を切っても保持されます。

NOTE

ドラムキットの中には、パッドを叩くと自動的に曲が始まるもの(パッドソング、29ページ)があります。

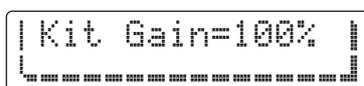
叩いたときの感度を調節する

パッドを叩く強さに応じて鳴る音の強さ(=感度)は、お好みに応じて調節できます。鳴る音が自分の叩いた感覚よりも強い/弱い、といったズレを感じる場合は調節してみましょう。

[KIT]を押しながら[VOLUME +]または[VOLUME -]を押します。



押しながら



- [VOLUME +]を押すごとにGainの値は大きくなり、すべてのパッドの感度は上がります。したがって、弱く叩いても大きな音が出しやすくなります。
- [VOLUME -]を押すごとにGainの値は小さくなり、すべてのパッドの感度は下がります。したがって、強く叩かないと大きな音が出しにくくなります。

NOTE

- ここで調節された感度は、すべてのキットに共通です。
- 各パッドの感度を個別に設定するには、メニューモードの「ゲイン」(68ページ)をご覧ください。

楽器(インスト)間の音量バランスを調節する

楽器(インスト、20ページ)間の音量バランスを調節できます。たとえば、キックの音量を下げて、スネアの音量を上げるなどできます。詳しくは、メニューモードのミキサー設定(57ページ)をご覧ください。

自分だけのキットを作る

パッドに割り当てられているドラム楽器音を自由に変えることで、自分だけのオリジナルキットを作りましょう。“KIT2”～“KIT6”の5つの画面で設定できます。

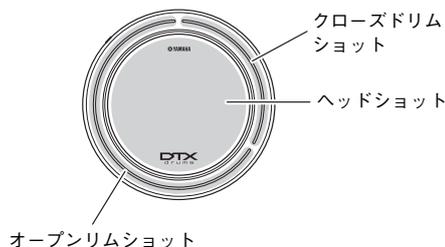
NOTE

KIT1の画面は、キットの種類を選ぶときだけに使います。

Tips

キット、インスト、ボイス

スネア、ハイハット、シンバルの各パッドは、叩くゾーン(インプットソース、29ページ)によって違う「ボイス(音色)」が鳴るように設計されています(16～18ページ)。各ゾーンに違うボイスを割り当てることで、スネアドラムやシンバルといった「インスト」を作りあげます。作りあげられたインスト(=パッド)が複数集まった集合体を「キット」と呼びます。



注記

キットの設定を変更すると、画面の左上に“*”が表示されます。これはキット設定の編集後、セーブ操作がまだ実行されていないことを示しています。セーブ操作が完了するとマーク表示は消えます。(25ページ)
セーブ操作をしないでキットを切り替えると、変更した設定は保存されません。

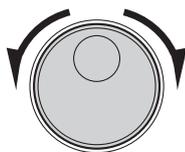
KIT2* Snare
4501: Maple Custm*

キットの編集をするには、まずは下記2つの手順を行ないます。

1. [KIT] を押してキットモードに入ります。



2. データダイヤルを回して、編集したいキットを選びます。



KIT1
01: Maple Custm*

以下、“KIT2”～“KIT6”の画面で編集できる内容を説明します。

KIT2

インストに割り当てる音色を選ぶ

1. [◀]/[▶]を何度か押して、KIT2の画面を呼び出します。



2. 音色を変更したいインストを、パッドを叩いて選びます。

3. [◀]/[▶]を押して、音色のカテゴリーを点滅させます。



4. データダイヤルを回して、音色のカテゴリーを選びます。

音色のカテゴリーは以下のとおりです。

K	キック	H	ハイハット
S	スネア	P	パーカッション
T	タム	E	効果音
C	シンバル	W	ウェーブボイス

5. [◀]/[▶]を押して、音色番号を点滅させます。



6. データダイヤルを回して、音色を変更します。

NOTE

パッドを叩く代わりに、[SHIFT]を押しながら[◀]/[▶]を押してもインストを選ぶことができます。

NOTE

ウェーブボイスは、DTX502とコンピューターとをUSB接続して、コンピューターから転送します(79ページ)。

NOTE

- インストに割り当てる音色が、0番の「No Assign」のときは音が鳴りません。
- [SHIFT]を押しながらパッドを叩くと、ゾーンごとに音色を割り当てることができます。詳しくは29ページの「インプットソース」のTipsをご覧ください。
- パッドに割り当てる音を2つ同時に重ねることもできます。メニューモードの「レイヤー」(57ページ)をご覧ください。

KIT3

チューニングやシンバルのサイズを変更する

1. [◀]/[▶]を何度か押して、KIT3の画面を呼び出します。



2. チューニングやシンバルのサイズを変更したいインストを、パッドを叩いて選びます。

3. データダイヤルを回して、チューニングやシンバルのサイズを変更します。

表示される画面は、インストに割り当てられている音色のカテゴリーによって変わります。

- キック(K)、スネア(S)、タム(T)、パーカッション(P)、効果音(E)、ウェーブボイス(W)のとき

```
KIT3*      Kick
◀ Tuning=+ 0.0 ▶
```

値を増減すると、チューニング(ピッチ)が変化します。

- シンバル(C)、ハイハット(H)のとき

```
KIT3*      Ride
◀   Size=+ 0 ▶
```

値を増減すると、シンバルのサイズが変化する効果が得られます。

NOTE

パッドを叩く代わりに、[SHIFT]を押しながら[◀]/[▶]を押してもインストを選ぶことができます。

KIT4

インストの音色を編集する

1. [◀]/[▶]を何度か押して、KIT4の画面を呼び出します。



2. 音色を編集したいインストを、パッドを叩いて選びます。

3. データダイアルを回して、音色を編集します。

編集できる内容は、パッドに割り当てられている音色のカテゴリーによって変わります。

- キック(K)、スネア(S)、タム(T)のとき

```
KIT4*      Kick
◀ Muffling=+ 0 ▶
```

値を増減すると、マフリング(ヘッドのミュート具合)を調節した効果が得られます。

- シンバル(C)のとき

```
KIT4*      Ride
◀ Sustain=+ 0 ▶
```

値を増減すると、シンバルのサステイン(音が減衰する速さ)を調節した効果が得られます。

- ハイハット(H)のとき

```
KIT4*      Hihat
◀ Clutch=+ 0 ▶
```

値を増減すると、ハイハットクラッチの位置を調節した効果が得られます。設定値が小さいほどハイハットオープン音が速く減衰します。

- パーカッション(P)、効果音(E)、ウェーブボイス(W)のとき

```
KIT4*      Pad12
◀ Decay=+ 0 ▶
```

値を増減すると、音が減衰する速さを調節できます。

NOTE

パッドを叩く代わりに、[SHIFT]を押しながら[◀]/[▶]を押してもインストを選ぶことができます。

NOTE

ハイハットクラッチの設定は、すべてのキットに共通です。

KIT5

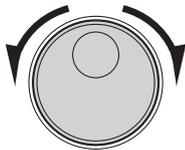
インストの音量を変更する

1. [◀]/[▶]を何度か押して、KIT5の画面を呼び出します。



2. 音量を編集したいインストを、パッドを叩いて選びます。

3. データダイアルを回して、インストの音量を調節します。



```
KIT5*      Snare
4  Volume=110 ▶
```

NOTE

パッドを叩く代わりに、[SHIFT]を押しながら[◀]/[▶]を押してもインストを選ぶことができます。

KIT6

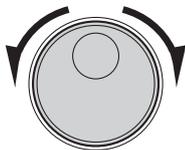
インストのパン(ステレオ定位)を変更する

1. [◀]/[▶]を何度か押して、KIT6の画面を呼び出します。



2. パンを変更したいインストを、パッドを叩いて選びます。

3. データダイアルを回して、パンを設定します。



```
KIT6*      Snare
4  Pan=C
```

NOTE

パッドを叩く代わりに、[SHIFT]を押しながら[◀]/[▶]を押してもインストを選ぶことができます。

編集したキットを保存する

編集したキットはユーザーキット(キット番号51～100)に保存しましょう。ユーザーキットのデータはDTX502の電源を切っても本体メモリーに記憶されます。

1. [SAVE/ENTER]を押します。

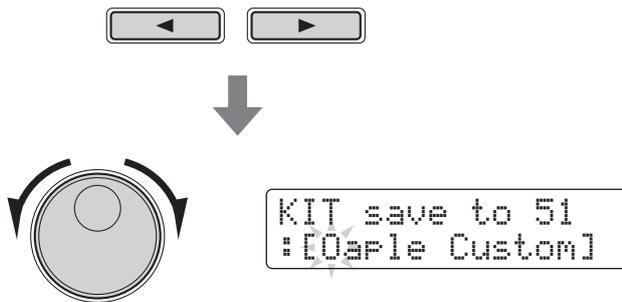
[SAVE/ENTER]が点滅し、以下のような画面が表示されます。



2. データダイアルを回して保存先のユーザーキット番号(51～100)を指定します。

3. ドラムキット名を変更します。

[◀]/[▶]を使って変更させたい文字を選び、データダイアルを回して文字を変更します。



4. [SAVE/ENTER]を押します。



保存をやめるときは、[↵]を押します。

5. [SAVE/ENTER]を押して保存を実行します。

ユーザーキットのデータは、DTX502とコンピューターとをUSB接続してインポート/エクスポートできます。詳しくはコンピューターに接続する(79ページ)とリファレンスマニュアル(PDF)をご覧ください。

NOTE

編集したキットはプリセットキット(キット番号1～50)には保存できません。

注記

上書き保存すると新しい内容に書き換えられてしまいます。よく確認してから実行してください。

ソングに合わせて演奏する

DTX502にはさまざまな音楽ジャンルのソング(練習曲)が内蔵されています。ソングに合わせてながら、ドラムを楽しく練習しましょう。

SONG1の画面では、ソングを選ぶことができます。

SONG1の画面を呼び出すには、[SONG]を押します。



SONG1

ソングを選ぶ

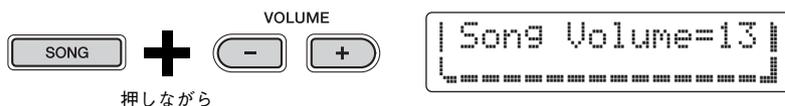
1. 画面左上に“SONG1”と表示されていることを確認します。
2. データダイヤルを回して、お好みのソングを選びます。
3. [▶/■]を押します。
ソングが再生されます。
再生中の曲を止めたいときは、もう一度[▶/■]を押します。

NOTE

- どのソング番号を選んだかは、電源を切っても保持されます。
- 各ソングには、最適なキットがあらかじめ割り当てられており、ソングを選ぶことでキットが自動的に呼び出されます。お好みのキットのまま、さまざまな内蔵曲に合わせて練習したいときはキットロックをオンにすると便利です。(73ページ)

ソングの音量を調節する

1. [▶/■]を押して、ソングを再生させます。
2. [SONG]を押しながら[VOLUME +]/[VOLUME -]を押して、ソングの音量を調節します。



ソングのテンポを調節する

1. [▶/■]を押して、ソングを再生させます。
2. [SHIFT]を押しながらデータダイヤルを回して、テンポを変更します。

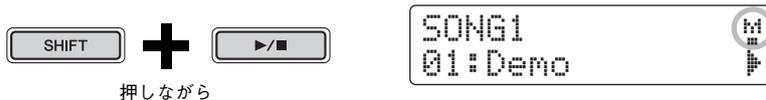


NOTE

- テンポは30～300の範囲で設定できます。
- パッドを叩くタイミングでテンポを調節することもできます(タップテンポ機能、36ページ)。

ソングのドラムパートをミュート(消音)する

1. [▶/■]を押して、ソングを再生させます。
2. [SHIFT]を押しながら[▶/■]を押して、ドラムパートをミュート/ミュート解除します。
ドラムパートがミュートされている場合、画面に“M”が表示されます。



NOTE

ドラムパートの各音色や、ドラム以外の伴奏パートを個別にミュートするには、トレーニングモードのPart Mute (パートミュート、47ページ)をご覧ください。

SONG2

ソングの繰り返し再生を設定する

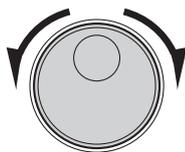
SONG2の画面では、ソングの繰り返し再生を設定できます。

1. [SONG]を押します。
2. [◀]/[▶]を何度か押して、SONG2の画面を呼び出します。



3. データダイヤルを回して、ソングの繰り返しを設定します。

- 画面表示が“Loop=off”のときは、ソングは自動的に停止します。
- 画面表示が“Loop=on”のときは、ソングは繰り返し再生します。



NOTE

ユーザーソングについては、繰り返しの設定は電源を切っても保持されます。

SONG3

カウントを設定する

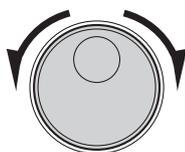
SONG3の画面では、ソングの再生前にカウントを挿入する/しないを設定できます。

1. [SONG]を押します。
2. [◀]/[▶]を何度か押して、SONG3の画面を呼び出します。



3. データダイヤルを回して、カウントの設定をします。

- 画面表示が“PlayCount=off”のときは、カウントは鳴りません。
- 画面表示が“PlayCount=on”のときは、2小節のカウントが鳴ります。



NOTE

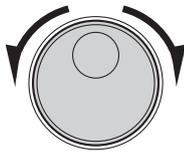
カウントの設定は、すべてのソングに対して共通です。

パッドソングを鳴らす

パッドソングとは、ドラムパッドを叩いて再生させる曲です。スネアドラムのドラムボイスを割り当てたパッドを叩くとスネアドラムの音が鳴るように、パッドソングを割り当てたパッドを叩くとソングを再生/停止できます。

■ パッドソングをパッドに割り当てる

1. [KIT]を押してキットモードに入ります。
2. 編集したいキットをデータダイアルで選びます。



```
KIT1
01:Maple Custom
```

3. [◀]/[▶]を何度か押して、KIT2の画面を呼び出します。



```
KIT2      Snare
4501:MapleCustm
```

4. [SHIFT]を押しながらパッドを叩き、インプットソースを選びます。

Tips

インプットソース

インスト(20ページ)に含まれる各ゾーンのことを「インプットソース」と呼びます。たとえば、スネアはヘッドショット、オープンリムショット、クローズドリムショットという3つのインプットソースが集まって1つの「インスト」となります。1つのインストに対して複数のインプットソースがあるものは、スネア、ライド、クラッシュ、ハイハットの4種類です。(下記表を参照)

インスト	インプットソース	インスト	インプットソース
Snare	snare Head	Crash	crash Bow
	snare OpenRim		crash Edge
	snare ClosedRim		crash Cup
	snare(off) Head (*1)	HiHat	hihat Open
	snare(off) OpenRim (*1)		hihat EdgeOpen
	snare(off) ClosedRim (*1)		hihat CupOpen (*2)
Ride	ride Bow		hihat Close
	ride Edge		hihat EdgeClose
	ride Cup		hihat CupClose (*2)
			hihat FootClose
		hihat FootSplash	

(*1) KitC6の設定画面(62ページ)でSnaresの設定値をoffにしたときの状態です。

(*2) ハイハットにPCY100を使った場合に有効となります。

注記

キットの設定を変更すると、画面の左上に“*”が表示されます。これはキット設定の編集後、セーブ操作がまだ実行されていないことを示しています。セーブ操作が完了するとマーク表示は消えます。(25ページ)

NOTE

パッドソングは「インプットソース」に対して割り当てます。「インスト」に対しては割り当てられません。

NOTE

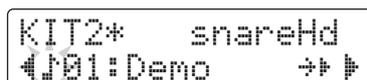
タム1、タム2、タム3、キック、Pad8、Pad10、Pad11、Pad12は1つのパッドに対して1つのインプットソースのみです。

ソングに合わせて演奏する

5. [◀]/[▶]を押して、音色カテゴリーを点滅表示させます。



6. データダイヤルを回して、音色のカテゴリーを“♪” (パッドソング) にします。



7. [◀]/[▶]を押して、ソング番号を点滅表示させます。



8. データダイヤルを回して、パッドソングを選びます。

パッドソングのリストは、データリスト(83ページ)をご覧ください。

NOTE

- パッドソングはソング画面で選択されるメインのソングとは独立して再生できます。
- パッドソングはソングの記録時やトレーニングモードでは再生されません。

■ 繰り返しタイプ/再生タイプを設定する



繰り返しタイプ 再生タイプ

● 繰り返しタイプを設定する

1. [◀]/[▶]を押して、繰り返しタイプの画面表示を点滅させます。

2. データダイヤルを回して値を設定します。

- ◄ : ノーマル再生します。
- ◄◄ : リピート再生(ソングの終わりまで再生するとソングの先頭に戻り再生を繰り返す)します。

● 再生タイプを設定する

1. [◀]/[▶]を押して、再生タイプの画面表示を点滅させます。

2. データダイヤルを回して値を設定します。

- ♯ : パッドを叩くたびに、パッドソングを再生/停止します。
- ♯♯ : パッドを叩くたびに、パッドソングが1小節ずつ再生されます。
- ♯♯♯ : すでに再生されているソングの中で、再生タイプが♯♯♯のソングを停止後、再生を開始します。

クリック(メトロノーム)を使う

クリック(メトロノーム)を鳴らしながらパッドを叩くことで、正確なリズムで叩く練習ができます。

クリックを鳴らす

[]を押してクリックを鳴らします。



- 小節先頭のクリックのタイミングで左側のランプが赤く点灯し、それ以外のタイミングで右側のランプが緑に点灯します。
- クリックのテンポがLEDディスプレイに表示されます。



クリックを止めるには、再び[]を押します。

クリックのテンポを変える

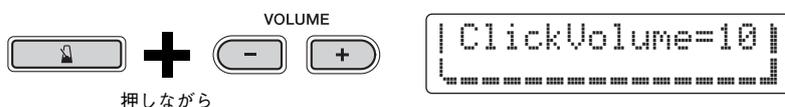
[SHIFT]を押しながらデータダイヤルを回します。



クリックの全体音量を設定する

[]を押しながら[VOLUME +]/[VOLUME -]を押します。

クリックの全体音量が0(オフ)～16(最大)の範囲で設定できます。



NOTE

クリックの全体音量の設定は、すべてのクリックセットに対して共通です。

クリックの設定をする

ここではクリックの細かい設定方法について説明します。クリックは“CLK1”～“CLK6”の6つの画面で設定できます。

注記

クリックの設定を変更すると、画面の左上に“*”が表示されます。これはクリック設定の編集後、セーブ操作がまだ実行されていないことを示しています。セーブ操作が完了するとマーク表示は消えます。(37ページ)



以下、“CLK1”～“CLK6”の画面で設定できる内容を説明します。

CLK1の画面では、以下の4点を設定できます。

- クリックセット番号を選ぶ
- クリックのテンポを設定する
- クリックの拍子を設定する
- クリックのタイマーを設定する

CLK1の画面を呼び出すには、[SHIFT]を押しながら[]を押します。



CLK1

クリックセット番号を選ぶ

DTX502では、最大30種類の自作のクリックセット(クリック設定)を本体に保存できます。ここでは本体に保存されたクリックセットを呼び出す方法について説明します。

1. [◀]/[▶]を押して、クリックセット番号を点滅表示させます。

2. データダイヤルを回して、クリックセット番号を選びます。

1～30の範囲で選べます。

これ以降の説明で、クリックの設定を変更した場合は、クリックセットを保存しておきましょう。詳しくは「設定したクリックを保存する」(37ページ)をご覧ください。

NOTE

どのクリックセット番号を選んだかは、電源を切っても保持されます。

CLK1

クリックのテンポを設定する

1. [◀]/[▶]を押して、“”の右にある数字を点滅表示させます。
2. データダイヤルを回して、テンポを設定します。
30～300の範囲で設定できます。

NOTE

- “”が点滅表示していないときでも、[SHIFT]を押しながらデータダイヤルを回してテンポを変えることができます。
- パッドを叩くタイミングでテンポを調節することもできます(タップテンポ機能、36ページ)。

CLK1

クリックの拍子を設定する

1. [◀]/[▶]を押して、拍子の画面表示を点滅表示させます。
2. データダイヤルを回して、クリックの拍子を設定します。
1/4～16/4、1/8～16/8、1/16～16/16が設定できます。

CLK1

クリックのタイマーを設定する

クリックをスタート後、ここで設定した時間が経過すると自動的にクリックを停止できます。

1. [◀]/[▶]を押して、“”の画面表示を点滅させます。
“”の表示が数字に変わります。
2. データダイヤルを回して、クリックのタイマーを設定します。
 - 0秒(無効)～600秒(最大)の範囲で設定できます。
 - 30秒単位で設定できます。

NOTE

- クリックのタイマー設定は、すべてのクリックセットに対して共通です。
- クリックのタイマー設定は、トレーニングモードでは機能しません。

CLK2

クリックの細かい音量を設定する

CLK2の画面では、クリックの細かい音量を設定できます。

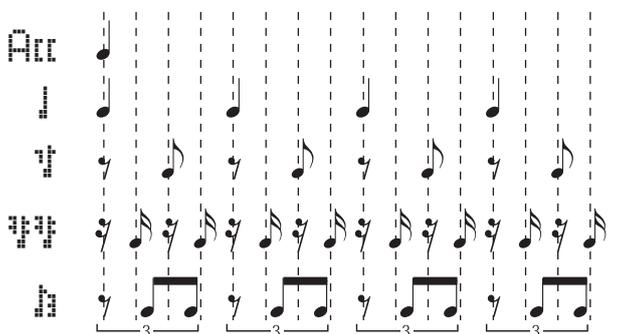
1. [SHIFT]を押しながら[- 2. [◀]/[▶]を何度か押して、CLK2の画面を呼び出します。



```
CLK2*  Acc=9  J=9
  1  1=0  11=0  11=0
```

3. “Acc”、“J”、“1”、“11”、“11” から、設定したい項目を点滅させます。
4. データダイアルを回して、音量を調節します。

おのこののクリック音量を0(無音)～9(最大)の範囲で個別に設定できます。以下の図は、4拍子のときにクリックが発音するタイミングを表わします。



NOTE

拍子が3/8、6/8、9/8、12/8、15/8の場合は設定できる項目が“Acc”、“J”、“11”になります。

CLK3

クリックの音色をまとめて変更する

CLK3の画面では、クリックの各音色(“Acc”、“J”、“1”、“11”、“11”)をまとめて変更できます。

1. [SHIFT]を押しながら[- 2. [◀]/[▶]を何度か押して、CLK3の画面を呼び出します。



```
CLK3*  Sound
  1  1:Metronome
```

3. データダイアルを回して、クリックの音色セットを選びます。

選べる音色セットは以下の6種類です。

1	Metronome1	4	Stick
2	Metronome2	5	Human 1
3	Cowbell	6	Human 2

CLK4

クリックの各音色を設定する

CLK4の画面では、クリックの各音色(“Acc”、“J”、“T”、“W”、“H”)を自由に割り当てることができます。

1. [SHIFT]を押しながら[]を押して、クリックの設定画面に入ります。

2. [◀]/[▶]を何度か押して、CLK4の画面を呼び出します。



3. “Sound=”の右にある項目(“Acc”、“J”、“T”、“W”、“H”)を点滅させ、データダイアルで値を選びます。

4. 音色のカテゴリーを点滅表示させて、データダイアルを回して音色のカテゴリーを選びます。

音色のカテゴリーは以下のとおりです。

K	キック	P	パーカッション
S	スネア	E	効果音
T	タム	W	ウェーブ
C	シンバル	人	ヒューマン
H	ハイハット		

5. 音色番号を点滅表示させて、データダイアルを回して音色を変更します。

NOTE

“人”は、“Acc”、“J”以外では選べません。

NOTE

音色番号が、0番の“No Assign”のときは音が鳴りません。

CLK5

クリック音のチューニングを設定する

CLK5の画面では、クリックの各音色(“Acc”、“J”、“T”、“TT”、“h”)のチューニングを設定できます。

1. [SHIFT]を押しながら[- 2. [◀]/[▶]を何度か押して、CLK5の画面を呼び出します。



3. “Sound=”の右にある項目(“Acc”、“J”、“T”、“TT”、“h”)を点滅させ、データダイアルで値を選びます。
4. “Tune=”の右にある数字を点滅表示させて、データダイアルを回します。

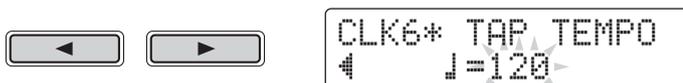
チューニングを-24.0~+24.0の範囲で設定できます。1.0は1半音を表わします。

CLK6

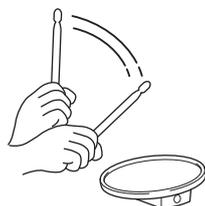
パッドを叩いてテンポを決める(タップテンポ)

CLK6の画面では、パッドを叩いてテンポを決めることができます(タップテンポ)。

1. [SHIFT]を押しながら[- 2. [◀]/[▶]を何度か押して、CLK6の画面を呼び出します。



3. お好みのテンポでパッドを3回以上叩きます。
叩いたテンポが画面に表示されます。



設定したクリックを保存する

クリックの設定(32ページ～36ページ)は、クリックセットに保存しましょう。クリックセットのデータはDTX502の電源を切っても本体メモリーに記憶されます。

1. [SAVE/ENTER]を押します。

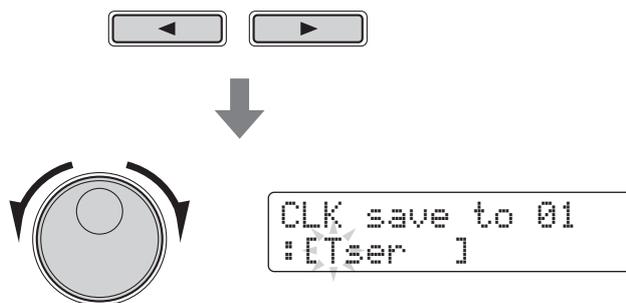
[SAVE/ENTER]が点滅し、以下のような画面が表示されます。



2. データダイヤルを回して保存先のクリックセット番号(1～30)を指定します。

3. クリックセット名を変更します。

[◀]/[▶]を使って変更させたい文字を選び、データダイヤルを回して文字を変更します。



4. [SAVE/ENTER]を押します。



保存をやめるときは、[↵]を押します。

5. [SAVE/ENTER]を押して保存を実行します。

注記

すでにデータがあるクリックセット番号に上書き保存することもできます。ただし、上書き保存すると新しい内容に書き換えられてしまいます。よく確認してから実行してください。

トレーニングモードで練習する

トレーニングとは、さまざまな目的に応じてドラムを楽しく練習できる機能です。リズム感を鍛えるトレーニングや、さまざまな音楽ジャンルのドラムパターンを覚えるトレーニング、ドラムの派手さを競うトレーニングなど、DTX502には8種類のトレーニングがあります。

トレーニングモード

— リズム感を鍛える	
— 1. Groove Check (グルーブチェック).....	38ページ
— 2. Rhythm Gate (リズムゲート).....	40ページ
— 3. Measure Break (メジャーブレイク).....	41ページ
— 4. Tempo Up/Down (テンポアップ/ダウン).....	42ページ
— 5. Change Up (チェンジアップ).....	44ページ
— ドラムパターンを覚える	
— 6. Pad Gate (パッドゲート).....	46ページ
— 7. Part Mute (パートミュート).....	47ページ
— ドラムの派手さを競う	
— 8. Fast Blast (ファストブラスト).....	49ページ

- お好みのソングに合わせながらトレーニングしたい場合は、ソングモードであらかじめソングを選んでおきます(26ページ)。
- トレーニングするテンポは、[SHIFT]を押しながらデータダイヤルを回してあらかじめ設定しておきます(31ページ)。

NOTE

トレーニングモードでは、以下の機能が無効になります。

- パッドソング
- パッドファンクション

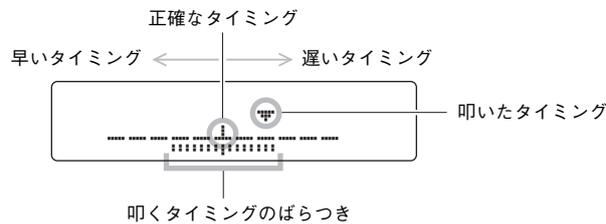
1. Groove Check (グルーブチェック)

叩くタイミングのズレを画面で確認しながら、正確なタイミングでパッドを叩きます。このトレーニングは、クリックに合わせてながらトレーニングする方法と、ソングに合わせてながらトレーニングする方法があります。また、トレーニング後に採点結果が画面に表示されます。

■ トレーニングする手順

- 1. [SHIFT]を押しながら[KIT]を押して、トレーニングモードに入ります。**
- 2. データダイヤルを回して、“01:Groove Check”を選びます。**
[▶/■]と[▼]が点滅して、スタンバイ状態になります。
- 3. [▶/■]または[▼]を押して、トレーニングを開始します。**
[▶/■]を押した場合は、ソングに合わせてながらトレーニングします。
[▼]を押した場合は、クリックに合わせてながらトレーニングします。

4. クリックまたはソングに合わせて正確なタイミングでパッドを叩きます。



● 叩いたタイミングを確認する

- ・自分が叩いたタイミングは▼印で表示されます。
- ・▼印が画面中央に来ると、正確なタイミングで叩いていることになります。
- ・▼印が中央よりも左側に来るときは、早いタイミングで叩いていることになります。
- ・▼印が中央よりも右側に来るときは、遅いタイミングで叩いていることになります。

● 叩くタイミングのばらつきを確認する

- ・叩くタイミングのばらつきは、画面下側の“⋮”で確認できます。
- ・“⋮”の幅が広いほど、演奏にばらつきが多いことを示します。

5. トレーニングを終了するには、3.で押したボタンをもう一度押します。

- ・採点結果が画面に表示されます。最高得点は100点です。
- ・採点結果が表示されているときに[▶]を押すと、各楽器(ハイハット、スネア、キック、タム、シンバル)個別の演奏のばらつきを確認できます。画面下側の“⋮”の幅が広いほど、演奏にばらつきが多いことを示します。
- ・[SAVE/ENTER]を押すと、トレーニング選択画面に戻ります。

NOTE

トレーニングするテンポを変えるには、データダイヤルを回します。

NOTE

- ・トレーニングする時間(長さ)を設定したいときは、メニューモードの「タイマー」(72ページ)をご覧ください。
- ・ソングの繰り返し設定(28ページ)がオフの場合は、1曲再生された時点でトレーニングが終わります。

2. Rhythm Gate (リズムゲート)

パッドを叩くタイミングにズレがないかを画面で確認しながら、正確なタイミングでパッドを叩きます。正確なタイミングで叩かないと音が鳴りません。このトレーニングは、クリックに合わせながらトレーニングする方法と、ソングに合わせながらトレーニングする方法があります。また、トレーニング後に採点結果が画面に表示されます。

■ トレーニングする手順

1. [SHIFT]を押しながら[KIT]を押して、トレーニングモードに入ります。

2. データダイヤルを回して、“02:Rhythm Gate”を選びます。

[▶/■]と[▼]が点滅して、スタンバイ状態になります。

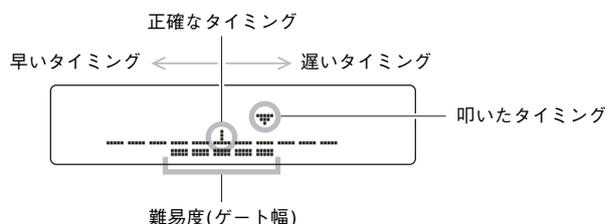
3. [▶/■]または[▼]を押して、トレーニングを開始します。

[▶/■]を押した場合は、ソングに合わせながらトレーニングします。

[▼]を押した場合は、クリックに合わせながらトレーニングします。

4. クリックまたはソングに合わせて正確なタイミングでパッドを叩きます。

パッドを叩いたタイミングが、難易度(ゲート幅)の範囲内にあるときに音が鳴ります。難易度(ゲート幅)の範囲外のときは音が鳴りません。



● 叩いたタイミングを確認する

- 自分が叩いたタイミングは▼印で表示されます。
- ▼印が画面中央に来ると、正確なタイミングで叩いていることになります。
- ▼印が中央よりも左側に来るときは、早いタイミングで叩いていることになります。
- ▼印が中央よりも右側に来るときは、遅いタイミングで叩いていることになります。

5. トレーニングを終了するには、3.で押したボタンをもう一度押します。

- 採点結果が画面に表示されます。最高得点は100点です。
- 採点結果が表示されているときに[▶]を押すと、各楽器(ハイハット、スネア、キック、タム、シンバル)の正確に叩けた割合を確認できます。
- [SAVE/ENTER]を押すと、トレーニング選択画面に戻ります。

NOTE

トレーニングするテンポを変えるには、データダイヤルを回します。

NOTE

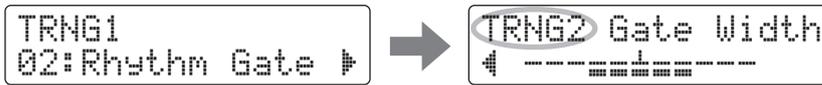
- トレーニングする時間(長さ)を設定したいときは、メニューモードの「タイマー」(72ページ)をご覧ください。
- ソングの繰り返し設定(28ページ)がオフの場合は、1曲再生された時点でトレーニングが終わります。

■ 難易度(ゲート幅)を調節する

トレーニングの難易度(ゲート幅)を調節できます。

1. Rhythm GateのTRNG1画面で[▶]を押します。

TRNG2の画面が表示されます。



2. データダイヤルを回して難易度(ゲート幅)を設定します。

ゲート幅が広いほど難易度は低くなり、ゲート幅が狭いほど難易度は高くなります。

3. [◀]を押して、Rhythm Gateの画面に戻ります。

NOTE

トレーニングの実行中には設定できません。

3. Measure Break (メジャーブレイク)

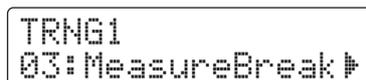
特定の小節だけクリック音をミュート(消音)してトレーニングします。たとえば、フィルインの小節だけクリックを鳴らさないように設定すると、フィルインで叩くタイミングがずれたかを把握できるので、演奏全体を通して一定のテンポで叩けるようになります。また、トレーニング後に採点結果が画面に表示されます。

■ トレーニングする手順

1. [SHIFT]を押しながら[KIT]を押して、トレーニングモードに入ります。

2. データダイヤルを回して、“03:MeasureBreak”を選びます。

[▶]が点滅して、スタンバイ状態になります。



3. [▶]を押して、TRNG2の画面を表示させます。



トレーニングモードで練習する

4. クリックを鳴らす/鳴らさない小節数を設定します。



- [◀]/[▶]で設定したい項目を点滅させます。
- データダイアルを回して小節数(1～8)を変更します。

5. [👉]を押して、トレーニングを開始します。



6. トレーニングを終了するには、[👉]をもう一度押します。

- 採点結果が画面に表示されます。最高得点は100点です。
- [SAVE/ENTER]を押すと、トレーニング選択画面に戻ります。

NOTE

トレーニングするテンポを変えるには、データダイアルを回します。

NOTE

トレーニングする時間(長さ)を設定したいときは、メニューモードの「タイマー」(72ページ)をご覧ください。

4. Tempo Up/Down (テンポアップ/ダウン)

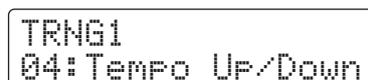
正確なタイミングでどこまで速く叩き続けられるかをトレーニングします。クリックが鳴る正確なタイミングでパッドを叩くとテンポが自動的に上がっていき、正確でなかった場合は自動的に下がっていきます。また、トレーニング後に採点結果が画面に表示されます。

■ トレーニングする手順

1. [SHIFT]を押しながら[KIT]を押して、トレーニングモードに入ります。

2. データダイアルを回して、“04:Tempo Up/Down”を選びます。

[👉]が点滅して、スタンバイ状態になります。

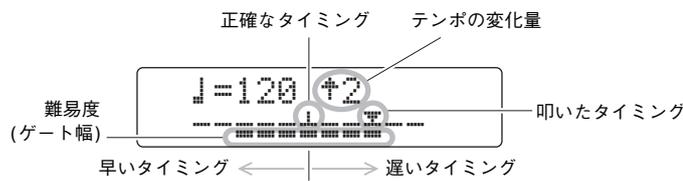


3. [👉]を押して、トレーニングを開始します。

NOTE

トレーニングするテンポを変えるには、データダイアルを回します。

4. クリックの鳴る正確なタイミングでパッドを叩きます。



● 叩いたタイミングを確認する

- 自分が叩いたタイミングは▼印で表示されます。
- ▼印が画面中央に来ると、正確なタイミングで叩いていることになります。
- ▼印が中央よりも左側に来るときは、早いタイミングで叩いていることになります。
- ▼印が中央よりも右側に来るときは、遅いタイミングで叩いていることになります。

● テンポが上がる/下がるルール

4小節ごとに正確なタイミングで叩けたか集計されます。より正確なタイミングで叩くほどテンポの上がり方は大きくなり、タイミングを外すほどテンポの下がり方は大きくなります。

5. トレーニングを終了するには、[🖱️]をもう一度押します。

- 採点結果が画面に表示されます。最高得点は100点です。
- [SAVE/ENTER]を押すと、トレーニング選択画面に戻ります。

NOTE

- トレーニングする時間(長さ)を設定したいときは、メニューモードの「タイマー」(72ページ)をご覧ください。
- トレーニングの難易度を調節したいときは、メニューモードの「難易度」(72ページ)をご覧ください。
- このトレーニングで、正確に叩けなかった場合にドラムの音を鳴らす/鳴らさないの設定ができます。メニューモードの「タイミング外の発音」(72ページ)をご覧ください。

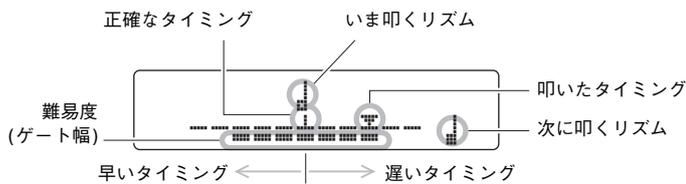
5. Change Up (チェンジアップ)

7種類のリズム*から、お好みの組み合わせを選び、設定した小節数で正確に叩くトレーニングです。また、トレーニング後に採点結果が画面に表示されます。

* ♩、♪、♪♪、♪♪♪、♪♪♪♪、♪♪♪♪♪、♪♪♪♪♪♪ の7種類です。

■ トレーニングする手順

1. [SHIFT]を押しながら[KIT]を押して、トレーニングモードに入ります。
2. データダイヤルを回して、“05:Change Up”を選びます。
[▶/■]が点滅して、スタンバイ状態になります。
3. [▶/■]を押して、トレーニングを開始します。

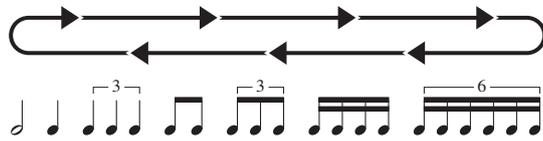


● 叩いたタイミングを確認する

- 自分が叩いたタイミングは▼印で表示されます。
- ▼印が画面中央に来ると、正確なタイミングで叩いていることになります。
- ▼印が中央よりも左側に来るときは、早いタイミングで叩いていることになります。
- ▼印が中央よりも右側に来るときは、遅いタイミングで叩いていることになります。

4. お手本のリズム(いま叩くリズム)に合わせてパッドを叩きます。

お手本のリズムは、以下のように変わります。



- いま叩くリズムは、画面上部に表示されます。
- 次に叩くリズムは、画面右下に点滅表示されます。
- お手本のリズムをミュート(消音)してクリック音だけでトレーニングするには、[SHIFT]を押しながら[▶/■]を押します。
- ミュートを解除するには、もう一度[SHIFT]を押しながら[▶/■]を押します。

5. トレーニングを終了するには、[▶/■]をもう一度押します。

- 採点結果が画面に表示されます。最高得点は100点です。
- [SAVE/ENTER]を押すと、トレーニング選択画面に戻ります。

NOTE

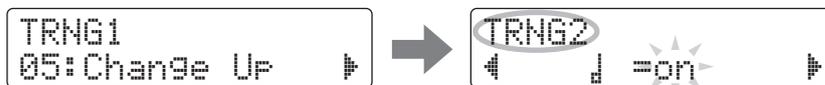
- [▶/■]ボタンを押してもトレーニングを終了できません。
- トレーニングする時間(長さ)を設定したいときは、メニューモードの「タイマー」(72ページ)をご覧ください。
- トレーニングの難易度を調節したいときは、メニューモードの「難易度」(72ページ)をご覧ください。
- このトレーニングで、正確に叩けなかった場合にドラムの音を鳴らす/鳴らさないの設定ができます。メニューモードの「タイミング外の発音」(72ページ)をご覧ください。

■ トレーニングするリズムの種類を選ぶ

7種類のリズムのうち、トレーニングするリズムの種類を選ぶことができます。

1. Change UpのTRNG1画面で[▶]を押します。

TRNG2の画面を表示させます。



2. データダイアルを回して、“↓”をトレーニングする/スキップするを設定します。

3. 同様に、[◀]/[▶]を押して、トレーニングする/スキップするリズムを選び、データダイアルでトレーニングする/スキップするを設定します。

画面	リズム	画面	リズム
TRNG2	♪ (↓)	TRNG6	♪♪ (↓)
TRNG3	♪ (↓)	TRNG7	♪♪♪ (↓)
TRNG4	♪♪ (↓)	TRNG8	♪♪♪♪ (↓)
TRNG5	♪ (↓)		

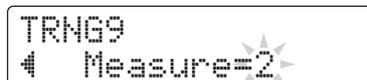
NOTE

トレーニングの実行中には設定できません。

トレーニングモードで練習する

■ リズムが変わるまでの小節数を変更する

1. Change UpのTRNG1画面で[▶]を何度か押して、TRNG9の画面を表示させます。



2. データダイヤルを回して、リズムが変わるまでの小節数(1、2、4)を変更します。

NOTE

トレーニングの実行中には設定できません。

6. Pad Gate (パッドゲート)

ソングのドラムパターンと同じフレーズを叩かないと発音しないトレーニングです。また、トレーニング後に採点結果と各楽器パートの打率が表示されます。

■ トレーニングする手順

1. [SHIFT]を押しながら[KIT]を押して、トレーニングモードに入ります。
2. データダイヤルを回して、“06:Pad Gate”を選びます。
[▶/■]が点滅して、スタンバイ状態になります。
3. [▶/■]を押して、トレーニングを開始します。
ソングが再生されます。
4. ソングのドラムパターンと同じフレーズを叩きます。
 - ・ タイミングを外して叩いた場合は音が鳴りません。
 - ・ ソングのドラムパターンと同じフレーズを叩かないと音が鳴りません。
5. 各楽器(ハイハット、スネア、キック、タム、シンバル)の打率(ソングどおりに正しく叩けた割合)を確認するには、[◀]/[▶]を押します。



6. トレーニングを終了するには、[▶/■]を押します。

- 採点結果が画面に表示されます。最高得点は100点です。
- トレーニング終了後も、各楽器の打率を確認できます。得点が表示されている画面のときに[◀]/[▶]を押します。
- [SAVE/ENTER]を押すと、トレーニング選択画面に戻ります。

NOTE

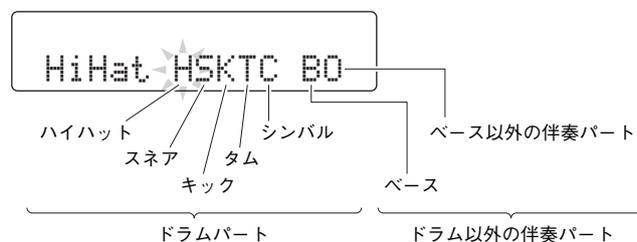
- トレーニングする時間(長さ)を設定したいときは、メニューモードの「タイマー」(72ページ)をご覧ください。
- トレーニングの難易度を調節したいときは、メニューモードの「難易度」(72ページ)をご覧ください。
- このトレーニングで、正確に叩けなかった場合にドラムの音を鳴らす/鳴らさないの設定ができます。メニューモードの「タイミング外の発音」(72ページ)をご覧ください。
- ソングのドラムパターンと同じフレーズを叩かなかった場合の当たり/はずれの判定方法を設定したいときは、メニューモードの「パッドゲートのグループ」(72ページ)をご覧ください。
- ソングの繰り返し設定(28ページ)がオフの場合は、1曲再生された時点でトレーニングが終わります。

7. Part Mute (パートミュート)

ソングにおけるドラムパートの各楽器(ハイハット、スネア、キック、タム、シンバル)や、ドラム以外の伴奏パートをミュート(消音)します。このトレーニングは、画面操作でミュートする方法とパッドを叩いてミュートする方法があります。なお、このトレーニングには採点機能はありません。

■ パートミュートの設定手順

1. [SHIFT]を押しながら[KIT]を押して、トレーニングモードに入ります。
2. データダイヤルを回して、“07:Part Mute”を選びます。
[▶/■]が点滅して、スタンバイ状態になります。
3. [▶/■]を押して、ソングを再生します。



画面のアルファベットは以下の楽器を意味しています。

- H: ハイハット
- S: スネア
- K: キック
- T: タム
- C: シンバル
- B: ベース
- O: ベース以外の伴奏パート

トレーニングモードで練習する

4. ミュートを設定します。

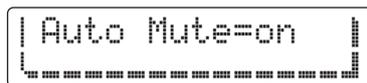
● 画面操作でミュートする方法

- 4-1. [◀]/[▶]を押して、ミュートしたい楽器(H/S/K/T/C/B/O)を点滅させます。
- 4-2. データダイヤルを回して、ミュートのオン/オフを切り替えます。ミュートされた楽器は、上部に “M” と表示されます。



● パッドを叩いてミュートする方法(オートプレイミュート)

- 4-1. [SHIFT]を押しながら[▶/■]を押して、オートプレイミュートをonにします。



- 4-2. ミュートしたい楽器のパッドを叩きます。該当する楽器がミュートされ、上部に “M” と表示されます。



もう一度[SHIFT]を押しながら[▶/■]を押すと、オートプレイミュートはすべて解除されます。

5. パッドを叩いてトレーニングします。

6. トレーニングを終了するには、[▶/■]を押します。

NOTE

画面操作でミュートされた楽器は、オートプレイミュートが使えません。

NOTE

オートプレイミュートされた部分をしばらく叩かないと、その楽器のミュートは自動的に解除されます。

NOTE

ソングの繰り返し設定(28ページ)がオフの場合は、1曲再生された時点でトレーニングが終わります。

8. Fast Blast (ファストブラスト)

制限時間内にどれだけ激しく叩けるかを競うトレーニングです。ゲーム感覚で楽しく高得点を狙いましょう。また、トレーニング後に採点結果が画面に表示されます。

■ トレーニングする手順

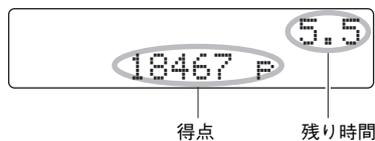
1. [SHIFT]を押しながら[KIT]を押して、トレーニングモードに入ります。
2. データダイアルを回して、“08:Fast Blast”を選びます。
3. [▶/■]を押します。

下図のように画面表示され、スタンバイ状態になります。



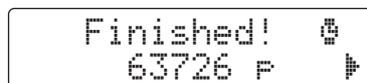
4. パッドを叩いて、トレーニングを開始します。

制限時間内に、より多くのパッドを目いっぱい叩きます。



- ・パッドを叩き始めてからトレーニングは開始されます。
- ・残り時間/得点は画面で確認できます。
- ・トレーニングを中断したいときは、[▶/■]をもう一度押します。

5. 制限時間が過ぎると、画面に“Finished!”と表示され、得点を確認できます。



NOTE

制限時間(トレーニングする時間)を変えたいときは、メニューモードの「ファストブラストのタイマー」(73ページ)をご覧ください。

トレーニングモードで練習する

● パワーポイントとアクティブポイントを確認する

5-1. “Finished!” と画面に表示されている状態で[▶]を押します。

5-2. 画面にパワーポイント(Pwr)とアクティブポイント(Act)が表示されます。



- 力強く叩けば叩くほど、パワーポイントは高くなります。
- より多くのパッドを叩けば叩くほど、アクティブポイントは高くなります。

[SAVE/ENTER]を押すと、トレーニング選択画面に戻ります。

● 最高得点を確認する

5-1. “Finished!” と画面に表示されている状態で[▶]を2回押します。

5-2. 画面にこれまでの最高得点が表示されます。



[SAVE/ENTER]を押すと、トレーニング選択画面に戻ります。

自分の演奏を記録する

DTX502では自分のドラム演奏を内蔵のレコーダーにユーザーソングとして記録できます。

NOTE

- ・内蔵のレコーダーに記録される演奏はオーディオファイルではありません。パッドをどのようにどのタイミングで叩いたかという演奏情報がMIDIデータとして記録されます。
- ・演奏の記録中は、以下の機能が無効になります。
 - ・パッドソング
 - ・パッドファンクション

演奏を記録する準備

1. [SONG]を押します。



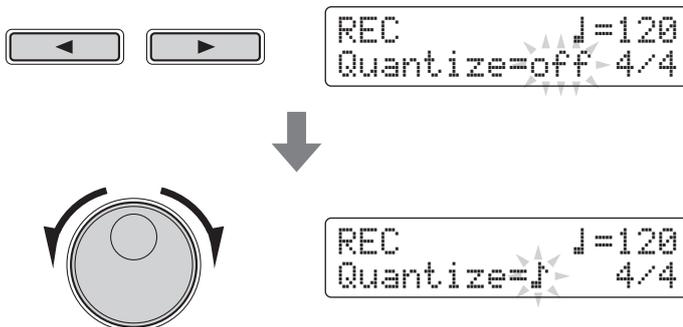
2. データダイヤルを回して、記録先のユーザーソング番号(61～100)を選びます。

プリセットソングに合わせながら演奏したデータを記録したいときは、希望のプリセットソング番号(1～60)を選びます。この場合、記録はデータの入っていない若い番号のユーザーソング番号に対して行なわれます。

3. [SHIFT]を押しながら[SONG]を押して、RECの画面を呼び出します。



4. [◀]/[▶]を押して設定したい項目を点滅させ、データダイヤルを回してその値を設定します。



注記

すでにデータのあるユーザーソング番号に上書き記録することもできます。ただし、上書き保存すると新しい内容に書き換えられてしまいます。よく確認してから実行してください。

NOTE

ユーザーソングに空きがない場合は、「Seq data is not empty.」が表示されて記録できません。

自分の演奏を記録する

● テンポ

記録時のソングのテンポを設定します。

● クオンタイズ

クオンタイズとは、タイミングがずれて演奏されたパッド情報を、ジャストなタイミングに矯正する機能です。指定した音符でクオンタイズをかけながら記録できます。設定値は以下のとおりです。

● 拍子が3/8、6/8、9/8、12/8、15/8の場合

♪、♪、♪、♪₃、♪、♪₃、off

● 拍子が上記以外の場合

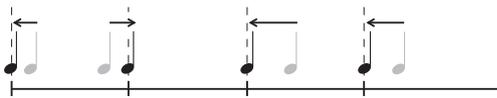
♪、♪₃、♪、♪₃、♪、♪₃、off

クオンタイズの動作例

・ タイミングがずれて入力されたデータ



・ クオンタイズによりタイミングが矯正されたデータ



ジャストなタイミング

● 拍子

記録時のクリックの拍子を設定します。

NOTE

設定値をoffにするとクオンタイズはかかりません。

演奏を記録する

1. [▶/■]を押します。

カウントのあとに記録が始まります。



```
REC Meas=001:01
Now recording...
```

NOTE

クリック音を聞きながら録音したい場合は、記録を開始する前にクリックを再生させます。

2. 演奏を終えたら、再び[▶/■]を押します。

記録した演奏を再生する

1. [▶/■]を押します。

2. 再生をやめるときは、再び[▶/■]を押します。

NOTE

AUX IN端子から入力される音声は記録されません。

ユーザーソングに名前をつける

完成したユーザーソングにオリジナルの名前をつけましょう。

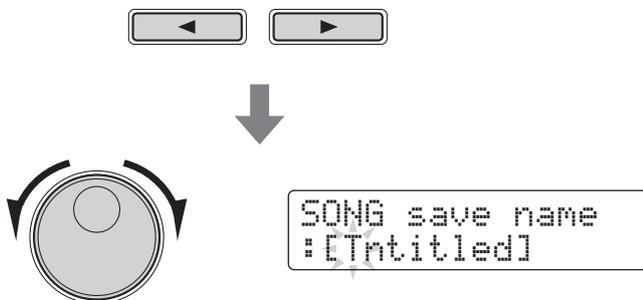
1. SONG1の画面で[SAVE/ENTER]を押します。

[SAVE/ENTER]が点滅し、以下のような画面が表示されます。



2. ユーザーソング名を変更します。

[◀]/[▶]を使って変更させたい文字を選び、データダイヤルを回して文字を変更します。



3. [SAVE/ENTER]を押します。



保存をやめるときは、[↵]を押します。

4. [SAVE/ENTER]を押して保存を実行します。

NOTE

- プリセットソングのソング名は変更できません。
- 何も録音されていないソング (EmptySng)のソング名は変更できません。

SONG4

記録した演奏を消去する

1. [SONG]を押します。
SONG1の画面が表示されます。
2. データダイヤルを回し、消去したいソング番号を選びます。
3. [◀]/[▶]を何度か押して、SONG4の画面を呼び出します。



4. [SAVE/ENTER]を押します。



消去をやめるときは、[STOP]を押します。

5. [SAVE/ENTER]を押して消去を実行します。

NOTE

プリセットソングは消去できません。

メニューモードで詳細な設定をする

メニューモードには、この製品をより細かく設定できる8つの項目があります。

メニューモード

01: Mixer : ミキサー設定		07: Training : トレーニング設定	
└─	MIXER ミキサー.....	57ページ	└─ Trng1 タイマー.....
			72ページ
02: KitVoice : キットボイス設定		└─ Trng2 難易度.....	72ページ
└─	KitV1 レイヤー.....	57ページ	└─ Trng3 タイミング外の発音.....
└─	KitV2 音色.....	58ページ	72ページ
└─	KitV3 音量.....	59ページ	└─ Trng4 パッドゲートのグループ.....
└─	KitV4 チューニング.....	59ページ	72ページ
└─	KitV5 パン.....	59ページ	└─ Trng5 ファストプラストのタイマー.....
└─	KitV6 ディケイ.....	59ページ	73ページ
└─	KitV7 カットオフ周波数.....	59ページ	08: System : システム設定
└─	KitV8 MIDIノートナンバー.....	60ページ	└─ System1 キットロック.....
└─	KitV9 MIDIチャンネル.....	60ページ	73ページ
└─	KitV10 MIDIゲートタイム.....	60ページ	└─ System2 ミュート時の音量.....
└─	KitV11 リバーブセンド(ソース).....	60ページ	73ページ
└─	KitV12 ホールドモード.....	61ページ	└─ System3 マスターイコライザー.....
└─	KitV13 オルタネートグループ.....	61ページ	74ページ
03: KitCommom : キットCOMMON設定		└─ System4 マスターチューン.....	74ページ
└─	KitC1 ツーバススイッチ.....	61ページ	└─ System5 ローカルコントロール.....
└─	KitC2 リバーブセンド(ボイス).....	61ページ	74ページ
└─	KitC3 リバーブタイプ.....	62ページ	└─ System6 クリック音の出力先.....
└─	KitC4 リバーブリターン.....	62ページ	74ページ
└─	KitC5 パッドコントロール.....	62ページ	└─ System7 LED表示項目.....
└─	KitC6 スネアの調節.....	62ページ	74ページ
└─	KitC7 テンポ.....	62ページ	└─ System8 オートパワーオフ.....
└─	KitC8 トリガーセットアップリンク.....	63ページ	75ページ
└─	KitC9 MIDIプログラムチェンジ.....	63ページ	└─ System9 リストア.....
└─	KitC10 MIDIコントロールチェンジ.....	63ページ	75ページ
04: KitJob : キットジョブ		└─ System10 ファクトリーセット.....	75ページ
└─	KitJ1 コピーパッド.....	64ページ	
└─	KitJ2 ユーザーキットクリア.....	65ページ	
05: Pad : パッド設定			
└─	Pad1 ハイハットスブラッシュ感度.....	65ページ	
└─	Pad2 フットクローズポジション.....	65ページ	
└─	Pad3 パッドファンクション.....	66ページ	
06: Trigger : トリガー設定			
└─	TRG1 トリガーセットアップ.....	66ページ	
└─	TRG2 ベロシティーカーブ.....	67ページ	
└─	TRG3 パッドタイプ.....	68ページ	
└─	TRG4 ゲイン.....	68ページ	
└─	TRG5 ミニマムレベル.....	68ページ	
└─	TRG6 ミニマムベロシティー.....	69ページ	
└─	TRG7 リジェクトタイム.....	69ページ	
└─	TRG8 ウェイトタイム.....	69ページ	
└─	TRG9 ノイズフィルター.....	69ページ	
└─	TRG10 クロストーク.....	70ページ	
└─	TRG11 フロムパッド.....	70ページ	
└─	TRG12 コピートリガー.....	71ページ	

メニューモードで詳細な設定をする

設定手順

メニューモードでは、以下の手順で目的の設定画面を表示させ、設定します。

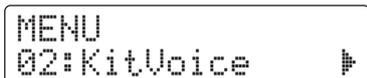
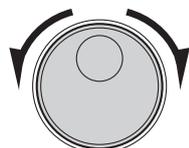
1. [SHIFT]を押しながら[SAVE/ENTER]を押して、メニューモードに入ります。



押しながら



2. データダイヤルを回して目的の機能ページを選びます。



3. 設定したい項目の画面を、[◀]/[▶]で選びます。



NOTE

画面の中に設定項目が複数ある場合は、[◀]/[▶]で目的の設定項目へ点滅表示を移動します。

4. データダイヤルを回して設定値を変更します。



注記

キットボイス設定、キットコモン設定、キットジョブおよびトリガー設定のTRG2～TRG12画面で設定値を変更すると、ページ番号 (TRG2など) のうしろに “*” が表示されます。これは設定の編集後、セーブ操作がまだ実行されていないことを示しています。次の「セーブ操作」の手順に従ってセーブを実行してください。セーブ操作が完了するとマーク表示は消えます。

“*” が表示されない画面では、変更した設定値はセーブ操作なしで保存されます。

■セーブ操作

キットボイス設定、キットコモン設定、キットジョブおよびトリガー設定のTRG2～TRG12画面で設定を変更した場合は、以下のセーブ操作により、変更したデータを本体にセーブ(保存)してください。

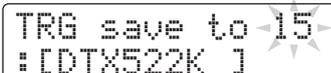
NOTE

セーブせずに他のキットやトリガーセットアップに切り替えたり電源を切った場合、変更した設定の内容は保存されず、変更前の状態に戻ります。

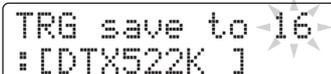
●操作手順

ここでは、トリガー設定を変更し、セーブする場合を例に説明します。トリガー設定はトリガーセットアップに保存されます。キットボイス設定、キットコモン設定、キットジョブ設定はユーザーキット(キット番号51～100)に保存されます(25ページ)。

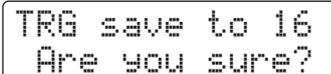
1. トリガー設定を変更後、[SAVE/ENTER]を押します。トリガーセットアップデータのセーブ画面が表示されます。



2. データダイヤルを回して保存先トリガーセットアップ番号(15～30)を選びます。



3. [◀]/[▶]で点滅表示を移動し、データダイヤルを回すことで、トリガーセットアップ名を付けることができます。
4. [SAVE/ENTER]を押します。セーブ実行の確認 “Are you sure ?” が表示されます。



△ 注意

セーブを実行すると、保存先トリガーセットアップの内容はすべて現在の設定内容に書き替えられます。ご確認の上実行してください。

5. セーブを実行する場合はもう一度[SAVE/ENTER]を押します。セーブをキャンセルする場合は[]を押します。
6. “Completed.” と表示されたらセーブ完了です。

01: Mixer

ミキサー設定

ドラムキットの音色ごとの音量バランスを調節します。

MIXER ミキサー



① **ボリューム**

各インプットグループ*間での音量バランスを調節します。

● **インプットグループ**

- H：ハイハット音の音量
- S：スネア音の音量
- K：キック音の音量
- T：タム音の音量
- C：シンバル音の音量
- R：リバーブのかかり具合

[◀]/[▶]でインプットグループを選び、データダイアルでそのグループの音量を調整します。

各インプットグループのアルファベット表示の上部に、フェーダーのイメージで音量が表示されます。

Rはドラムキット全体の音色へのリバーブのかかり具合の設定です。

NOTE

* **インプットグループ**

音色カテゴリーによりまとめられた音色のグループです。たとえばT(タムの音量)を変更すると、音色カテゴリー T(タム)の音の音量がすべて変更されます。

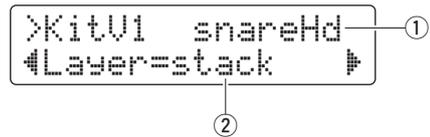
設定値	0~16
-----	------

02: KitVoice

キットボイス設定

ドラムキットの音色をトリガー入力ソース単位で設定します。

KitV1 レイヤー



① **トリガー入力ソース**

エディット対象のトリガー入力ソースを指定します。パッドの該当する部分を叩いて選択します。

この設定はレイヤー A、Bに共通です(レイヤー A、Bは個別表示なし)。

NOTE

[SHIFT]+[◀]/[▶]でもトリガー入力ソースを選択できます。

設定値	snareHd, snareOp, snareCl, snrOfHd, snrOfOp, snrOfCl, tom1Hd, tom2Hd, tom3Hd, rideBw, rideEg, rideCp, crashBw, crashEg, crashCp, kick, pad8, hhOpBw, hhOpEg, hhOpCp, hhClBw, hhClEg, hhClCp, hhFtCl, hhSplsh, pad10, pad11, pad12, kick2 トリガー入力端子とトリガー入力ソースの関係については29ページを参照。
------------	---

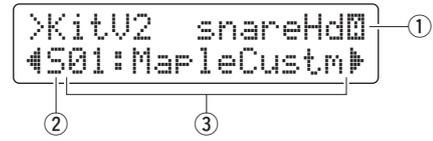
メニューモードで詳細な設定をする

② Layer

指定したトリガー入カソースの2つのレイヤー (A、B) の発音のしかたを設定します。

設定値	詳細
off	レイヤー Bは常にオフとなり、レイヤー Aのみ発音する。
stack	レイヤー AとBがすべてのベロシティ範囲で同一ベロシティで発音する。
XFade1~XFade9はレイヤー A、B間でベロシティークロスフェード発音する。	
XFade1	
XFade2	
XFade3	
XFade4	
XFade5	
XFade6	
XFade7	
XFade8	
XFade9	
VelSw***	指定したベロシティー値を境にレイヤー A、Bが切り替わる。 例) VelSw60の場合、ベロシティー 1~59ではレイヤー Aが発音、ベロシティー 60~127ではレイヤー Bが発音する。

KitV2 音色



① トリガー入カソース

エディット対象のトリガー入カソースを指定します。パッドの該当する部分を叩いて選択します。レイヤー A、Bは[SHIFT]+[◀]/[▶]で切り替えます。

NOTE

[SHIFT]+[◀]/[▶]でもトリガー入カソースを選択できます。

設定値	詳細
	snareHd, snareOp, snareCl, snrOfHd, snrOfOp, snrOfCl, tom1Hd, tom2Hd, tom3Hd, rideBw, rideEg, rideCp, crashBw, crashEg, crashCp, kick, pad8, hhOpBw, hhOpEg, hhOpCp, hhClBw, hhClEg, hhClCp, hhFtCl, hhSplsh, pad10, pad11, pad12, kick2
	トリガー入力端子とトリガー入カソースの関係については29ページを参照。

② 音色のカテゴリ

指定したトリガー入カソースのレイヤーに割り当てる音色のカテゴリを選択します。

設定値	詳細
K	キック
S	スネア
T	タム
C	シンバル
H	ハイハット
P	パーカッション
E	効果音
W	ウェーブボイス (*1)
♪	パッドソング (*2)

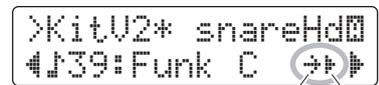
NOTE

*1 ウェーブボイス

楽器音や効果音、サンプリングしたフレーズなどの波形ファイル(WAVファイル)を、コンピューター経由でDTX502本体に転送し、音色として使うことができます。転送方法については79ページをご覧ください。

*2 パッドソング

パッドを叩くことで、DTX502の内蔵ソングを再生する機能です。音色と同様にレイヤー単位でパッドに割り当てることができます。パッドソングは同時に3つまで再生できます。音色カテゴリにパッドソングを選んだ場合、下図のように繰り返しタイプと再生タイプを設定できます(30ページ)。



繰り返しタイプ 再生タイプ

③ 音色番号：音色名

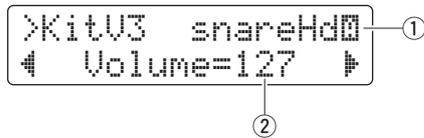
選択したカテゴリー内の音色を選択します。

設定値	カテゴリーごとに音色数は異なります。各カテゴリーの音色については「ボイスリスト」(85ページ)を参照。
-----	---

NOTE

音色に“00:NoAssign”を選んだ場合は、音が鳴りません。

KitV3 音量



① トリガー入カソース

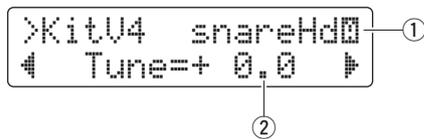
KitV2トリガー入カソース参照。

② Volume

指定したトリガー入カソースのレイヤーに割り当てた音色の音量を設定します。

設定値	0~127
-----	-------

KitV4 チューニング



① トリガー入カソース

KitV2トリガー入カソース参照。

② Tune

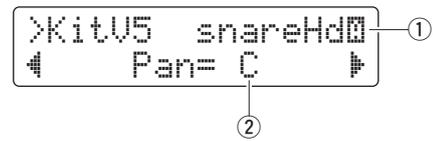
指定したトリガー入カソースのレイヤーに割り当てた音色のチューニングを設定します。

設定値	-24.0~+24.0 (1単位は10セント)
-----	-------------------------

NOTE

音色のカテゴリーがバッドソング(♯)のときは設定しても効果がありません。

KitV5 パン



① トリガー入カソース

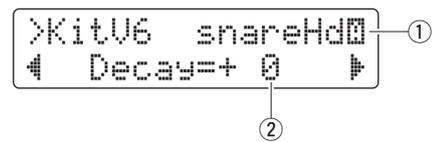
KitV2トリガー入カソース参照。

② Pan

指定したトリガー入カソースのレイヤーに割り当てた音色のパン(ステレオ定位)を設定します。

設定値	L64~C~R63
-----	-----------

KitV6 ディケイ



① トリガー入カソース

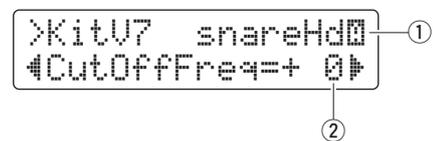
KitV2トリガー入カソース参照。

② Decay

指定したトリガー入カソースのレイヤーに割り当てた音色のディケイ(音が鳴ってから消えるまでの時間)を設定します。プラスの値にすると歯切れのよい音になります。

設定値	-64~0~+63
-----	-----------

KitV7 カットオフ周波数



① トリガー入カソース

KitV2トリガー入カソース参照。

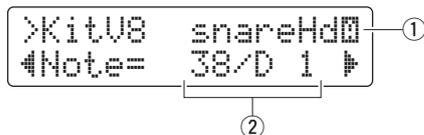
② CutOffFreq

指定したトリガー入カソースのレイヤーに割り当てた音色にかけるフィルターの、カットオフ周波数を設定します。マイナスの値にすると暗い音色になり、プラスの値にすると明るい音色になります。

設定値	-64~0~+63
-----	-----------

メニューモードで詳細な設定をする

KitV8 MIDIノートナンバー



① トリガー入カソース

KitV2トリガー入カソース参照。

② Note

指定したトリガー入カソースにトリガー入力があった際に出力するMIDIノートナンバーを設定します。レイヤー A、Bそれぞれに設定できるので、ひとつのトリガー入力に対して同時に2つのMIDIノートナンバーが出力されます。

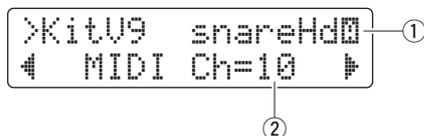
表示は“ノートナンバー/音名”。

設定値	0~127/C-2~G8
-----	--------------

NOTE

KitV1画面で“Layer=off”に設定されている場合は、レイヤー BのMIDIノートは出力されません。

KitV9 MIDIチャンネル



① トリガー入カソース

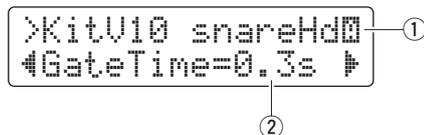
KitV2トリガー入カソース参照。

② MIDI Ch

指定したトリガー入カソースにトリガー入力があった際に出力するMIDIチャンネルを、レイヤー A、Bそれぞれに対して設定します。

設定値	1~16
-----	------

KitV10 MIDIゲートタイム



① トリガー入カソース

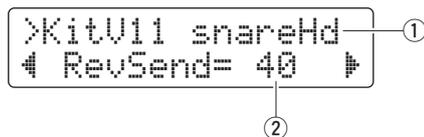
KitV2トリガー入カソース参照。

② GateTime

指定したトリガー入カソースにトリガー入力があった際に出力するMIDI信号のゲートタイム(キーオンからキーオフまでの時間)を、レイヤー A、Bそれぞれに対して設定します。

設定値	0.0s~9.9s
-----	-----------

KitV11 リバーブセンド(ソース)



① トリガー入カソース

KitV1トリガー入カソース参照。

この設定はレイヤー A、Bに共通です。

② RevSend

指定したトリガー入カソースによって発音する音色のリバーブのかかり具合を、設定します。

設定値	0~127
-----	-------

KitV12 ホールドモード

```
>KitV12 snareHd
◀ HoldMode=off ▶
```

① トリガー入カソース

KitV1 トリガー入カソース参照。
この設定はレイヤー A、B に共通です。

② HoldMode

指定したトリガー入カソースによって発音する音色の
ホールドモードを設定します。

設定値	詳細
on	パッドを叩くたびにMIDIキーオン/キーオフを交互に出力する。なお、音色カテゴリーがウェーブボイス(W)の場合は、繰り返し再生される。
off	通常動作。パッドを叩くとMIDIキーオンだけを出力し、ゲートタイム経過後、自動的にキーオフを出力する。

KitV13 オルタネートグループ

```
>KitV13 snareHd
◀ AltGrp=off
```

① トリガー入カソース

KitV1 トリガー入カソース参照。
この設定はレイヤー A、B に共通です。

② AltGrp

指定したトリガー入カソースによって発音する音色の
オルタネートグループを設定します。
オルタネートグループとは、ハイハットクローズとハイハットオープンのように「同時に鳴らしたくない音色」を同じグループにまとめたものです。発音中の音色と同じオルタネートグループの音色のトリガーを受けた場合、発音中の音色を消してから次の音色を鳴らします。

設定値	詳細
off	オルタネートグループの設定なし
HHOpen	ハイハットオープングループ
HHClose	ハイハットクローズグループ
1~9	オルタネートグループ番号。同時に鳴らしたくない音色に同じ番号を設定する。

NOTE

“HHOpen” と “HHClose” のグループは、以下のルールで動作します。

- “HHOpen” グループの音色を鳴らしても、“HHOpen” および “HHClose” グループの音色の発音は止めない。
- “HHClose” グループの音色を鳴らした場合、“HHOpen” グループの音色の発音を止める。

03: KitCommon

キットCOMMON設定

ドラムキットに関する共通の設定をします。

KitC1 ツーバススイッチ

```
>KitC1
◀ DblBass=off ▶
```

① DblBass

この機能を “on” にすると、HI-HAT CONTROL 端子に接続したハイハットコントローラーを踏んだときにバスドラムの音を鳴らすことができます。手軽にツーバスの演奏を楽しめます。

設定値	off, on
-----	---------

NOTE

“on” に設定した場合、ハイハットのオープン/クローズ操作はできなくなります。

KitC2 リバースセンド(ボイス)

```
>KitC2
◀ RevSendDr= 60▶
```

① RevSendDr

ドラムボイス全体の信号の、リバース回路への送り量を設定します。

設定値	0~127
-----	-------

NOTE

ここではドラムボイス全体の信号を対象に、リバースのかかり具合を調整します。パッド(トリガー入カソース)ごとのリバースのかかり具合は、02: KitVoiceのリバースセンド(ソース)で設定します(60ページ)。

メニューモードで詳細な設定をする

KitC3 リバートイプ

```
>KitC3
◀RevType=hall1 ▶
```

①

① RevType

リバートのタイプを設定します。

設定値	none、hall1、hall2、hall3、room1、room2、room3、stage1、stage2、plate
-----	--

KitC4 リバートリターン

```
>KitC4
◀RevMastRet= 64▶
```

①

① RevMastRet

リバート回路から戻る信号の量を設定します。

設定値	0~127
-----	-------

NOTE

この信号の量を調整することで、リバート効果をかけていない信号とリバートのかかった信号とのバランスを調整します。

KitC5 パッドコントロール

```
>KitC5
◀PacCtl=snares ▶
```

①

① PacCtl

SNARE端子にパッドコントローラー付きパッドを接続している場合に、パッドコントローラーにより調整する機能を設定します。

設定値	詳細
off	機能なし
snares	スナッピーの張り具合の調整(オープンリム音にも効果)
tuning	チューニングの調整(オープンリム音にも効果)
tempo	テンポの調整

KitC6 スネアの調節

```
>KitC6
◀ Snares= 4 ▶
```

①

① Snares

SNARE端子に接続したパッドのスナッピーの張り具合を調節します。“off”はスナッピーを外した状態です。

設定値	詳細
off	スナッピーを外した状態
1~24	値が大きいほどスナッピーが張った状態

KitC7 テンポ

```
>KitC7
◀ Tempo=off ▶
```

①

① Tempo

キット選択時のテンポを設定します。“off”に設定すると、キットを切り替えてもテンポは変わりません。

設定値	off、30~300
-----	------------

KitC8 トリガーセットアップリンク

```
>KitC8
◀TrgSetupLk=off▶
```

①

① TrgSetupLk

キットごとに専用のトリガーセットアップ番号を設定できます。個別に設定しない場合は“off”に設定します。

設定値	off, 01~30
-----	------------

KitC9 MIDIプログラムチェンジ

```
>KitC9 Ch1=off
◀PC001 M000L000▶
```

① ②
③ ④ ⑤

キット選択時に送信するMIDIプログラムチェンジナンバーと、そのバンクセレクトMSB、LSBを設定します。

NOTE

プログラムチェンジを送信することで、キットを切り替えたタイミングで、MIDI機器の音色を切り替えるなどの操作ができます。

① Ch (MIDIチャンネル)

プログラムチェンジの設定対象のMIDIチャンネルを設定します。

設定値	1~16
-----	------

② プログラムチェンジ出力のオン/オフ

プログラムチェンジを出力する(on)、出力しない(off)を設定します。

設定値	off, on
-----	---------

③ プログラムチェンジナンバー

送信するプログラムチェンジナンバーを設定します。

設定値	001~128
-----	---------

④ バンクセレクトMSB

⑤ バンクセレクトLSB

設定値	000~127
-----	---------

NOTE

バンクセレクトMSB、LSBの値については、接続するMIDI機器のボイスリスト、MIDIデータフォーマットなどをご参照ください。

KitC10 MIDIコントロールチェンジ

```
>KitC10 Ch1=off
◀Vol=100 Pan=C▶
```

① ②
③ ④

キット選択時に送信するMIDIコントロールチェンジのボリュームとパンを設定します。

NOTE

コントロールチェンジを送信することで、キットを切り替えたタイミングで、MIDI OUT端子に接続したMIDI機器の音色のボリューム、パンを切り替えることができます。

① Ch (MIDIチャンネル)

コントロールチェンジの設定対象のMIDIチャンネルを設定します。

設定値	1~16
-----	------

② コントロールチェンジ出力のオン/オフ

コントロールチェンジを出力する(on)、出力しない(off)を設定します。

設定値	off, on
-----	---------

③ ボリューム

送信するボリュームコントロールチェンジのデータ値を設定します。

設定値	0~127
-----	-------

④ パン

送信するパンコントロールチェンジのデータ値を設定します。

設定値	L64~C~R63
-----	-----------

メニューモードで詳細な設定をする

04: KitJob

キットジョブ

KitJ1 コピーパッド

```
>KitJ1 CopyPad
#01:Snare→Snare▶
```

現在選択中のキットのパッドに、他のキットのパッドの設定をコピーします。コピーはパッド単位で行なわれます。

注記

以下の操作でコピーパッドを完了した状態では設定が変更されただけです（“*”が表示）。設定を保存するには、セーブ(25ページ)を実行してください。セーブをせずにキットを切り替えたり電源を切ったりすると、設定前の状態に戻ります。

1. 上記コピーパッドの画面で点滅表示を移動し、コピー元キット番号：パッドを指定します。

```
>KitJ1 CopyPad
#02:Snare→Snare▶
```

コピー元キット番号：パッド

NOTE

点滅表示がコピー元パッド位置にある場合は、パッドを叩いて指定、もしくは[SHIFT]+[◀]/[▶]で指定できます。

2. 点滅表示を移動し、コピー先パッドを指定します（コピー先キットは、現在選択中のキットです）。

```
>KitJ1 CopyPad
#02:Tom1→Tom2▶
```

コピー先パッド

NOTE

点滅表示がコピー先パッド位置にある場合は、パッドを叩いて指定、もしくは[SHIFT]+[◀]/[▶]で指定できます。

3. [SAVE/ENTER]を押します。
コピー実行の確認 “Are you sure ?” が表示されます。

SAVE/ENTER

```
>KitJ1 CopyPad
Are you sure?
```

⚠ 注意

コピーを実行すると、コピー先パッドの設定はすべてコピー元の設定内容に書き替えられます。ご確認の上実行してください。

コピーを実行する場合はもう一度[SAVE/ENTER]を押します。

コピーをキャンセルする場合は[]を押します。

4. “Completed.” と表示されたらコピー完了です。

KitJ2 ユーザーキットクリア

```
>KitJ2 Clear
#51:User Kit
```

指定したユーザーキットの内容を、工場出荷時の状態に戻します。

- 上記ユーザーキットクリアの画面でクリアするユーザーキット番号(51～100)を指定します。

```
>KitJ2 Clear
#51:User Kit
```

ユーザーキット番号

- [SAVE/ENTER]を押します。
クリア実行の確認“Are you sure?”が表示されず。

SAVE/ENTER

```
>KitJ2 Clear
Are you sure?
```

⚠ 注意

クリアを実行すると、指定ユーザーキットは消去されます。ご確認の上実行してください。

クリアを実行する場合はもう一度[SAVE/ENTER]を押します。

クリアをキャンセルする場合は[]を押します。

- “Completed.” と表示されたらクリア完了です。

05: Pad

パッド設定

Pad1 ハイハットスプラッシュ感度

```
>Pad1
# Splash= 30
```

①

① Splash

ハイハットスプラッシュを鳴らすときの感度を設定します。値を大きくするとハイハットスプラッシュが鳴りやすくなります。しかしハイハットペダルを軽く踏んでリズムをとるときなど鳴らしたくない場合でも音が出やすくなります。ハイハットスプラッシュを使わない場合は、“off” に設定します。

設定値	off、1～127
-----	-----------

Pad2 フットクローズポジション

```
>Pad2
# ClosePos=28
```

①

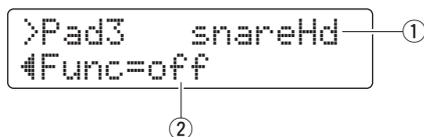
① ClosePos

ハイハットコントローラーを踏んだときに、オープン音からクローズ音に切り替わる位置を調節します。値が小さいほどトップとボトムの開きが狭い感じになります。

設定値	0～32
-----	------

メニューモードで詳細な設定をする

Pad3 パッドファンクション



① トリガー入力

機能を割り当てるパッド(トリガー入力ソース)を、そのパッドを叩いて選択します。

NOTE

[SHIFT]+[◀]/[▶]でもトリガー入力を選択できます。

② Func

指定したパッドを叩くことで、パネルボタンを操作したのと同じ機能を実行するように設定します。

設定値	詳細
off	通常の発音動作
inc kitNo	キット番号を+1する
dec kitNo	キット番号を-1する
inc songNo	ソング番号を+1する
dec songNo	ソング番号を-1する
inc clkNo	クリック番号を+1する
dec clkNo	クリック番号を-1する
inc tempo	テンポ番号を+1する
dec tempo	テンポ番号を-1する
tap tempo	タップテンポ入力(36ページ)
clkOn/Off	クリック音をオン/オフする
song▶■	外部ソングをスタート/ストップする
clk&song▶■	クリック音をオン/オフすると同時に外部ソングをスタート/ストップする(クリックの状態に連動)
doubleBass	ツェバススイッチ(61ページ)をオン/オフする

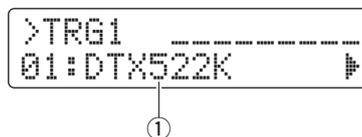
NOTE

トレーニングモードではパッドファンクションは機能しません。

06: Trigger

トリガー設定

TRG1 トリガーセットアップ



① トリガーセットアップ

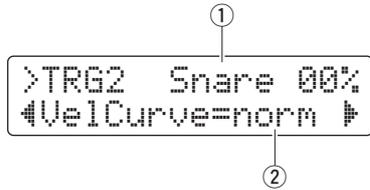
トリガーセットアップを切り替えます。

設定値	
	01: DTX522K、 02: DTX532K、 03: DTX542K、 04: DTX562K、 05: DTX500K、 06: DTX520K、 07: DTX530K、 08: DTX540K、 09: DTX550K、 10: DTX560K、 11: DTXP4STD (DTXPRESS IV STD SET)、 12: DTXP4SP (DTXPRESS IV SP SET)、 13: DTXPL (DTXPLOER)、 14: DrumTrig、 15~30: UserTrig

NOTE

セットアップウィザード(13ページ)を行なうことで、自動的に最適なトリガーセットアップが設定されるので、基本的にはトリガーセットアップを切り替える必要はありません。他のパッドを接続したりクロストークを解消するなど、パッドごとに詳細な設定をする場合は、トリガー設定で編集後、以下の『トリガーセットアップの保存』の手順でユーザートリガーセットアップ(15~30)に保存してお使いください。

TRG2 ベロシティーカーブ



① トリガー入力

エディット対象のトリガー入力を、そのパッドを叩いて選択します。

NOTE

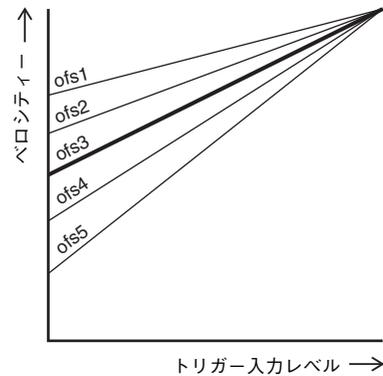
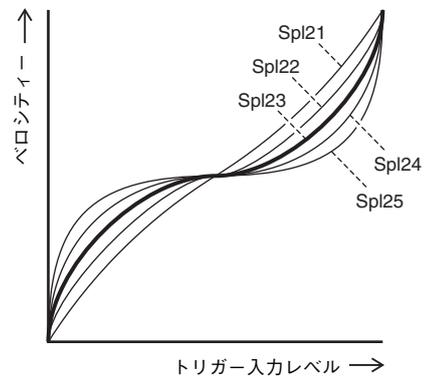
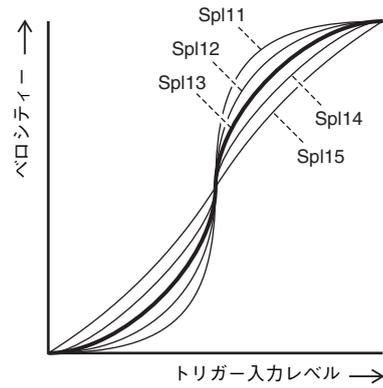
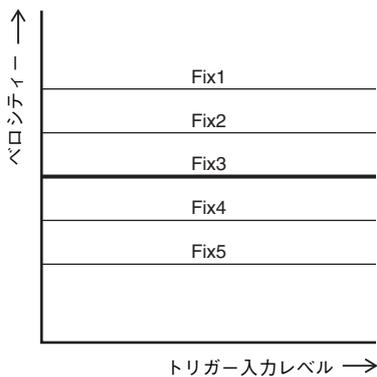
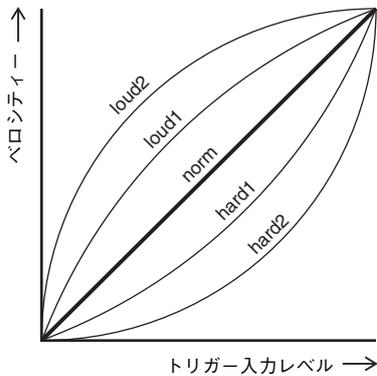
- ・画面右上の%表示は、パッドを叩いたときのトリガー入力レベルです。
- ・[SHIFT]+[◀]/[▶]でもトリガー入力を選択できます。

設定値	Snare, Tom1, Tom2, Tom3, Ride, Crash, Kick, Pad8, Hihat, Pad10, Pad11, Pad12
-----	--

② VelCurve

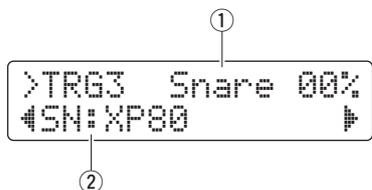
パッドを叩いたときに入力される信号(トリガー入力レベル)の変化に対する音の強さ(ベロシティー)の変化の仕方(ベロシティーカーブ)を設定します。

設定値	loud2, loud1, norm, hard1, hard2, Fix1~Fix5, Spl11~Spl15, Spl21~Spl25, ofs1~ofs5
-----	--



メニューモードで詳細な設定をする

TRG3 パッドタイプ

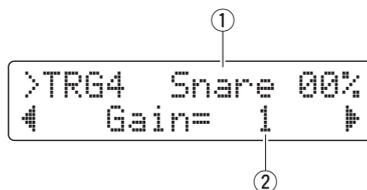


- ① トリガー入力
TRG2 ベロシティーカーブ参照。
- ② パッドタイプ
選択トリガー入力のパッドタイプを設定します。

設定値	
--	OFF
KK	KP125W/125、KP65、KU100
SN	XP120/100、XP80、XP70、 TP120SD/100、TP70S/70、TP65S/65
TM	XP120/100、XP80、XP70、 TP120SD/100、TP70S/70、TP65S/65
CY	PCY155、PCY150S、PCY135、PCY130SC、 PCY130S/130、PCY100、PCY90、 PCY65S/65
HH	RHH135、RHH130、PCY100、PCY90、 TP65S/65
DT	DT10/20SN (スネアドラム用)、 DT10/20tomH (ハイタム用)、 DT10/20tomL (ロータム用)、 DT10/20kick (キックドラム用)、 misc1～misc4 (他社製パッド用)
2P	2ピエゾのパッド用 * ①トリガー入力Tom1、Tom2、Kickの場合のみ選択可能。 * 2ピエゾのバランス設定(H49～H1、0、R1～R49)が可能。たとえば②TOM1/⑩端子に2ピエゾパッドを接続した場合は、TOM1がH(ヘッド)、Pad10がR(リム)となる。リムを叩いてヘッドが鳴る場合はBalanceの値を大きくする(R側)とリムが鳴る。同様にヘッドを叩いてリムが鳴る場合はBalanceの値を小さくする(H側)とヘッドが鳴る。

```
>TRG3 Tom1 0%
<2P:Balance=R 6▶
```

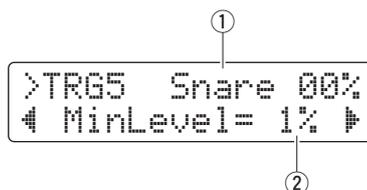
TRG4 ゲイン



- ① トリガー入力
TRG2 ベロシティーカーブ参照。
- ② Gain
トリガー入力のゲイン(増幅率)をパッドごとに設定します。この値を大きく設定するほど、パッドを弱く叩いても発音しやすくなります。

設定値	1～127
-----	-------

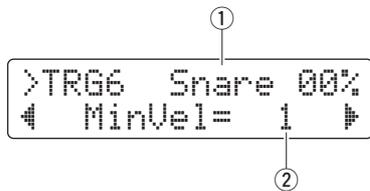
TRG5 ミニマムレベル



- ① トリガー入力
TRG2 ベロシティーカーブ参照。
- ② MinLevel
ここで設定したレベル以下のトリガー入力では発音しません。

設定値	0～99 (%)
-----	----------

TRG6 ミニマムベロシティ



① トリガー入力

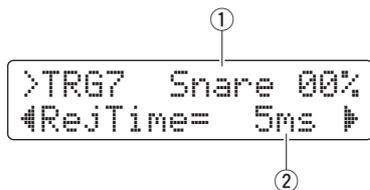
TRG2 ベロシティカーブ参照。

② MinVel

TRG5のミニマムレベルで設定した最小レベルのトリガー入力が発音するベロシティ (音量) を設定します。

設定値	0~126
-----	-------

TRG7 リジェクトタイム



① トリガー入力

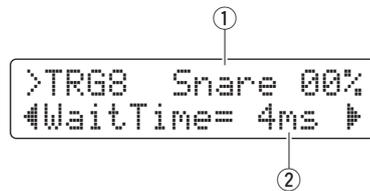
TRG2 ベロシティカーブ参照。

② RejTime

トリガー信号感知後、ここで設定した時間内に発生したダブルトリガーと見なされたトリガー信号を発音しません。
スティックやピーターのリバウンドによるダブルトリガー (1回のショットに対してトリガー信号を2回発生する) を防止します。

設定値	4~500 (ms)
-----	------------

TRG8 ウェイトタイム



① トリガー入力

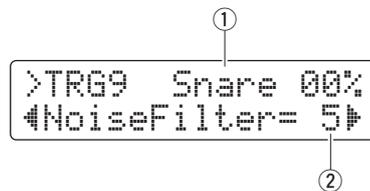
TRG2 ベロシティカーブ参照。

② WaitTime

設定対象のトリガー入力のパッドがトリガー信号を検出するまでの時間を設定します。トリガー信号が最大ピークのとときに検出するようにこの時間を調製することで、パッドを叩いた強さに対して正しい強さで発音させます。

設定値	1~64 (ms)
-----	-----------

TRG9 ノイズフィルター



① トリガー入力

TRG2 ベロシティカーブ参照。

② NoiseFilter

トリガー信号にノイズが含まれている場合や、トリガー信号の乱れが原因で誤発音が発生する場合、この値を大きくすることでノイズや誤発音を抑えます。

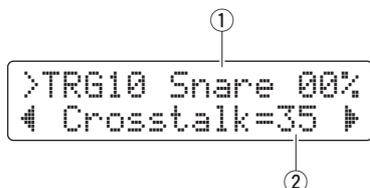
設定値	1~10
-----	------

NOTE

値を大きくするほど、速い連打に対して発音しない場合があります。実際の演奏に支障をきたさないように設定してください。

メニューモードで詳細な設定をする

TRG10 クロストーク



① トリガー入力

TRG2 ベロシティーカーブ参照。

② Crosstalk

パッドを叩いたとき、共振やパッド間の干渉により他のパッドからトリガー信号が発生することをクロストークといいます。ここではTRG11 フロムパッドで設定したパッドを叩いたときに、①トリガー入力のパッドに発生するトリガー信号を検出し、そのレベルがここで設定したレベルより低い場合にクロストークとみなし発音しません。この値を大きくするほどクロストークが起きにくくなりますが、弱打演奏の際に他のパッドと同時に発音しにくくなります。

設定値	0~99
-----	------

TRG11 フロムパッド



① トリガー入力

TRG2 ベロシティーカーブ参照。

② フロムパッド

クロストークが発生した際に、発生源のパッド(トリガー入力)を指定(■)します。ここで指定したパッドに対して、TRG10クロストークの設定が有効になります。指定しない場合は□にします。

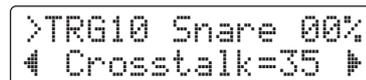
設定値	Sn (Snare)、T1 (Tom1)、T2 (Tom2)、T3 (Tom3)、Ri (Ride)、Cr (Crash)、KK (Kick)、P8 (Pad8)、HH (HiHat)、P10 (Pad10)、P11 (Pad11)、P12 (Pad12)
-----	--

Tips

クロストークの解消方法

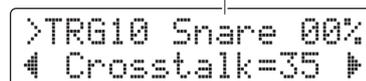
例) タム1およびタム2を叩いたときにスネアが発音してしまう場合

- [SHIFT]+[SAVE/ENTER]でメニューモードに入り、06:Trigger → TRG10クロストークの画面を表示させます。



- クロストークが発生したパッド(ここではスネア)を叩いて指定します。

クロストークが発生したパッド

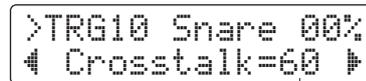


- [◀]/[▶]でTRG11フロムパッドの画面を表示させ、クロストークの発生源パッド(ここではT1とT2)を■に設定します。これで、T1とT2パッドに対して、手順4のCrossTalkの設定が有効になります。



クロストークの発生源パッド

- [◀]でTRG10クロストークの画面に戻り、タム1およびタム2を叩いたときにスネアにクロストークが発生しないレベルにCrossTalkの値を設定します。



クロストークが発生しないレベル

- これでクロストーク解消の設定は完了です。必要に応じて設定をセーブ(56ページ)してください。

TRG12 コピートリガー

```
>TRG12 CopyPad
◀ 1:Snare→Snare
```

指定したトリガーセットアップ番号の任意のパッドの設定を、現在編集中のトリガーセットアップの指定パッドにコピーします。

注記

以下の操作でコピートリガーを完了した状態では設定が変更されただけです（“*”が表示）。設定を保存するにはセーブ(56ページ)を実行してください。セーブをせずにキットを切り替えたり電源を切ったりすると、設定前の状態に戻ります。

1. 上記コピートリガーの画面で点滅表示を移動し、コピー元トリガーセットアップ番号：パッドを指定します。

```
>TRG12 CopyPad
◀ 1:Snare→Snare
```

コピー元トリガーセットアップ番号：パッド

NOTE

点滅表示がコピー元パッド位置にある場合は、パッドを叩いて指定、もしくは[SHIFT]+[◀]/[▶]で指定できます。

2. 点滅表示を移動し、コピー先パッドを指定します(コピー先は、現在選択中のトリガーセットアップです)。

```
>TRG12 CopyPad
◀ 2:Tom1→Tom2
```

コピー先パッド

NOTE

点滅表示がコピー先パッド位置にある場合は、パッドを叩いて指定、もしくは[SHIFT]+[◀]/[▶]で指定できます。

3. [SAVE/ENTER]を押します。
コピー実行の確認“Are you sure?”が表示されます。

SAVE/ENTER

```
>TRG12 CopyPad
Are you sure?
```

⚠ 注意

コピーを実行すると、コピー先パッドの設定はすべてコピー元の設定内容に書き替えられます。ご確認の上実行してください。

コピーを実行する場合はもう一度[SAVE/ENTER]を押します。

コピーをキャンセルする場合は[ESC]を押します。

4. “Completed.” と表示されたらコピー完了です。

メニューモードで詳細な設定をする

07: Training

トレーニング設定

トレーニング機能に関する設定をします。

Trng1 タイマー

```
>Trng1
└─ Timer=off ─┘
    ①
```

① Timer

トレーニングの練習時間を設定します。トレーニング開始後、設定した時間が経過すると自動的に停止します。

設定値	off, 30s, 60s, 90s, 120s, 150s, 180s, 300s, 480s, 600s
-----	--

NOTE

この設定は以下のトレーニングにのみ有効です。

- ・ グループチェック
- ・ リズムゲート
- ・ メジャーブレイク
- ・ テンポアップ/ダウン
- ・ チェンジアップ
- ・ パッドゲート

Trng2 難易度

```
>Trng2
└─ Difficulty=3 ─┘
    ①
```

① Difficulty

トレーニングの難易度を設定します。値が大きいくほど難しくなります。

設定値	1~5
-----	-----

NOTE

この設定は以下のトレーニングにのみ有効です。

- ・ テンポアップ/ダウン
- ・ チェンジアップ
- ・ パッドゲート

Trng3 タイミング外の発音

```
>Trng3
└─ IgnrTiming=off ─┘
    ①
```

① IgnrTiming

タイミングを外して叩いた場合に、発音する(on)/しない(off)を設定します。

設定値	off, on
-----	---------

NOTE

この設定は以下のトレーニングにのみ有効です。

- ・ テンポアップ/ダウン
- ・ チェンジアップ
- ・ パッドゲート

Trng4 パッドゲートのグループ

```
>Trng4
└─ Group=group1 ─┘
    ①
```

① Group

パッドゲート(46ページ)において、ソングのドラムパターンと同じフレーズを叩かなかったときの当たり/はずれの判定方法を設定します。

設定値	詳細
all pads	どのパッドを叩いても、タイミング正しければ当たりとする。
group1	5種類のグループ(キック、スネア、タム、シンバル、ハイハット)内で正しいタイミングで叩いていれば当たりとする。
group2	group1の設定に対し、タム1、2、3とシンバル類は区別される。また、ハイハットはシンバルとフットが区別される。
all note	ソングのドラムパターンとまったく同じフレーズを叩かないと当たりとしない。

NOTE

この設定はパッドゲートにのみ有効です。

Trng5 ファストブラストのタイマー

```
>Trng5
#BlastTimer= 10s
```

①

① BlastTimer

ファストブラスト(49ページ)の練習時間を設定します。トレーニング開始後、設定した時間が経過すると自動停止します。

設定値	10s、30s、60s、90s、120s、150s、180s、300s、480s、600s
-----	---

NOTE

この設定はファストブラストにのみ有効です。

08: System

システム設定

本体システム全体に関する設定のほか、個々のキットやソングに共通する設定をします。

System1 キットロック

```
>System1
#KitLock=off
```

①

① KitLock

工場出荷時の設定では、ソングを選んだ際、そのソングに最適なキットが自動的に選ばれます。キットはそのままにソングだけを切り替えたい場合は、“on”に設定します。

設定値	off、on
-----	--------

NOTE

“KitLock=on”に設定していても、パネル操作によるキットの切り替えは可能です。

System2 ミュート時の音量

```
>System2
#DrumMuteVol= 0
```

①

① DrumMuteVol

[DRUM MUTE]を押してドラムパートをミュートした際のドラムパートの音量を設定します。

設定値	0~10
-----	------

NOTE

“0”に設定すると、ミュートした際にドラムパートは鳴りません。

メニューモードで詳細な設定をする

System3 マスターイコライザー

```
>System3 MEQ
◀Lo=+ 2 Hi=+ 2 ▶
```

① Lo

マスターイコライザー (2バンドシェルビング)の低域のゲイン(dB)を設定します。値を大きくするほど低音が強調されます。

設定値	0~+12
-----	-------

② Hi

マスターイコライザー (2バンドシェルビング)の高域のゲイン(dB)を設定します。値を大きくするほど高音が強調されます。

設定値	0~+12
-----	-------

System4 マスターチューン

```
>System4 MTune
◀ Tune=+ 0 ▶
```

① Tune

ソングのチューニングを1セント単位で調整します。

設定値	-100~+100
-----	-----------

NOTE

この設定はドラムキットの音色には機能しません。

System5 ローカルコントロール

```
>System5
◀LocalCtrl=on ▶
```

① LocalCtrl

パッドやソングによる演奏に対して内部音源が発音する(on)かしないか(off)を設定します。“off”に設定すると、本体のパッド/コントローラー部と音源部が内部的に切り離され、パッドを叩いても音が出なくなります。

設定値	off, on
-----	---------

System6 クリック音の出力先

```
>System6 Click
◀OutSel=mix ▶
```

① OutSel

クリック音の出力先端子(L、R、mix)を設定します。

設定値	詳細
mix	OUTPUT L、R両端子に出力される。
clickL	クリック音はOUTPUT L端子のみに、ドラムやソング再生音はモノラルでOUTPUT R端子に出力される。
clickR	クリック音はOUTPUT R端子のみに、ドラムやソング再生音はモノラルでOUTPUT L端子に出力される。

NOTE

この設定はPHONES端子出力にも同様に適用されます。

System7 LED表示項目

```
>System7 LED
◀ Disp=tempo ▶
```

① Disp

LEDディスプレイに表示させる項目を設定します。

設定値	詳細
tempo	現在のテンポを表示
mode	モードにより以下を表示 <ul style="list-style-type: none"> ・キットモード：キット番号 ・トレーニングモード：現在のテンポ ・ソングモード：ソング番号 ・録音モード：現在のテンポ ・クリックモード： <ul style="list-style-type: none"> ・クリックセット番号(タップテンポ設定ページのみ現在のテンポを表示) ・メニューモード： <ul style="list-style-type: none"> ・無表示(トリガー画面ではトリガー番号を表示) ・その他の場合：無表示
timer	クリックタイマーを表示。 トレーニングモードでは、トレーニングタイマーを表示。

NOTE

“tempo”以外に設定していても、以下の操作時はテンポ値変更後数秒間テンポ値が表示されます。

- ・ [SHIFT]+データダイヤル
- ・ 機能を“tempo”に設定したパッドコントローラー (62ページ)
- ・ パッドファンクション機能を“inc tempo”、“dec tempo”または“tap tempo”に設定したパッド (66ページ)

System8 オートパワーオフ

```
>System8
└─┬ AutoPwrOff=30 ─┘
```

①

① AutoPwrOff

オートパワーオフ(13ページ)するまでの時間、またはオートパワーオフしない(off)を設定します。

設定値	off, 5、10、15、30、60、120 (min)
-----	------------------------------

NOTE

- ・オートパワーオフの設定時間はおおよその目安です。
- ・電源オフ時に、本体の設定は自動的に保存されます。

System9 リストア

```
>System9
└─┬ Restore ─┘
```

すべてのユーザーデータ(キット、クリック、トリガーセットアップ、ソング)を、電源オン時の設定に戻します。

⚠ 注意

リストアを実行すると、電源を入れてから設定した内容は消去されます。ご確認の上実行してください。

1. 上記リストアの画面で[SAVE/ENTER]を押します。リストアの実行を確認する以下の画面が表示されません。

SAVE/ENTER

```
>System9 Restore
Are you sure?
```

リストアをキャンセルする場合は[]を押します。

2. [SAVE/ENTER]を押すとリストアが実行されます。
3. "Completed." と表示されたらリストア完了です。
4. リストアが完了すると、本体がリスタートします。

System10 ファクトリーセット

```
>System10
└─┬ Factory Set ─┘
```

すべてのデータ(キット、クリック、トリガーセットアップ、ソング)を、工場出荷時の設定に戻します。

⚠ 注意

ファクトリーセットを実行すると、設定したすべての内容は消去されます。よく確認してから実行してください。

1. 上記ファクトリーセットの画面で[SAVE/ENTER]を押します。ファクトリーセットの実行を確認する以下の画面が表示されます。

SAVE/ENTER

```
>System10 FactSet
Are you sure?
```

ファクトリーセットをキャンセルする場合は[]を押します。

2. [SAVE/ENTER]を押すとファクトリーセットが実行されます。

```
>System10 FactSet
Executing...
```

3. "Completed." と表示されたらファクトリーセット完了です。

NOTE

[]ボタンと[]ボタンを押しながら電源を入れることでもファクトリーセットを実行できます(14ページ)。

4. ファクトリーセットが完了すると、本体がリスタートしセットアップウィザード画面が表示されます(13ページ)。

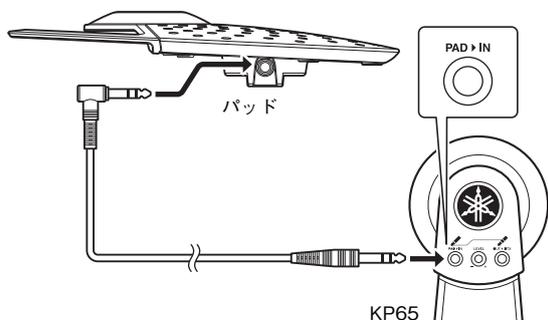
別売品を取り付ける

別売品をDTX502に接続して楽しむ方法をご紹介します。

ここでは、PCY90ATとKU100の接続例を紹介します。これ以外の別売品を取り付ける場合は、メニューモードの「パッドタイプ」(68ページ)をご覧ください。

シンバルパッドPCY90AT(別売品)を増設する

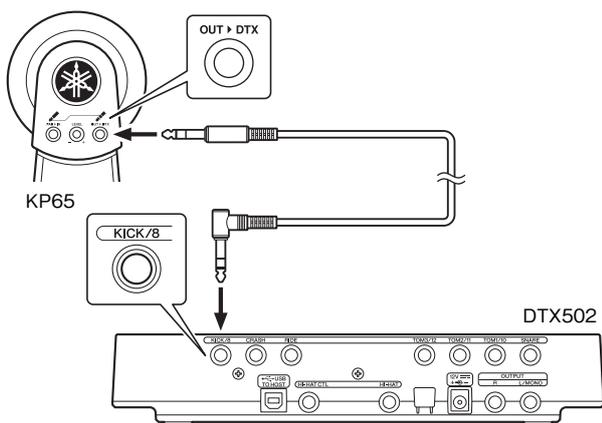
1. DTX502の電源を切ります。
2. PCY90ATをお手持ちのセットに取り付けます。パッドに付属されているケーブルを用いて、パッドをキックパッドKP65のPAD▶INと書かれたジャックに接続します。



NOTE

PCY90ATは②TOM1/⑩、③TOM2/⑪、④TOM3/⑫端子に接続することもできます。その場合は別売Y字ケーブルが必要となります。詳しくは11ページをご覧ください。

3. KP65のOUT▶DTXと書かれたジャックとDTX502のトリガー入力端子(⑦KICK/⑧)とを接続します。

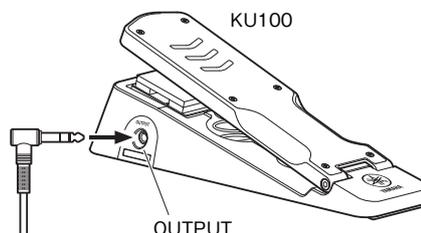


4. DTX502の電源を入れます。
5. パッドタイプをPCY90ATに合わせます。設定方法についてはメニューモードの「パッドタイプ」(68ページ)をご覧ください。トリガー入力はPad8、パッドタイプはPCY90から選んで設定してください。

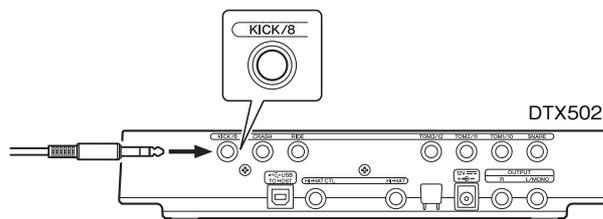
キックユニットKU100(別売品)をキックペダルとして使う

キックユニットKU100はコンパクトで静音性の高いキックペダルです。

1. DTX502の電源を切ります。
2. KU100に付属されているケーブルの一方のプラグを、KU100のOUTPUT端子に差し込みます。



3. ケーブルのもう一方のプラグを、DTX502のトリガー入力端子(⑦KICK/⑧)に接続します。



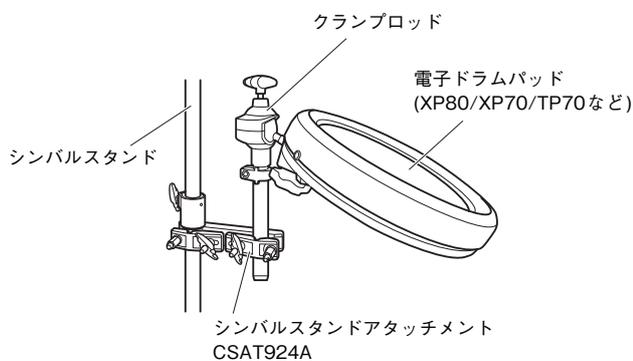
4. DTX502の電源を入れます。
5. パッドタイプをKU100に合わせます。設定方法についてはメニューモードの「パッドタイプ」(68ページ)をご覧ください。トリガー入力はKick、パッドタイプはKU100に設定してください。

アコースティックドラムに電子ドラムを組み込む

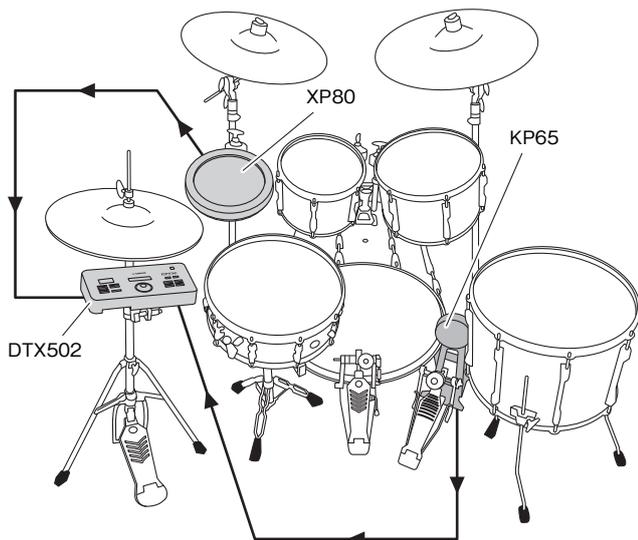
アコースティックドラムセットに電子ドラムを組み込む方法をご紹介します。

アコースティックドラムセットに電子ドラムパッド(XP80/XP70/TP70など)を組み込む

アコースティックドラムのシンバルスタンドに、シンバルスタンドアタッチメントCSAT924Aとクランプロッドを取り付けると、アコースティックドラムセットに電子ドラムパッド(XP80/XP70/TP70など)を組み込むことができます。セッティング例は下図を参照してください。また、接続したパッドに応じて、パッドタイプ(68ページ)を設定してください。

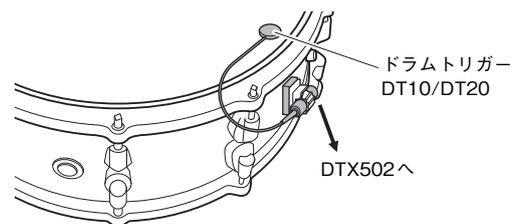


● セッティング例

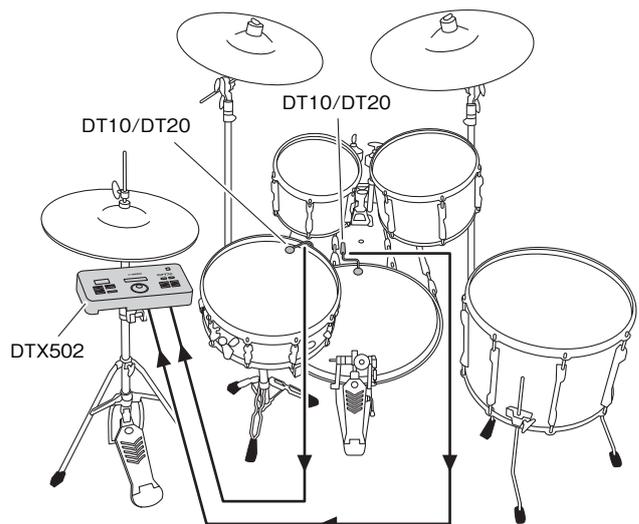


アコースティックドラムを叩いてDTX502を鳴らす

アコースティックドラムのヘッドもしくはシェルにドラムトリガー DT10/DT20を取り付けると、ドラムを叩いたときのトリガー信号をDTX502に伝達できます。



● セッティング例



DT10/DT20をお使いの場合は、DTX502のパッドタイプをDT10/DT20に設定してください。詳しくは68ページをご覧ください。

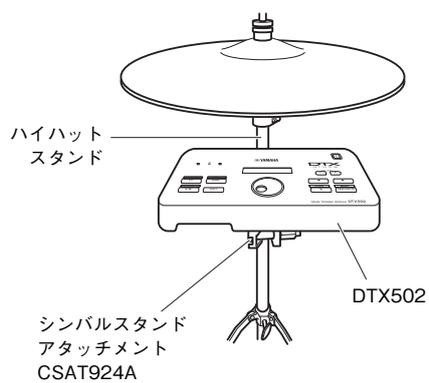
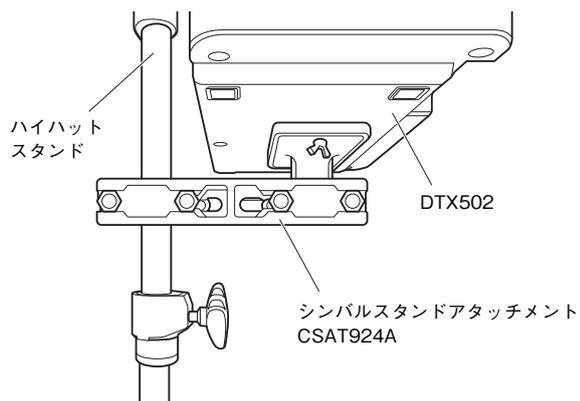
NOTE

- ・ユーザー波形を鳴らしたいときは、リファレンスマニュアル(79ページ)を参照してください。
- ・二度鳴りする場合はミニマムレベル(68ページ)、リジェクトタイム(69ページ)、ノイズフィルター(69ページ)の設定値を調節してください。
- ・感度が鈍い場合はゲイン(68ページ)、ウェイトタイム(69ページ)の設定値を調節してください。

ハイハットスタンドにDTX502を取り付ける

シンバルスタンドアタッチメントCSAT924Aを使うことにより、ハイハットスタンドにDTX502を取り付けることができます。セッティング例は下図を参照してください。

● セッティング例



コンピューターに接続する

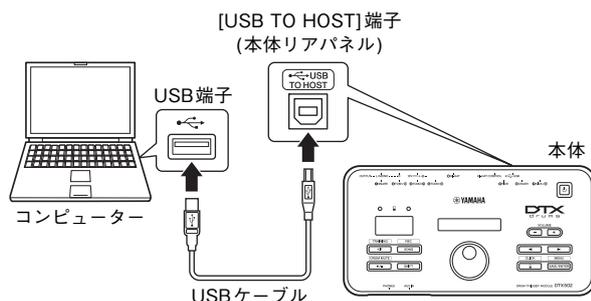
コンピューターとの接続

本体とコンピューターをUSBケーブルで接続することでMIDIデータや波形データを送受信できます。また、音楽制作ソフトウェアの入力機器としても使えます。ここでは、本体とコンピューターの接続方法について説明します。

NOTE

音を鳴らすには、本体にスピーカーやヘッドフォンを接続する必要があります。詳しくは、12ページをご覧ください。

1. 楽器の電源を切ります。
2. コンピューターを起動します。
コンピューター上のアプリケーションは、すべて終了してください。
3. 楽器の[USB TO HOST]端子にUSBケーブルを接続し、次にコンピューターにUSBケーブルを接続します。



4. 楽器の電源を入れます。
コンピューターと楽器との間で通信ができるようになります。

■ ヤマハUSB-MIDIドライバー

通常は上記手順で通信できるようになります。ただし、動作が不安定だったり不具合が発生した場合は、下記URLからヤマハ標準のUSB-MIDIドライバーをダウンロードし、インストールしてください。

<http://download.yamaha.com/jp/>

NOTE

- 動作環境については、上記URLをご覧ください。
- USB-MIDIドライバーは、改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。詳細および最新情報については、上記URLをご確認ください。

■ [USB TO HOST] 端子ご使用時の注意

[USB TO HOST]端子でコンピューターと接続するときは、以下のことを行なってください。以下のことを行なわないと、コンピューターや本体が停止(ハングアップ)して、データが壊れたり、失われたりするおそれがあります。コンピューターや本体が停止したときは、アプリケーションやコンピューターを再起動したり、本体の電源を入れなおしてください。

注記

- USBケーブルは、ABタイプのものご使用ください。また、3メートル未満のケーブルをご使用ください。USB3.0ケーブルは、ご使用できません。
- [USB TO HOST]端子でコンピューターと接続する前に、コンピューターの省電力(サスペンド/スリープ/スタンバイ/休止)モードを解除してください。
- 本体の電源を入れる前に、[USB TO HOST]端子とコンピューターを接続してください。
- 本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行なってください。
 - すべてのアプリケーションを終了させてください。
 - 本体からデータが送信されていないか確認してください。(パッドを叩いたりパターンを再生させたりしても、本体からデータが送信されます。)
- 本体の電源オン/オフやUSBケーブルの抜き差しは、6秒以上間隔を空けて行ってください。

リファレンスマニュアルについて

リファレンスマニュアルでは以下の資料を掲載しています。

- コンピューターを使って本体にソングや波形データを転送する方法
- コンピューターを使って音楽制作をするときに参照する資料
- MIDIに関する資料

下記URLからリファレンスマニュアル(PDF)をダウンロードしてください。

<http://download.yamaha.com/jp/>

※ ウェブサイトのURLは予告無く変更することがあります。

エラーメッセージ一覧

<p>Memory full.</p>	<p>ユーザーソングのメモリー容量が足りません。 不要なユーザーソングを削除してから録音してください。</p>
<p>Seq data is not empty.</p>	<p>プリセットソングを選択してソングを録音する場合、ユーザーソングに空きがないときに表示されます。</p>
<p>Backup error!</p>	<ul style="list-style-type: none">・電源オフ時に、ユーザーデータを保存できなかった場合に表示されます。・エラーメッセージが表示されたあと、自動的にファクトリーセットが実行されます。

困ったときは

お困りの際は、別冊のリファレンスマニュアル(PDF)も併せてご覧ください。
リファレンスマニュアルのダウンロードについては、79ページをご覧ください。

パッドを叩いても音が鳴らない、または音量が小さい

■ 正しく接続されていますか？

- ・パッドが正しく本体のトリガー入力端子に接続されていますか？
- ・ヘッドフォンやアンプ/スピーカーなどの外部機器が正しく接続されているか確認してください。
- ・本体に接続しているアンプ/スピーカーの電源は入っていますか？またボリュームは下がっていませんか？
- ・KP65をお使いの場合は、KP65のLEVELツマミを調節してください。
- ・使用しているケーブルが不良ではないか確認してください。

■ 本体の設定は正しいですか？

- ・音量の設定を見直してください。(15、19、24、59ページ)
- ・パッドに割り当てられている音色が“No Assign”のときは、音が鳴りません。(21、59ページ)
- ・メニューモードの「ディケイ」(KitV6)を見直してください。(59ページ)
- ・メニューモードの「カットオフ周波数」(KitV7)を見直してください。(59ページ)
- ・メニューモードの「パッドファンクション」(Pad3)を見直してください。(66ページ)
- ・メニューモードの「ベロシティカーブ」(TRG2)を見直してください。(67ページ)
- ・メニューモードの「パッドタイプ」(TRG3)を見直してください。(68ページ)
- ・メニューモードの「ゲイン」(TRG4)を見直してください。(68ページ)
- ・メニューモードの「ミニマムレベル」(TRG5)を見直してください。(68ページ)
- ・メニューモードの「クロストーク」(TRG10)を見直してください。(70ページ)
- ・メニューモードの「ローカルコントロール」(System5)を見直してください。(74ページ)

■ ハイハットのフットクローズ音が鳴らない

- ・ハイハットコントローラーをしっかりと踏み込んでください。
- ・メニューモードの「ツーバススイッチ」(KitC1)をオフにしてください。(61ページ)
- ・メニューモードの「フットクローズポジション」(Pad2)の値を小さくしてください。(65ページ)

■ シンバルパッドでエッジ部やカップの音が出ない/チョーク奏法ができない

- ・メニューモードの「パッドタイプ」(TRG3)を見直してください。(68ページ)
- ・PCY100をハイハットに使用する場合、ハイハットカップの音を出すにはPCY100の裏側にあるカップスイッチをオンにしてください。(17ページ)

意図しない音や音量で発音される

■ ハイハットスプラッシュの音がうまく出ない

- ・メニューモードの「ハイハットスプラッシュ感度」(Pad1)の値を調節してください。(65ページ)

■ ハイハットがクローズしにくい

- ・メニューモードの「フットクローズポジション」(Pad2)の値を調節してください。(65ページ)

■ ハイハットの弱打が鳴りにくい

- ・「ツーバススイッチ」(KitC1)をオンにした場合は、ハイハットの弱打が鳴りにくくなることがあります。(61ページ)

■ ②TOM1/⑩、③TOM2/⑪、④TOM3/⑫、⑦KICK/⑧端子に接続したパッドを叩いたときに意図しない音が鳴る

- ・2ゾーン/3ゾーン対応パッドを接続した場合、意図しない音が鳴る場合があります。その場合は、メニューモードの「パッドタイプ」(TRG3)で、設定値をオフにしてください。(68ページ)

■ 音が歪む

- ・マスターボリュームを下げてください。(15ページ)

■ 音が鳴りやまない

- ・[KIT]を何度か押すと、音が鳴りやみます。

■ 大きな音しか鳴らない(ベロシティが常に大きい)

- ・キットの感度を調節してください。(19ページ)
- ・メニューモードの「ベロシティカーブ」(TRG2)の値を調節してください。(67ページ)
- ・メニューモードの「ゲイン」(TRG4)の値が大きすぎると大きな音が鳴ります。(68ページ)
- ・ヤマハ以外のパッドを使用していないですか？メーカーによっては出力が大きいものがあります。

■ それぞれのパッドから鳴る音の音量バランスが悪い

- ・メニューモードの「ミキサー」(MIXER)で、インプットグループ間の音量バランスを調節してください。(57ページ)
- ・メニューモードの「音量」(KitV3)で、インプットソース間の音量バランスを調節してください。(59ページ)

■ リバーブがかからない

- ・メニューモードの「ミキサー」(MIXER)で、リバーブのかけ具合を確認してください。(57ページ)
- ・メニューモードの「リバーブセンド(ソース)」(KitV11)を見直してください。(60ページ)
- ・メニューモードの「リバーブセンド(ボイス)」(KitC2)を見直してください。(61ページ)
- ・メニューモードの「リバーブタイプ」(KitC3)を見直してください。(62ページ)
- ・メニューモードの「リバーブリターン」(KitC4)を見直してください。(62ページ)

■ [AUX IN]端子に接続された携帯用音楽プレーヤーなどと本体の音量バランスが悪い

- ・携帯用オーディオプレーヤーなどの音量が適切かどうか確認してください。(12ページ)

■ ソングと自分が叩くドラムの音量バランスが悪い

- ・ソングの音量を調節してください。(26ページ)

パッドを叩いたときに二度鳴りする/叩いていないパッドの音が鳴る/音抜けする

■ ダブルトリガー（二度鳴り）を起こす

- パッドやトリガーに出力や感度コントロールボリュームなどがある場合は、（下げる方向で）調節してください。
- メニューモードの「ゲイン」(TRG4)の値が大きすぎないか確認してください。(68ページ)

■ クロストーク（叩いたパッド以外のパッドが発音してしまう）を起こす

- メニューモードの「トリガーセットアップ」(TRG1)を見直してください。(66ページ)
- メニューモードの「ゲイン」(TRG4)を見直してください。(68ページ)
- メニューモードの「ミニマムレベル」(TRG5)を見直してください。(68ページ)
- メニューモードの「リジェクトタイム」(TRG7)を見直してください。(69ページ)
- メニューモードの「クロストーク」(TRG10)を見直してください。(70ページ)
- メニューモードの「フロムパッド」(TRG11)を見直してください。(70ページ)
- パッドにレベル調節つまみがあるときは、適切なレベルに調節してください。

■ 音抜けを起こす

- メニューモードの「リジェクトタイム」(TRG7)を見直してください。(69ページ)
- メニューモードの「クロストーク」(TRG10)を見直してください。(70ページ)

■ [DbIBass] をオンにしてツーバスで演奏していると、ハイハットの音が意図せず鳴ってしまう

- メニューモードの「ミニマムレベル」(TRG5)の値を大きくしてみてください。ただし値を大きくしすぎるとハイハットが鳴りにくくなりますのでご注意ください。(68ページ)

■ 2つのパッドを同時に叩いたときに1つしか鳴らない

- メニューモードの「トリガーセットアップ」(TRG1)を見直してください。(66ページ)
- 鳴らないほうのパッドで、メニューモードの「ゲイン」(TRG4)を見直してください。(68ページ)
- 鳴らないほうのパッドで、メニューモードの「ミニマムレベル」(TRG5)を見直してください。(68ページ)
- メニューモードの「クロストーク」(TRG10)を見直してください。(70ページ)
- メニューモードの「フロムパッド」(TRG11)を見直してください。(70ページ)
- メニューモードの「オルタネートグループ」(KITV13)で、両方のパッドのオルタネートグループが同じに設定されていると、1つしか鳴りません。(61ページ)

別売のオプション品がうまく動作しない

■ 安定したドラムトリガーができない(アコースティックドラムにドラムトリガーを装着した場合)

- 「アコースティックドラムに電子ドラムを組み込む」をご覧ください。(77ページ)
- ヘッドが不規則な振動を起こしていませんか？ヘッドをミュートする必要があります。
- ヘッドの中心近くにドラムトリガーを取り付けていませんか？リムに近いところが適切です。
- ドラムトリガーに何か触れていないか確認してください。

■ パッドコントローラーが効かない

- パッドコントローラー付きのパッドを接続していますか？
- メニューモードの「パッドコントロール」(KitC5)を見直してください。(62ページ)
- リム部に手を触れたままパッドコントローラーを操作すると、パッドコントローラーが効かないことがあります。

その他

■ 本体の設定が保存されない

- 本体の設定は、[ON](スタンバイ/オン)スイッチで電源を切るときに自動的に保存されます。
- 電源アダプタを抜いて電源を切った場合は、本体の設定が保存されません。
- キット、クリック、トリガーの設定は、セーブの操作をしないと保存されません。(25、37、56ページ)

■ 本体の設定を購入時の状態に戻したい

- メニューモードの「ファクトリーセット」(System10)を行なってください。(75ページ)

■ 本体の設定を電源投入時の状態に戻したい

- メニューモードの「リストア」(System9)を行なってください。(75ページ)

■ 途中で電源が切れてしまう

- メニューモードの「オートパワーオフ」(System8)で、設定値をオフにしてください。(75ページ)

■ ソング再生がスタートしない

- 選んでいるソングデータが空の場合、ソングは再生できません。

■ ソングを選ぶとキットが変更されてしまう

- ソングには最適なキットがあらかじめ割り当てられています。お好みのキットを選び、メニューモードの「キットロック」(System1)の設定値をオンにしてください。(73ページ)

■ ソングを切り替えたとき、キットが自動的に切り替わらない

- メニューモードの「キットロック」(System1)の設定値をオフにしてください。(73ページ)

■ ソングのドラムパートが鳴らない

- ソングのドラムパートがミュートされていませんか？(27ページ)

■ トレーニングの採点結果がおかしい

- クロストークが起こっていませんか？「クロストーク（叩いたパッド以外のパッドが発音してしまう）を起こす」の項目をご覧ください。

データリスト

■ プリセットキットリスト

No.	Name
1	Maple Custom
2	Modern Rock
3	Elect Dub1
4	Bop Kit
5	Vintage 50s
6	Funk Kit
7	Trance PWR
8	Big Kit
9	Metal Kit
10	Percs Master
11	Oak Custom
12	Birch Custom
13	Beech Custom
14	Vintage 70s
15	Garage Punk
16	Hard Rock
17	Legend RX
18	Funk Master
19	70s NY
20	Jazz Kit
21	Acid Jazz
22	Deep Brush
23	Reggae Kit
24	Elect Dub2
25	Weapon X Dub
26	Electro Pop
27	Gate Kit
28	Digi Rock
29	DNB
30	Chill Out
31	Izzle's R&B1
32	Izzle's R&B2
33	ButiqHipHop1
34	ButiqHipHop2
35	Hexagon
36	Beat Box8
37	Beat Box9
38	MG Kit
39	Deep Kit
40	Vocal Drums
41	Drum Corps
42	Orchestra
43	Cuban
44	Brazil
45	Africa
46	Arabic
47	Indian Pop
48	China
49	Japan
50	GM Kit

■ ソングリスト

No.	Type	Name
1	Demo	Demo
2		Rock Mix
3		FunkRock
4		SkatePnk
5		HardRock
6		HvyMetal
7		5/4PrgRk
8		RckShfle
9		ClsShfle
10		80sShfle
11		8beatFnk
12		R&B Funk
13		CoolFunk
14		MedBlues
15		SlwBlues
16		HipHop 1
17		HipHop 2
18		R&B 1
19		R&B 2
20	Practice	ModnSoul
21		ElecDub1
22		ElecDub2
23		ElecDub3
24		ElectPop
25		Dance
26		TrncePWR
27		Soul Pop
28		6/8 Pop
29		8beatPop
30		16beatRk
31		ModnBald
32		PowerBld
33		MedSwing
34		FstSwing
35		Bossa
36		LatinSmb
37		Songo
38		Reggae
39		Funk C
40		Funk F
41		FunkOrgn
42		Dance 1
43		Dance 2
44		Dance 3
45		DanceSeq
46		ChilOut1
47		ChilOut2
48		ChilOut3
49		DigiRck1
50	Pad Song	DigiRck2
51		DigiRck3
52		RollFill
53		TrancSeq
54		Bongo
55		Conga 1
56		Conga 2
57		Shaker
58		Tambrin
59		Triangle
60		Samba

■ インストリスト

● Kick

No.	Name
0	No Assign
1	MapleC 22
2	OakC 22-1
3	OakC 22-2
4	BirchC 22
5	BeechC 22
6	Rock
7	Metal
8	HardRock
9	Vtg70s 24
10	Vtg70s24Mt
11	Vtg50s 22
12	Vtg50s22Mt
13	Jazz
14	RX5
15	T8-1
16	T8-2
17	T8 Down
18	T9-1
19	T9-2
20	T9 Hard
21	Sm
22	ElecComp
23	Trance PWR
24	Gate 1
25	Gate 2
26	Electric 1
27	Electric 2
28	Electric 3
29	Electric 4
30	Electric 5
31	Electric 6
32	Electric 7
33	Electric 8
34	R&B 1
35	R&B 2
36	R&B 3
37	HipHop 1
38	HipHop 2
39	HipHop 3
40	HipHop 4
41	HipHop 5
42	HipHop 6
43	HipHop 7
44	HipHop 8
45	Break 1
46	Break 2
47	DNB 1
48	DNB 2

● Snare

No.	Name
0	No Assign
1	MapleCstm
2	OakCustom
3	BirchCstm
4	BeechCstm
5	Rock
6	Metal
7	HardRock
8	Vintage70s
9	Vintage50s
10	Funk
11	DeepOak
12	Jazz
13	Deep Brush
14	RX
15	T8
16	T9
17	Sm
18	Synth
19	Analog
20	MG Snare
21	TrancePWR1
22	TrancePWR2
23	Gate 1
24	Gate 2
25	Gate 3
26	Gate 4
27	Gate 5
28	Gate 6
29	Gate 7
30	Gate 8
31	Electro 1
32	Electro 2
33	Electro 3
34	Electro 4
35	Electro 5
36	Electro 6
37	Electro 7
38	Electro 8
39	Electro 9
40	Electro 10
41	R&B 1
42	R&B 2
43	R&B 3
44	HipHop
45	Break 1
46	Break 2
47	DNB

データリスト

● Tom

No.	Name
0	No Assign
1	MapleC H
2	MapleC M
3	MapleC L
4	OakC H
5	OakC M
6	OakC L
7	BirchC H
8	BirchC M
9	BirchC L
10	BeechC H
11	BeechC M
12	BeechC L
13	Rock H
14	Rock M
15	Rock L
16	Metal H
17	Metal M
18	Metal L
19	HardRock H
20	HardRock M
21	HardRock L
22	Vintg70s H
23	Vintg70s M
24	Vintg70s L
25	Vintg50s H
26	Vintg50s M
27	Vintg50s L
28	Jazz H
29	Jazz M
30	Jazz L
31	Brush H
32	Brush M
33	Brush L
34	Marching H
35	Marching M
36	Marching L
37	RX5 H
38	RX5 M
39	RX5 L
40	T8-1 H
41	T8-1 M
42	T8-1 L
43	T8-2 H
44	T8-2 M
45	T8-2 L
46	T9 H
47	T9 M
48	T9 L
49	Sm H
50	Sm M
51	Sm L
52	Synth H
53	Synth M
54	Synth L
55	Big H
56	Big M
57	Big L
58	Gate 1 H
59	Gate 1 M
60	Gate 1 L
61	Gate 2 H
62	Gate 2 M
63	Gate 2 L
64	Gate 3 H
65	Gate 3 M
66	Gate 3 L
67	Noise H
68	Noise M
69	Noise L
70	Electric 1
71	Electric 2
72	Electric 3
73	Amb Tom
74	DNB H
75	DNB M
76	DNB L

● Cymbal

No.	Name
0	No Assign
1	Bright 18
2	Warm 16
3	Dark 18-1
4	Dark 18-2
5	Vivid 17
6	Thin 16
7	Vintage 18
8	Vintage 16
9	Jazz 18
10	Bright 20
11	WarmRd 20
12	Dark 20-1
13	Dark 20-2
14	VtgRd 22
15	JazzRd 22
16	SzRide 20
17	Bright 18R
18	China 19
19	China 17
20	Splash 1
21	Splash 2
22	Trash
23	RX Cymbal
24	RX Ride
25	T8 Crash
26	T9 Crash
27	T8 Ride
28	T9 Ride
29	MG Ride
30	SynCrash 1
31	SynCrash 2
32	ElecCym 1
33	ElecCym 2
34	ElecCym 3
35	ElecCym 4
36	ElecCym 5
37	ElecCym 6
38	ElecCym 7
39	ElecCym 8
40	ElecRide 1
41	ElecRide 2
42	ElecRide 3
43	ElecRide 4
44	HipHopCr 1
45	HipHopCr 2
46	HipHopCr 3
47	HipHopCr 4
48	HipHopCr 5
49	HipHopRd
50	Lo-Fi Cym
51	NoiseCym 1
52	NoiseCym 2
53	NoiseCym 3
54	RevCym 1
55	RevCym 2
56	Vo China
57	Vo Ride

● Hi-Hat

No.	Name
0	No Assign
1	Bright 14
2	Dark 14-1
3	Dark 14-2
4	Cool 14
5	Vintage 14
6	Jazz 14
7	Brush
8	RX
9	T8
10	T9
11	Electro 1
12	Electro 2
13	Electro 3
14	Dubstep
15	R&B 1
16	R&B 2
17	R&B 3
18	HipHop 1
19	HipHop 2
20	ChillOut
21	DNB
22	Vo HH

● Percussion

No.	Name
0	No Assign
1	Conga H SW
2	Conga L SW
3	Bongo H SW
4	Bongo L SW
5	Timbales H
6	Timbales L
7	Surdo SW
8	PndeiroOp
9	PndeiroTap
10	PndeiroShk
11	PndeiroSld
12	Tambarin 1
13	Tambarin 2
14	Cowbell1SW
15	Cowbell 2
16	Cowbell 3
17	Claves
18	Maracas
19	TriangleOp
20	TriangleMt
21	GuiroShort
22	GuiroLong
23	Agogo H
24	Agogo L
25	WoodBlockH
26	WoodBlockL
27	T8 Shaker 1
28	T8 Shaker 2
29	Caxixi Hit
30	Whistle S
31	Whistle L
32	Djambe Lo
33	Djambe Op
34	Djambe Slp
35	Djambe Mt
36	Cajion Lo
37	Cajion Ft
38	Cajion Slp
39	Cajion Mt
40	TalkDr Op
41	PotDrum Op
42	Dundun Op
43	Dundun Cl
44	Darbuka Op
45	Darbuka Sl
46	Darbuka Mt
47	Sangban Op
48	Kenkeni Op
49	AfricanBlH
50	AfricanBlL
51	Tombak Op
52	Daf Open
53	Daf Slap
54	Daf Mute
55	Riq Open
56	Riq Slap
57	Riq Shake
58	Riq Hit
59	Sagat Op
60	Sagat Cl
61	Sagat SW
62	Tabla Na
63	Bayan Ge
64	Dhol RH Op
65	Dhol RH Cl
66	Dhol LH Op
67	Dhol LH Cl
68	KanjiraHit
69	KanjiraSlp
70	KanjiraShk

No.	Name
71	ZangGu
72	ZangGu Rim
73	BianGu
74	BianGu Rim
75	BianGuHand
76	TangGu
77	TangGu Rim
78	PaiGu 1
79	PaiGu 2
80	PaiGu 3
81	XiaoBo Opn
82	XiaoBo Cls
83	DaBo Opn
84	DaBo Cls
85	XiaoLuo
86	ZhongLuo
87	FengLuo
88	ShangNao 1
89	ShangNao 2
90	Qing H
91	Qing L
92	Taiko Don
93	Taiko Ka
94	KoTaik1Ten
95	KoTaik1Tsu
96	KoTaik2Ten
97	KoTaik2Tsu
98	TsuzumiPon
99	TsuzumiBnd
100	OokawaChon
101	Temple Blk
102	KontikiKon
103	Kontiki Ki
104	Atari Kon
105	Atari Chi
106	Ainote 1
107	Ainote 2
108	GranCasaOp
109	Field Sn
110	FldSn OpRm
111	FldSn ClRm
112	OrchSn
113	OrchSnOpRm
114	OrchSnClRm
115	OrTambHtOp
116	OrTambHtCl
117	OrTambHtSk
118	Castanet
119	Vibraslap
120	SleighBel
121	WindChime
122	HandCym Op
123	HandCym Mt
124	FingrCymOp
125	RibonCrash
126	Timpani
127	Tamtam

■ ボイスリスト

● Effect

No.	Name
0	No Assign
1	ElecPerc 1
2	ElecPerc 2
3	ElecPerc 3
4	ElecPerc 4
5	ElecPerc 5
6	ElecPerc 6
7	ElecPerc 7
8	ElecPerc 8
9	ElecPerc 9
10	ElecPerc10
11	ElecPerc11
12	ElecPerc12
13	ElecPerc13
14	ElecPerc14
15	ElecPerc15
16	ElecPerc16
17	ElecPerc17
18	ElecPerc18
19	ElecPerc19
20	ElecPerc20
21	ElecPerc21
22	ElecPerc22
23	ElecPerc23
24	ElecPerc24
25	An Cowbell
26	An Claves
27	An Shaker
28	ElcClaves1
29	ElcClaves2
30	ElecShaker
31	HiQ
32	Zap
33	NLZap
34	SynPerc
35	ClickDelay
36	An Clap
37	T9 Clap
38	HandClap
39	HHopClap 1
40	HHopClap 2
41	HHopClap 3
42	HHopClap 4
43	HHopClap 5
44	HHopClap 6
45	HHopClap 7
46	HHopClap 8
47	HHopClap 9
48	HHopClap10
49	HHopClap11
50	HHopClap12
51	HHopSnap 1
52	HHopSnap 2
53	HHopSnap 3
54	HipHop FX
55	XfdSnare 1
56	XfdSnare 2
57	XfdSnare 3
58	MG Kick 1
59	MG Kick 2
60	MG Kick 3
61	MG Kick 4
62	MG Kick 5
63	MG Kick 6
64	MG Snare 1
65	MG Snare 2
66	MG FX 1
67	MG FX 2
68	Synth 1
69	Synth 2
70	Synth 3
71	Vo Kick
72	Vo Snare
73	Vo SnOp
74	Vo SnClR
75	Vo Tom H
76	Vo Tom M
77	Vo Tom L

No.	Name
78	Vo HH Op
79	Vo HH OpE
80	Vo HH Cl
81	Vo HH ClE
82	Vo HH Ft
83	Vo HH Sp
84	Vo Ride
85	Vo China
86	Vo Cowbell
87	Vo Clap
88	Lazer 1
89	Lazer 2
90	Noise 1
91	Noise 2
92	WhiteNoise
93	Raspberry
94	SE 1
95	SE 2
96	SE 3
97	SE 4
98	SE 5
99	SE 6
100	SE 7
101	SE 8
102	Uh
103	Hey
104	One
105	Two
106	Three
107	Four
108	Clk 1 Acc
109	Clk 1 4th
110	Clk 1 8th
111	Clk 1 16th
112	Clk 1 Trp
113	Clk 2 Acc
114	Clk 2 Beat
115	Clk 3 Acc
116	Clk 3 Beat
117	Clk 4 Acc
118	Clk 4 Beat

● Kick

No.	Name
0	No Assign
1	MapleC 22
2	OakC 22-1
3	OakC 22-2
4	BirchC 22
5	BeechC 22
6	Rock
7	Metal
8	HardRock
9	Vtg70s 24
10	Vtg70s24Mt
11	Vtg50s 22
12	Vtg50s22Mt
13	Jazz
14	RX5
15	T8-1
16	T8-2
17	T8 Down
18	T9-1
19	T9-2
20	T9 Hard
21	Sm
22	ElecComp
23	Trance PWR
24	Gate 1
25	Gate 2
26	Electric 1
27	Electric 2
28	Electric 3
29	Electric 4
30	Electric 5
31	Electric 6
32	Electric 7
33	Electric 8
34	R&B 1
35	R&B 2
36	R&B 3
37	HipHop 1
38	HipHop 2
39	HipHop 3
40	HipHop 4
41	HipHop 5
42	HipHop 6
43	HipHop 7
44	HipHop 8
45	Break 1
46	Break 2
47	DNB 1
48	DNB 2

● Snare

No.	Name
0	No Assign
1	MapleCustm
2	MapleCOpRm
3	MapleCCIRm
4	MapleCOff
5	MapleCOpOf
6	MapleCCIOf
7	OakCustom
8	OakC OpRm
9	OakC ClRm
10	OakC Off
11	OakC OpOf
12	OakC ClOf
13	BirchCustm
14	BirchCOpRm
15	BirchCCIRm
16	BirchC Off
17	BirchCOpOf
18	BirchCCIOf
19	BeechCustm
20	BeechCOpRm
21	BeechCCIRm
22	BeechC Off
23	BeechCOpOf
24	BeechCCIOf
25	Rock
26	Rock OpRm
27	Rock ClRm
28	Rock Off
29	Rock OpOf
30	Rock ClOf
31	Metal
32	Metal OpRm
33	Metal ClRm
34	Metal Off
35	Metal OpOf
36	Metal ClOf
37	HardRock
38	HRock OpRm
39	HRock ClRm
40	HRock Off
41	HRock OpOf
42	HRock ClOf
43	Vintage70s
44	Vtg70sOpRm
45	Vtg70sClRm
46	Vtg70s Off
47	Vtg70sOpOf
48	Vtg70sClOf
49	Vintage50s
50	Vtg50sOpRm
51	Vtg50sClRm
52	Vtg50s Off
53	Vtg50sOpOf
54	Vtg50sClOf
55	Funk
56	Funk OpRm
57	Funk ClRm
58	Funk Off
59	Funk OpOf
60	Funk ClOf
61	DeepOak
62	DpOak OpRm
63	DpOak ClRm
64	DpOak Off
65	DpOak OpOf
66	DpOak ClOf
67	Jazz
68	Jazz OpRm
69	Jazz ClRm
70	Jazz Off
71	Jazz OpOf
72	Jazz ClOf
73	Brush
74	Brush OpRm
75	Amb Rim

No.	Name
76	RX11-1
77	RX11-2
78	RX5-1
79	RX5-2
80	RX11 Rim
81	RX5 Rim
82	T8-1
83	T8-2
84	T9-1
85	T9-2
86	T8 Rim
87	T9 Rim
88	Sm
89	Synth
90	Analog
91	Analog Rim
92	TrancePWR1
93	TrancePWR2
94	Gate 1
95	Gate 2
96	Gate 3
97	Gate 4
98	Gate 5
99	Gate 6
100	Gate 7
101	Gate 8
102	Gate Rim
103	Electro 1
104	Electro 2
105	Electro 3
106	Electro 4
107	Electro 5
108	Electro 6
109	Electro 7
110	Electro 8
111	Electro 9
112	Electro 10
113	ElectroRim
114	R&B 1
115	R&B 2
116	R&B 3
117	R&B 1 Rim
118	R&B 2 Rim
119	R&B 3 Rim
120	HipHop
121	Break 1
122	Break 2
123	Break Rim
124	DNB 1
125	DNB 2
126	DNB 3

データリスト

● Tom

No.	Name
0	No Assign
1	MapleC H
2	MapleC M
3	MapleC L
4	OakC H
5	OakC M
6	OakC L
7	BirchC H
8	BirchC M
9	BirchC L
10	BeechC H
11	BeechC M
12	BeechC L
13	Rock H
14	Rock M
15	Rock L
16	Metal H
17	Metal M
18	Metal L
19	HardRock H
20	HardRock M
21	HardRock L
22	Vintg70s H
23	Vintg70s M
24	Vintg70s L
25	Vintg50s H
26	Vintg50s M
27	Vintg50s L
28	Jazz H
29	Jazz M
30	Jazz L
31	Brush H
32	Brush M
33	Brush L
34	Marching H
35	Marching M
36	Marching L
37	RX5 H
38	RX5 M
39	RX5 L
40	T8-1 H
41	T8-1 M
42	T8-1 L
43	T8-2 H
44	T8-2 M
45	T8-2 L
46	T9 H
47	T9 M
48	T9 L
49	Sm H
50	Sm M
51	Sm L
52	Synth H
53	Synth M
54	Synth L
55	Big H
56	Big M
57	Big L
58	Gate 1 H
59	Gate 1 M
60	Gate 1 L
61	Gate 2 H
62	Gate 2 M
63	Gate 2 L
64	Gate 3 H
65	Gate 3 M
66	Gate 3 L
67	Noise H
68	Noise M
69	Noise L
70	Electric 1
71	Electric 2
72	Electric 3
73	Amb Tom
74	DNB H
75	DNB M
76	DNB L

● Cymbal

No.	Name
0	No Assign
1	Bright18
2	Bright18Eg
3	Bright18Cp
4	Warm 16
5	Warm 16Eg
6	Warm 16Cp
7	Dark18-1
8	Dark18-1Eg
9	Dark18-1Cp
10	Dark18-2
11	Dark18-2Eg
12	Dark18-2Cp
13	Vivid 17
14	Vivid 17Eg
15	Vivid 17Cp
16	Thin 16
17	Thin 16Eg
18	Thin 16Cp
19	Vintage 18
20	Vintg 18Eg
21	Vintg 18Cp
22	Vintage 16
23	Vintg 16Eg
24	Vintg 16Cp
25	Jazz 18
26	Jazz 18Eg
27	Jazz 18Cp
28	Bright20
29	Bright20Eg
30	Bright20Cp
31	WarmRd20
32	WarmRd20Eg
33	WarmRd20Cp
34	Dark20-1
35	Dark20-1Eg
36	Dark20-1Cp
37	Dark20-2
38	Dark20-2Eg
39	Dark20-2Cp
40	VtgRd 22
41	VtgRd 22Eg
42	VtgRd 22Cp
43	JazzRd22
44	JazzRd22Eg
45	JazzRd22Cp
46	SzRide 20
47	SzRd 20Eg
48	SzRd 20Cp
49	Bright18R
50	China 19
51	China 17
52	Splash 1
53	Splash 2
54	Trash
55	RX11 Crash
56	RX5 Crash
57	RX11 Ride
58	RX5 RdEg
59	RX5 RdCp
60	T8 Crash
61	T9 Crash
62	T8 Ride
63	T9 Ride
64	SynCrash 1
65	SynCrash 2
66	ElecCym 1
67	ElecCym 2
68	ElecCym 3
69	ElecCym 4
70	ElecCym 5
71	ElecCym 6
72	ElecCym 7
73	ElecCym 8

No.	Name
74	ElecRide 1
75	ElecRd 1Eg
76	ElecRd 1Cp
77	ElecRd 2Cp
78	ElecRide 3
79	ElecRide 4
80	HipHopCr 1
81	HipHopCr 2
82	HipHopCr 3
83	HipHopCr 4
84	HipHopCr 5
85	HipHopRd
86	HipHopRdCp
87	Lo-Fi Cym
88	NoiseCym 1
89	NoiseCym 2
90	NoiseCym 3
91	RevCym 1
92	RevCym 2

● Hi-Hat

No.	Name
0	No Assign
1	Bright14Op
2	Brt14OpEg
3	Brt14OpCp
4	Bright14Cl
5	Brt14ClEg
6	Brt14ClCp
7	Bright14Ft
8	Bright14Sp
9	Dark14-1Op
10	Dk14-1OpEg
11	Dk14-1OpCp
12	Dark14-1Cl
13	Dk14-1ClEg
14	Dk14-1ClCp
15	Dark14-1Ft
16	Dark14-1Sp
17	Dark14-2Op
18	Dk14-2OpEg
19	Dk14-2OpCp
20	Dark14-2Cl
21	Dk14-2ClEg
22	Dk14-2ClCp
23	Dark14-2Ft
24	Dark14-2Sp
25	Cool14 Op
26	Cool14OpEg
27	Cool14OpCp
28	Cool14 Cl
29	Cool14ClEg
30	Cool14ClCp
31	Cool14 Ft
32	Cool14 Sp
33	Vintg14 Op
34	Vtg14 OpEg
35	Vtg14 OpCp
36	Vintg14 Cl
37	Vtg14 ClEg
38	Vtg14 ClCp
39	Vintg14 Ft
40	Vintg14 Sp
41	Jazz14 Op
42	Jazz14OpEg
43	Jazz14OpCp
44	Jazz14 Cl
45	Jazz14ClEg
46	Jazz14ClCp
47	Jazz14 Ft
48	Jazz14 Sp
49	RX11 Op
50	RX5 Op
51	RX11 Cl
52	RX5 Cl
53	T8 Op
54	T8 Cl
55	T9 Op
56	T9 Cl
57	Elec1 Op
58	Elec1 OpEg
59	Elec1 Cl
60	Elec1 ClEg
61	Elec1 Ft
62	Elec1 Sp
63	Elec2 Op
64	Elec2 OpEg
65	Elec2 Cl
66	Elec2 ClEg
67	Elec2 Ft
68	Elec2 Sp
69	Elec3 Op
70	Elec3 OpEg
71	Elec3 Cl
72	Elec3 ClEg
73	Elec4 Cl

No.	Name
74	R&B1 Op
75	R&B1 Cl
76	R&B1 Ft
77	R&B1 Sp
78	R&B2 Op
79	R&B2 Ft
80	R&B3 Op
81	R&B3 Cl
82	R&B3 Ft
83	HipHop1 Op
84	HHop1 OpEg
85	HipHop1 Cl
86	HHop1 ClEg
87	HipHop1 Ft
88	HipHop2 Op
89	HipHop2 Cl
90	HHop2 ClEg
91	HipHop2 Ft
92	DNB Op
93	DNB Cl
94	DNB Ft
95	Machine 1
96	Machine 2
97	Machine 3
98	Machine 4
99	Analog 1
100	Analog 2
101	Analog 3
102	Analog 4
103	Analog 5
104	FX HiHat

● Percussion

No.	Name
0	No Assign
1	Conga H SW
2	Conga L SW
3	Bongo H SW
4	Bongo L SW
5	Timbales H
6	Timbales L
7	Surdo SW
8	PndeiroOp
9	PndeiroTap
10	PndeiroShk
11	PndeiroSld
12	Tamarin 1
13	Tamarin 2
14	Cowbell1SW
15	Cowbell 2
16	Cowbell 3
17	Claves
18	Maracas
19	TriangleOp
20	TriangleMt
21	GuiroShort
22	GuiroLong
23	Agogo H
24	Agogo L
25	WoodBlockH
26	WoodBlockL
27	Shaker 1
28	Shaker 2
29	Caxixi Hit
30	Whistle S
31	Whistle L
32	Djambe Lo
33	Djambe Op
34	Djambe Slp
35	Djambe Mt
36	Cajion Lo
37	Cajion Ft
38	Cajion Slp
39	Cajion Mt
40	TalkDr Op
41	PotDrum Op
42	Dundun Op
43	Dundun Cl
44	Darbuka Op
45	Darbuka Sl
46	Darbuka Mt
47	Sangban Op
48	Kenkeni Op
49	AfricanBIH
50	AfricanBIL
51	Tombak Op
52	Daf Open
53	Daf Slap
54	Daf Mute
55	Riq Open
56	Riq Slap
57	Riq Shake
58	Riq Hit
59	Sagat Op
60	Sagat Cl
61	Sagat SW
62	Tabla Na
63	Bayan Ge
64	Dhol RH Op
65	Dhol RH Cl
66	Dhol LH Op
67	Dhol LH Cl
68	KanjiraHit
69	KanjiraSlp
70	KanjiraShk
71	ZangGu
72	ZangGu Rim

No.	Name
73	BianGu
74	BianGu Rim
75	BianGuHand
76	TangGu
77	TangGu Rim
78	PaiGu 1
79	PaiGu 2
80	PaiGu 3
81	XiaoBo Opn
82	XiaoBo Cls
83	DaBo Opn
84	DaBo Cls
85	XiaoLuo
86	ZhongLuo
87	FengLuo
88	ShangNao 1
89	ShangNao 2
90	Qing H
91	Qing L
92	Taiko Don
93	Taiko Ka
94	KoTaik1Ten
95	KoTaik1Tsu
96	KoTaik2Ten
97	KoTaik2Tsu
98	TsuzumiPon
99	TsuzumiBnd
100	OokawaChon
101	Temple Blk
102	KontikiKon
103	Kontiki Ki
104	Atari Kon
105	Atari Chi
106	Ainote 1
107	Ainote 2
108	GranCasaOp
109	Field Sn
110	FldSn OpRm
111	FldSn ClRm
112	OrchSn
113	OrchSnOpRm
114	OrchSnClRm
115	OrTambHtOp
116	OrTambHtCl
117	OrTambHtSk
118	Castanet
119	Vibraslap
120	SleighBel
121	WindChime
122	HandCym Op
123	HandCym Mt
124	FingrCymOp
125	RibonCrash
126	Timpani
127	Tamtam

● Effect

No.	Name
0	No Assign
1	ElecPerc 1
2	ElecPerc 2
3	ElecPerc 3
4	ElecPerc 4
5	ElecPerc 5
6	ElecPerc 6
7	ElecPerc 7
8	ElecPerc 8
9	ElecPerc 9
10	ElecPerc10
11	ElecPerc11
12	ElecPerc12
13	ElecPerc13
14	ElecPerc14
15	ElecPerc15
16	ElecPerc16
17	ElecPerc17
18	ElecPerc18
19	ElecPerc19
20	ElecPerc20
21	ElecPerc21
22	ElecPerc22
23	ElecPerc23
24	ElecPerc24
25	An Cowbell
26	An Claves
27	An Shaker
28	ElcClaves1
29	ElcClaves2
30	ElecShaker
31	HiQ
32	Zap
33	NLZap
34	SynPerc
35	ClickDelay
36	An Clap
37	T9 Clap
38	HandClap
39	HHopClap 1
40	HHopClap 2
41	HHopClap 3
42	HHopClap 4
43	HHopClap 5
44	HHopClap 6
45	HHopClap 7
46	HHopClap 8
47	HHopClap 9
48	HHopClap10
49	HHopClap11
50	HHopClap12
51	HHopSnap 1
52	HHopSnap 2
53	HHopSnap 3
54	HipHop FX
55	XfdSnare 1
56	XfdSnare 2
57	XfdSnare 3
58	MG Kick 1
59	MG Kick 2
60	MG Kick 3
61	MG Kick 4
62	MG Kick 5
63	MG Kick 6
64	MG Snare 1
65	MG Snare 2
66	MG FX 1
67	MG FX 2
68	Synth 1
69	Synth 2
70	Synth 3

No.	Name
71	Vo Kick
72	Vo Snare
73	Vo SnOp
74	Vo SnClR
75	Vo Tom H
76	Vo Tom M
77	Vo Tom L
78	Vo HH Op
79	Vo HH OpE
80	Vo HH Cl
81	Vo HH ClE
82	Vo HH Ft
83	Vo HH Sp
84	Vo Ride
85	Vo China
86	Vo Cowbell
87	Vo Clap
88	Lazer 1
89	Lazer 2
90	Noise 1
91	Noise 2
92	WhiteNoise
93	Raspberry
94	SE 1
95	SE 2
96	SE 3
97	SE 4
98	SE 5
99	SE 6
100	SE 7
101	SE 8
102	Uh
103	Hey
104	One
105	Two
106	Three
107	Four
108	Clk 1 Acc
109	Clk 1 4th
110	Clk 1 8th
111	Clk 1 16th
112	Clk 1 Trp
113	Clk 2 Acc
114	Clk 2 Beat
115	Clk 3 Acc
116	Clk 3 Beat
117	Clk 4 Acc
118	Clk 4 Beat

仕様

音源部	音源方式	AWM2
	最大同時発音数	32音
	エフェクター	リバーブ：9タイプ マスターイコライザー
キット	キット数	プリセット：50キット ユーザー：50キット(*)
	ボイス数	ドラム/パーカッション：691音色 キーボード：128音色
ソング	ソング数	デモソング：1曲 練習曲：37曲 パッドソング：22曲 ユーザーソング：40曲
	シーケンサー容量	約104,000音(*)
	音符分解能	4分音符あたり96分解能
	レコーディング方式	リアルタイム
	ソングフォーマット	SMFフォーマット
クリック	ユーザークリック数	30個
	テンポ	30～300/分、タップテンポ機能
	ビート	1/4～16/4、1/8～16/8、1/16～16/16
	タイミング	アクセント、4分音符、8分音符、16分音符、8分3連符
トレーニング	トレーニング数	8種類
トリガー	トリガーセットアップ数	プリセット：14種類 ユーザー：16種類
ウェーブ	読み込み可能ウェーブ数	20個(*)
	ウェーブデータビット	16ビット
	サンプル形式	WAV、AIFF形式
その他	ディスプレイ	16文字×2行 バックライト付LCD、3桁7セグメントLED、テンポ確認用LED×2
	接続端子	トリガー入力 1、5、6、9 (ステレオ標準フォーン端子 L:トリガー、R:リムスイッチ) トリガー入力 2、3、4、7 (ステレオ標準フォーン端子 L:トリガー、R:トリガー) HI-HAT CONTROL (ステレオ標準フォーン端子) OUTPUT L/MONO、R (標準フォーン端子) PHONES (ステレオ標準フォーン端子) AUX IN (ステレオミニフォーン端子) USB (TO HOST) DC IN
	消費電力	8 W
	寸法	251(W)×130(D)×48(H) mm
	質量	610 g
	付属品	電源アダプター (PA-3Cまたは同等のヤマハ推奨品)、保証書、取扱説明書(本書)、モジュールホルダー、モジュールホルダー止めネジ：2本

(*)容量は合計1メガバイトです。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

索引

Symbols

[12V == +@-]端子	11
[]ボタン	11
[](スタンバイ/オン)スイッチ	10
[]/[]ボタン	10
[]/[]ボタン	10
[AUX IN]端子	11
[KIT](キット)ボタン	10
[OUTPUT L/MONO]、[R]端子	11
[PHONES]端子	11
[SAVE/ENTER]ボタン	11
[SHIFT]ボタン	10
[SONG](ソング)ボタン	10
[USB TO HOST]端子	11, 79
[VOLUME]ボタン	10
C	
CSAT924A	77, 78
D	
DT10/DT20	77
H	
HI-HAT CONTROL (ハイハットコントロール)端子	11
K	
KU100	76
L	
LCDディスプレイ	10
LEDディスプレイ	10
LED表示項目	74
M	
MIDIゲートタイム	60
MIDIコントロールチェンジ	63
MIDIチャンネル	60
MIDIノートナンバー	60
MIDIプログラムチェンジ	63
P	
PCY90AT	76
PDF	6
U	
USB	79
USB-MIDIドライバー	79
Y	
Y字ケーブル	11
ア	
アコースティックドラム	77
イ	
インスト	20
インプットソース	29
ウ	
ウェーブボイス	21
ウェイトタイム	69
エ	
エッジショット	17, 18
オ	
オートパワーオフ	13, 75
オープン	17
オルタネートグループ	61
音色	58
音量	15, 59
音量バランス	19
カ	
カウント	28
カットオフ周波数	59
カップショット	17
感度	19

キ

キット	19, 20
キットロック	73
記録	51
ク	
クオンタイズ	52
繰り返しタイプ	30
クリック	31
クリック音の出力先	74
クリックセット	32, 37
クリックランプ	10
グループチェック	38
クローズ	17
クロストーク	70
ケ	
携帯用音楽プレーヤー	12
ゲイン	68
コ	
コードフック	11
コピートリガー	71
コピーパッド	64
コンピューター	79
サ	
再生タイプ	30
シ	
消去	54
初期設定(セットアップウィザード)	13
シンバル	18
シンバルのサイズ	22
ス	
スネア	16
スネアの調節	62
スピーカー	12
セ	
セーブ操作	56
ソ	
ソング	26
ソングの繰り返し再生	28
タ	
タイマー	72
タイミング外の発音	72
タップテンポ	36
チ	
チェンジアップ	44
チューニング	22, 59
チョーク奏法	18
ツ	
ツェバススイッチ	61
テ	
データダイアル	10
ディケイ	59
電源アダプター	12
テンポ	62
テンポアップ/ダウン	42
ト	
トリガーセットアップ	13, 66
トリガーセットアップリンク	63
トリガー入力端子	11
トレーニングモード	38
ナ	
難易度	72
ノ	
ノイズフィルター	69

ハ

パートミュート	47
ハイハット	17
ハイハットスプラッシュ	17
ハイハットスプラッシュ感度	65
パッドゲート	46
パッドゲートのグループ	72
パッドコントロール	62
パッドセット	7
パッドソング	29
パッドタイプ	68
パッドファンクション	66
パン	24, 59
フ	
ファクトリーセット	14, 75
ファストブラスト	49
ファストブラストのタイマー	73
フットクローズ	17
フットクローズポジション	65
フロムパッド	70
フロントパネル	10
ヘ	
ヘッドフォン	12
別売品	76
ベルショット	18
ペロシティーカーブ	67
ホ	
ホールドモード	61
ボイス	20
ボウショット	17, 18
マ	
マスターイコライザー	74
マスターチューン	74
ミ	
ミキサー	57
ミニマムペロシティー	69
ミニマムレベル	68
ミュート奏法	18
ミュート時の音量	73
ミュート(消音)	27
メ	
メジャーブレイク	41
メトロノーム	31
メニューモード	55
ユ	
ユーザーキット	25
ユーザーキットクリア	65
ユーザーソング	51
リ	
リアパネル	11
リジェクトタイム	69
リストア	75
リズムゲート	40
リバーブセンド(ソース)	60
リバーブセンド(ボイス)	61
リバーブタイプ	62
リバーブリターン	62
リファレンスマニュアル	79
レ	
レイヤー	57
練習曲	26

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

● 保証書

本機には保証書がついています。
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず「販売店印・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

● 保証期間

保証書をご覧ください。

● 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。
有寿命部品については、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

【有寿命部品の例】

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、ドラムパットなど

● 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

● 持込み修理のお願い

まず本書の「困ったときは」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りの修理品お持ち込み窓口へ本機をご持参ください。

● 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

◆ 修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

● ナビダイヤル
(全国共通番号)



0570-012-808

※一般電話・公衆電話からは、市内通話料金でご利用いただけます。
上記番号でつながらない場合は TEL 053-460-4830

- 受付時間：月曜日～金曜日 9:00～18:00、土曜日 9:00～17:00 (祝日およびセンター指定休日を除く)
- FAX：東日本(北海道/東北/関東/甲信越) 03-5762-2125
西日本(沖縄/九州/中国/四国/近畿/東海/北陸) 06-6465-0367

◆ 修理品お持ち込み窓口

- 受付時間：月曜日～金曜日 9:00～17:45 (祝日および弊社休業日を除く)
- * お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター	〒143-0006	東京都大田区平和島2丁目1-1	京浜トラックターミナル内14号棟A-5F	FAX 03-5762-2125
名古屋サービスステーション	〒454-0832	名古屋市中川区清船町4丁目1-11	ピアノ運送株式会社 名古屋営業所1F	FAX 052-363-5903
西日本サービスセンター	〒554-0024	大阪市此花区島屋6丁目2-82	ユニバーサル・シティ和幸ビル9F	FAX 06-6465-0374
九州サービスステーション	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2丁目11-4	ヤマハビル2F	FAX 092-472-2137

*名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

■ ユーザーサポートサービスのご案内

- 電子ドラムの機能や取り扱いについては、最寄りの特約店または下記ヤマハお客様コミュニケーションセンターへお問い合わせください。

お客様コミュニケーションセンター 管弦打楽器ご相談窓口

● ナビダイヤル



0570-013-808

※全国どこからでも市内通話料金でおかけいただけます。
上記番号でつながらない場合は TEL 053-411-4744

- 営業時間：月曜日～金曜日 10:00～18:00、土曜日 10:00～17:00 (祝日およびセンター指定休日を除く)
- <http://jp.yamaha.com/support/>

◆ ウェブサイトのご案内

ヤマハ電子ドラム製品ウェブサイト：<http://jp.yamaha.com/dtx/>
ヤマハダウンロード：<http://download.yamaha.com/jp/>
ヤマハマニュアルライブラリー：<http://www.yamaha.co.jp/manual/>

*都合により、住所、電話番号、名称、営業時間などが変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

MEMO

ヤマハ株式会社

ヤマハ電子ドラム製品ウェブサイト
<http://jp.yamaha.com/dtx/>

ヤマハダウンロード
<http://download.yamaha.com/jp/>

U.R.G., Digital Musical Instruments Division
© 2013 Yamaha Corporation

211POGR* *-01A0
Printed in Indonesia

ZE12030